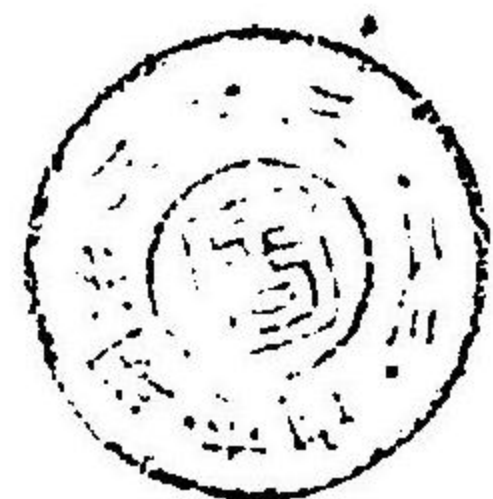


矢津昌永監修
角田政治編修

新編
中學地理
外國誌

東京
集英堂



新編中學地理外國誌下卷目次

第一編

○歐羅巴洲誌

自然地理

第二編

○歐羅巴列國誌

○巴爾幹半島諸國

○土耳其帝國

○羅馬尼亞

○塞爾維

○モンテネグロ

○希臘

○奧地利匈牙利

○獨逸

○丁抹

○瑞典、挪威

○露西亞

○英吉利

○和蘭

..... 一
..... 九
..... 〇
..... 四
..... 四
..... 五
..... 五
..... 一七
..... 二二
..... 二九
..... 三三
..... 三五
..... 四三
..... 五三

○白耳義	五六
○佛蘭西	五八
○西班牙	六三
○葡萄牙	六七
○伊太利	六八
○瑞西	七三
第三編	
人文地理	七七
○歐羅巴洲比較	八〇
第一編	
○亞弗利加洲誌	八三
自然地理	
第二編	
○亞弗利加列國誌	九一
○ナイル地方	九一
○北部亞弗利加	九五
○西部亞弗利加	九七
○南部亞弗利加	九九
○東部亞弗利加	一〇二
○中部亞弗利加	一〇三

○諸屬島嶼	一〇六
第三編	
人文地理	一〇七
○亞弗利加洲比較	一〇九
第一編	
○北亞米利加洲誌	一一一
自然地理	
第二編	
○北亞米利加列國誌	一一八
○綠洲	一一八
○加奈太	一一九
○北米合衆國	一二四
○墨西哥	一三八
○中央亞米利加諸國	一四二
○西印度諸島	一四四
第三編	
人文地理	一四八
○北亞米利加洲比較	一五〇
第一編	
○南亞米利加洲誌	

自然地理 一五二

第二編

○南亞米利加列國誌 一五七

○コロムビヤ 一五八

○ヴェネズエラ 一五九

○ギアナ 一六〇

○伯刺西爾 一六一

○エクアドル 一六四

○秘露 一六五

○ボリヱア 一六八

○智利 一六九

○亞爾然丁共和國 一七一

○パラグエ 一七四

○ウルグエ 一七五

第三編

人文地理 一七六

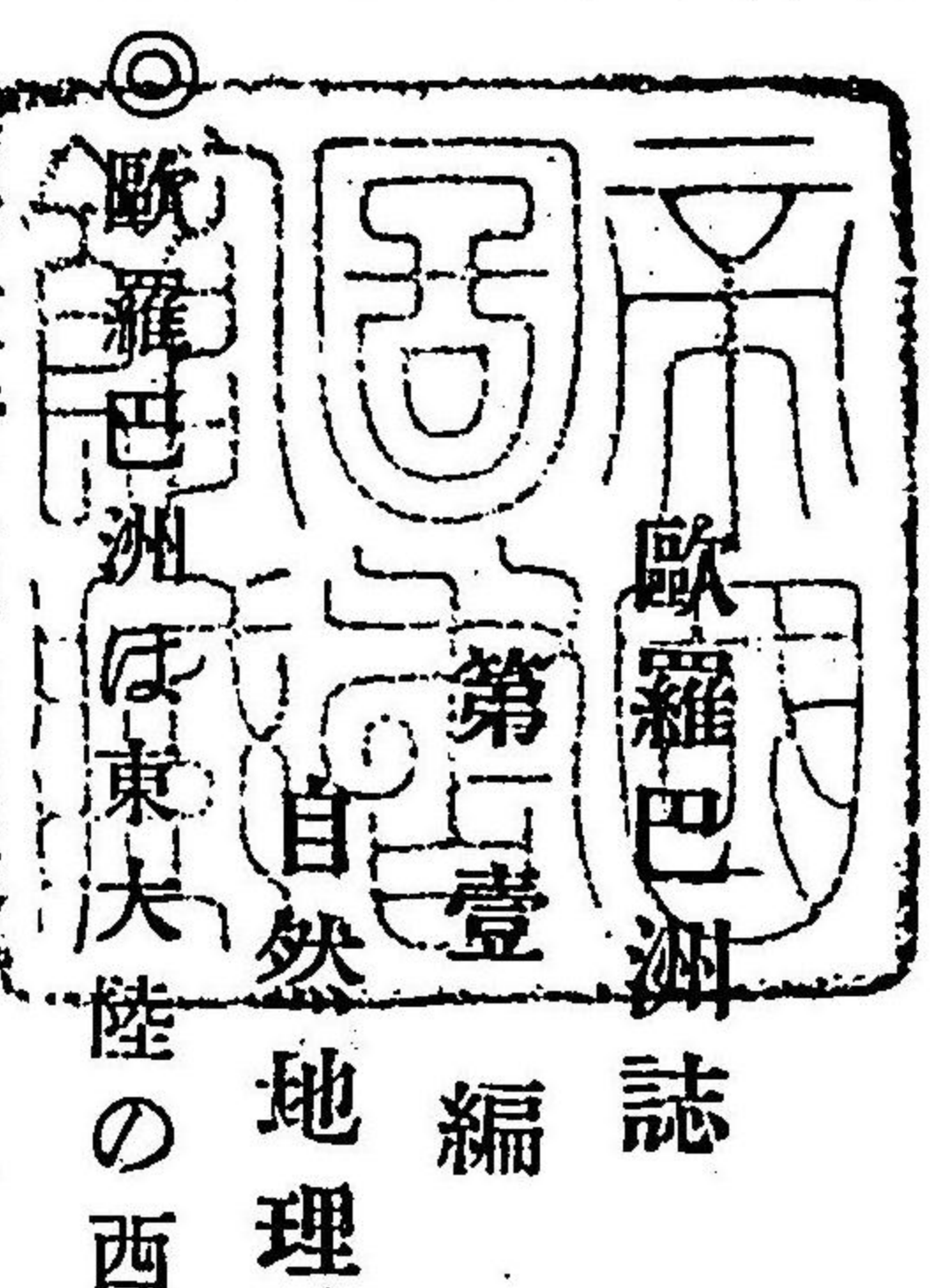
○南亞米利加洲比較 一七八

新編中學地理外國誌下卷目次終

新編中學地理外國誌下卷

矢津昌永監修
角田政治編修

位置



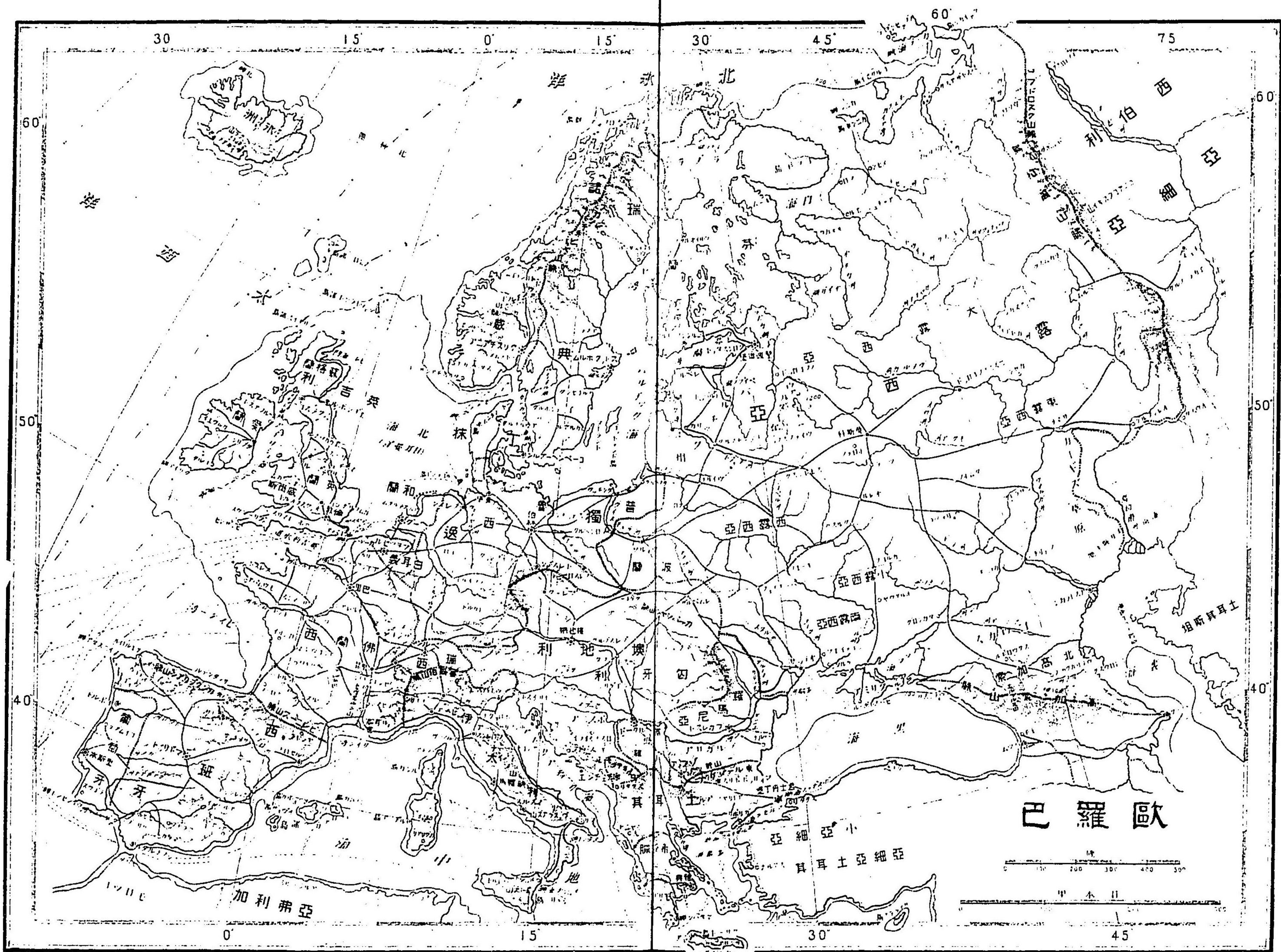
○歐羅巴洲は東大陸の西北部を占め、北は一帶北氷洋に臨み、東は烏拉爾山、烏拉爾河及裏海を以て亞細亞に境し、南は高加索山脈及黒海、地中海に連り、西は全面大西洋に枕む。全洲概ね北温帯に屬し、唯北邊厓に寒帯に入る。東西の長さ約三千四百哩にして、南北の廣さ二千四百哩あり、其の面積三百八十万方哩なれば、

凡亞細亞洲の五分の一なり。

◎區劃 本洲に列する重なる國々は左の四帝國十一王國二共和國なり。

○即帝國は 露西亞 獨逸 奧地利 匈牙利 土耳其にして王國は 英吉利 白耳義 和蘭 丁抹 瑞典 諾威 西班牙 葡萄牙 牙 伊太利 羅馬尼亞 塞爾維 希臘 共和國は 佛蘭西 瑞西なり此の外モンテネグロ、ブルガリア等の小獨立侯國あり。諸國の内土耳其、希臘、羅馬尼亞、塞爾維を除けば皆我が條約國なり。

◎沿海 歐羅巴洲は面積に比すれば、海岸線の長さごと諸大洲中の随一とす、故に半島、岬角、海灣等尠からず。先づ北より舉れば白海は深く露西亞の北岸に灣入し、其の東にチムカイア灣北に



ノヴァゼムブラ島ありスカンリナヴァ大半島は西北に突出して、南方ジャットランド半島と相對し、大西洋と南海とを分つ、此の内海の南部はバルチック海にして北部をボスニア灣と云ふ。

○ジャットランド半島は北海(一名日耳曼洋)を隔て、英吉利群島と相對す、英吉利と大陸の間を英吉利水道と云ふ、此の水道を出で、南に灣入するはビスケー灣なり。アイベリア半島西南に挺出して、亞弗利加洲と密邇し、其の間はジブラルタルの海峡と稱し、地中海の咽喉なり。

○地中海の中央に長靴狀の伊太利半島突出して、大陸とアドリアチック海を挟み、巴爾幹半島其の東に突出せり、其の東部の海中には島嶼星列するを以て、多島海の名あり。地中海中の重なる島は西部に奈破崙の誕生地として有名なるコルシカ島及サル

地勢

ジニア島、シリ島あり東にクリート島(一名カリヤ)及サイプラス島あり。多島海の北なるダルダネルス海峽を過ぎマルモラ海を経てボスポラス海峽を出づれば凹字形の黒海なり。
○本洲は斯の如く海岸の屈曲多きを以て文化輸入の門戸開け、従ひて各國の富強を致せる一原因となり、殊に希臘(巴爾幹半島)羅馬(伊太利半島)の如きは形勢の優勝なるを以て其發達の最も早かりし所以なり。

◎地勢 本洲は其の地勢により略々西南部の山地及東北部の平原地に兩分すべし。山地本洲の西南部を占め北方平原と境するに一系列の山系あり此の山系の西はピレニース山脈より起りて亞爾伯山脈に連る。亞爾伯山脈は歐洲全土の脊梁山脈にして、北海と地中海との分水界をなす脈中のモントブラン山は歐

河流

洲第一の高峯なり。此の脈は東に走りてカーパシアン山脈となり遂に黒海に陥落してクリミア半島高加索山脈に連る。此の脊梁山脈以南は山地及高原に屬し河畔には肥沃なる平野あり。平野は脊梁山脈の以北にして東は茫々たる露國平原より西は日耳曼平野、佛蘭西平野に連りたる一大平野にして本洲の三分の二を領せり。

亞爾伯山中



◎河流 本洲の河流は概ね灌溉運輸の便に富み又諸河の間は運河ありて交通甚だ便なり、ヴルガ河は歐洲第一の大河にして全長二千三百哩東北平原を緩流し、裏

海に入る、全流殆んど瀛船を通ずべし。多瑙河は歐洲第二の大
 河なり、全長一千八百哩にして、黒海に注ぐ、船舶遠く上流に達す
 べく、中央歐羅巴の交通要路にして、其の文化開發に益すること
 尠からず。ライン河は北流する大河にして、全長八百八十哩、瀛
 船は遙に瑞西の境まで達すべし、且河畔風景清楚にして、繁盛の
 都會少からず。其他エルベ、ドネ等の大河あり。

○湖水はスカンリナウア半島及芬蘭地方と南方亞爾伯山地に集
 まる、即北方にラドカ(面積七千百五十方哩)オネガ等の大湖あり。南方の湖
 水は水清く山深く、風景甚だ佳なり、瑞西のゼネウ湖、コンスタン
 ス湖等あり。

○本洲の内地は斯の如く、山地、平原相雜り、河湖、森林相接し、地形各
 様に於て、人の營作に各種の業務を分ち、相競逐して、以て其の發

達を助くるに便宜なり。

○氣候 本洲の氣候は各地一樣ならず、即南歐羅巴は山脈北に蟠
 まりて、北來の寒風を防ぎ、南來の熱風を受くるを以て、溫暖にし
 て、或は熱帶の氣候を帯びる所あり。西歐の沿海地方は輕寒輕
 暖の好氣候なり、是れ墨西其より來る灣流の調和を蒙るを以て
 なり、而して此の部は現今歐洲中人事の最も繁榮なる所なり。
 東歐は概ね寒暑共に強く、特に寒氣は甚だ烈しく、南方に僻在す
 る黒海近傍にても亦寒氣強し。北歐の東部は寒威凜烈にして、
 人類の生活に適せざる所あれども、西部沿海は灣流の感化を被
 り、緯度に比して甚だ溫暖なり。雨量は西海岸及南海岸に多く、
 東部に於て少し。

○天產物 植物には南部の地中海濱は溫暖濕潤なるを以て、綿、橄

動物

植物

礦物

横、橙、甘蔗、檸檬、無花果、桑の類繁茂す。中央歐羅巴は葡萄、麥、類、馬、鈴薯を産し、其の額は六大洲中の第一にして、玉蜀黍、甜菜、麻類も亦夥しく産す。北歐は氣候寒冷なれば植物次第に減じ、北氷洋沿岸の地は僅に矮少の楊柳及苔蘚の類を生ずるのみなり。
 ○動物は有用の家畜能く繁殖す、即馬は露獨に多産にして、牛は西歐地方に産し、牛酪、乾酪の製出夥し、羊豚の飼養も盛に行はれ羊毛の産出多し、又北部の寒地には馴鹿を産す。有用の動植物は斯の如く尠からずと雖も、歐洲今日の富源は礦物の豊富なるにあり、各種の礦物を産すれども殊に現今の必需なる鐵、石炭の二礦は其の産額甚だ大なり。

第貳編

歐羅巴列國誌

巴爾幹半島諸國

◎巴爾幹半島諸國は、亞細亞土耳其と一海峽を以て隔て、地中海と黒海との間なる巴爾幹半島内にある諸國の總稱なり。内に土耳其、希臘、ブルガリア及東ルーマニア、羅馬尼亞、塞爾維、モンテネグロの六國を含む。此の諸國は元、土耳其の屬國なりしが希臘は六十餘年前獨立し、他の諸國は露土戰爭の翌年(明治十年)伯林に於ける各國委員の訂結せる條約により、土耳其の羈絆を脱し各々獨立せり、然れどもブルガリアは今尙ほ土耳其に朝貢す。以上の諸國は其の位置、歐亞兩洲の分界にして、人種、宗教、風俗等同じか

らず故に内憂外患常に絶えず世に巴爾幹事件或は近東問題（歐
の近東に當るを以て）と稱し、歐洲中多事の地なり。

土耳其帝國

◎土耳其帝國は一名オトマン帝國と稱し其の位置は歐亞兩大洲
の分界にして東に黒海、西にアドリアチック海を控え南は希臘に
連り、内部は山岳蟠まり、沿海に平野を存せり。

氣候産物

◎氣候産物 氣候概して温暖にして、南海の濱は禾穀、草并能く
繁茂し、内地の山間に至れば寒暑共に烈し。農耕の法は幼稚な
れども、平野は地味肥え、穀物、菓實、葡萄、烟草等を産す。畜産には
馬、山羊等少からず、特に山羊の肉は國人重要な食料品なり。製
造品には綿布、毛布、蠶糸等あり。

都邑

◎都邑 首府を君・子・丹・丁・堡と云ふボスボラス海峽に臨み、黒海マ

人民



コンスタンチノ
ーブル及風俗

ルモラ海の咽喉を扼し、商業上、軍事上、重要な
位置を占む。往時は世界商業の
中心點となり、甚だ殷賑なりしが、
今は昔日の盛に及はずと雖ども、
尙人口九十万を有する一大都會
なり。アドリアノールは國內
第二の都會にして、内地貿易の中
心を占め、香油の産出を以て有名
なり。サロニカはサロニカ灣頭
に在る繁盛の貿易地なり。

◎人民 人口四百七十八万ありて、許多の人
種混合せり。原種の土耳其人は中央亞細

亞地方より漸次西方に浸入し、亞細亞の西部、亞弗利加の北部を蠶食し、終に歐羅巴に入りて、本國をなせるものなれば、其の風俗、習慣全く他の歐洲人と異れり。宗教は回教國の本源地にして、同教盛に行はれ、教育も經典可蘭を講讀するに過ぎず、然れども近時稍改良して、大學及各種の學校を設けたり。

◎政治 政體は專制政體にして、皇帝を『サルタン』と稱す。『サルタン』は回教の祖マホメットの教訓を守り、其の經典可蘭に依りて政治をなす。一旦憲法を制定したれども、實際に行はれず、現皇帝意を國內の改良に用ゆれども、因習の久しき、國家困弊し、露國と戦争によりて益疲弊を重ね、外國債の利子も支拂ふこと能はず、遂に債權國の干渉を受くるに至れり。陸軍は現役二十万あり、海軍は甲鐵艦十五艘、木造艦數十艘あれども、老朽用ゆるに足ら

ず、前年希臘と干戈を交え、連戰連勝稍國威を回復するを得たり。◎領地 其の領地三大洲に跨がり、面積廣大にして、總計百六十二万九千方哩、人口三千九百二十一万餘あり。亞細亞にては亞細亞土耳其、亞刺比亞の一部、亞弗利加にては埃及、トリポリ、歐羅巴にてはブルガリア侯國、東ルーマリア王國等なり。

◎ブルガリア侯國及東ルーマリア自治國

土耳其の比隣多腦河南にあり。ブルガリアは伯林條約によりて、土耳其帝主權の下に於て、自主の貢進國と定められたり。人民は『スラヴ』人にして、農業及牧畜を營み、小麥は重要な輸出品なり。首府をソフィアと云ふ、人口三万あり。東ルーマリアはブルガリアと同時に自治を許されたる別立の國なりしかども、先年(一八八六年)ブルガリア侯亞歷山を知事に戴きし以來ブルガリア

と合併せり首府をフイリッポポリスと云ふ。

羅馬尼亞

◎此の國は多腦河口の左岸灌域を占めたる一王國なり。西部は高原にして山林礦物に富み、東部は平原にして穀産多し、牧畜盛にして、馬、羊其の他の家畜は國民の財産なり。又石油と岩鹽の名産あり。人民は「スラブ」人にして希臘教又は回教を奉ず。首府ブカレストは多腦河の北に位し人口二十万あり。

塞爾維

◎土耳其の北隣、多腦河右岸の一王國なり、山岳起伏し森林多し、殊に櫟樹に富む其の實を以て豚を畜ふ、又牛羊等の飼養盛なり、河畔は地肥へ農産多し。人民は「スラヴ」の民族多く、宗教は希臘教を以て國教と定む、首府ベルグレイト多腦河畔にあり河流往復

の要路に當り、貿易盛なり。

モンテネグロ

◎此の國は塊土の間に介まる一小王國なり。モンテネグロは黒山の義にして、全國山岳多く、森林鬱鬱として暗黒なり。人民は「スラブ」人種多く、節儉勇敢にして、獨立心に富む、生業は牧畜を主とし、希臘教を奉信す。首府をチーチンエと云ふ。

希臘

地勢
◎地勢 希臘は巴爾幹半島の南部、地中海に突出する半島國なり、其の位置地中海交通の要路に當り、且海岸の屈折に富める形勢優勝の地とす。地形コリンス灣(一名レバ)及ユリンス地峽により二分せられ、北は北希臘、南をモリアと云ふ。北部には土耳其より連亘せるピンダス山脈起伏して、平地少く、河は急流にして

氣候產物

舟楫の便を缺く。

◎氣候產物 三面海を環らし海風の調和により、氣候溫和にして爽快なり、然れども卑濕の地は健康に適せず、河畔及海中の群島は地味肥沃なり。重もなる農産物は橄欖、葡萄、無花果、檸檬、桑、綿等なり、殊に蜂蜜を以て名あり。

都邑

◎都府 首府雅典は人口十一万あり、有名なる歐洲古代の都會にして、曾て技藝、文學の中心と稱せられ、學者賢哲の輩出尠からず、又有名の古蹟多し、ピロ羅斯港は鐵道によりて首府と連絡し、常に要港たるのみならず造船、製鐵の事業盛なり。

人民

◎人民 人口百九十七万餘あり、即希臘民族にして、氣質敏捷伶俐なり、古より國民美術文學の思想に富み、宗教は希臘教にして、教育は近來大に進歩せり。

政治

◎政治沿革

政體は立憲君主制にして、議院は一院を置く、希臘は古來夙に開化せし國なりしが、後、土耳其領となりて久しく其の壓制に苦み、屢叛旗を翻せしかども其の志望を達すること能はず、終に一千八百三十二年諸外國の援助により、其の羈絆を脱し、獨立の王國となれり、近時土耳其と戦ひ、勝たずして國益々疲弊に陥れり。

奧地利匈牙利

地勢

◎地勢

奧地利帝國、匈牙利王國合して之を奧地利匈牙利國と云ふ、面積二十四万九千方哩あり、露國に亞ぎて歐洲第二の大國なり。其の境域は露、獨、瑞、伊及巴爾幹諸國に隣し、西南一部僅にアドリアチック海に枕む。國の西部は亞爾伯山脈の餘脈、蜿蜒として、東部にはカーパシアン山脈北より南に亘り、羅馬尼亞の國境

をなす、中央は多腦河灌域の大平原なり。此の平原は匈牙利の
大半を占め、灌溉運輸の利に富み、氣候快和、地味肥沃にして、
最大の農産地なり、故に此國を呼びて『多腦帝國』と云ふも又誣言
にあらざるなり。

氣候産物

①氣候産物

濱海の地少なく、山岳四境を圍むを以て、海岸を除
く外、夏は暑くして冬は寒し。雨量は山地に多くして平地に少
し。然れども多腦河の爲め、概ね肥沃にして、歐洲の一大農業國
と稱せらる、即麥類、玉蜀黍、馬鈴薯、又は葡萄、麻の如き、農産物豊に、
殊に匈牙利の麥類は優等品として名あり。

○歐洲中森林に富める國にして、牧畜も亦盛に、牛、馬、羊、豚及蜜蜂等
を飼養す。鑛物も亦豊富にして石炭、鐵、金を重要産とす。

○工業は石炭と水力とに富み各種の業を起すに適するを以て、發

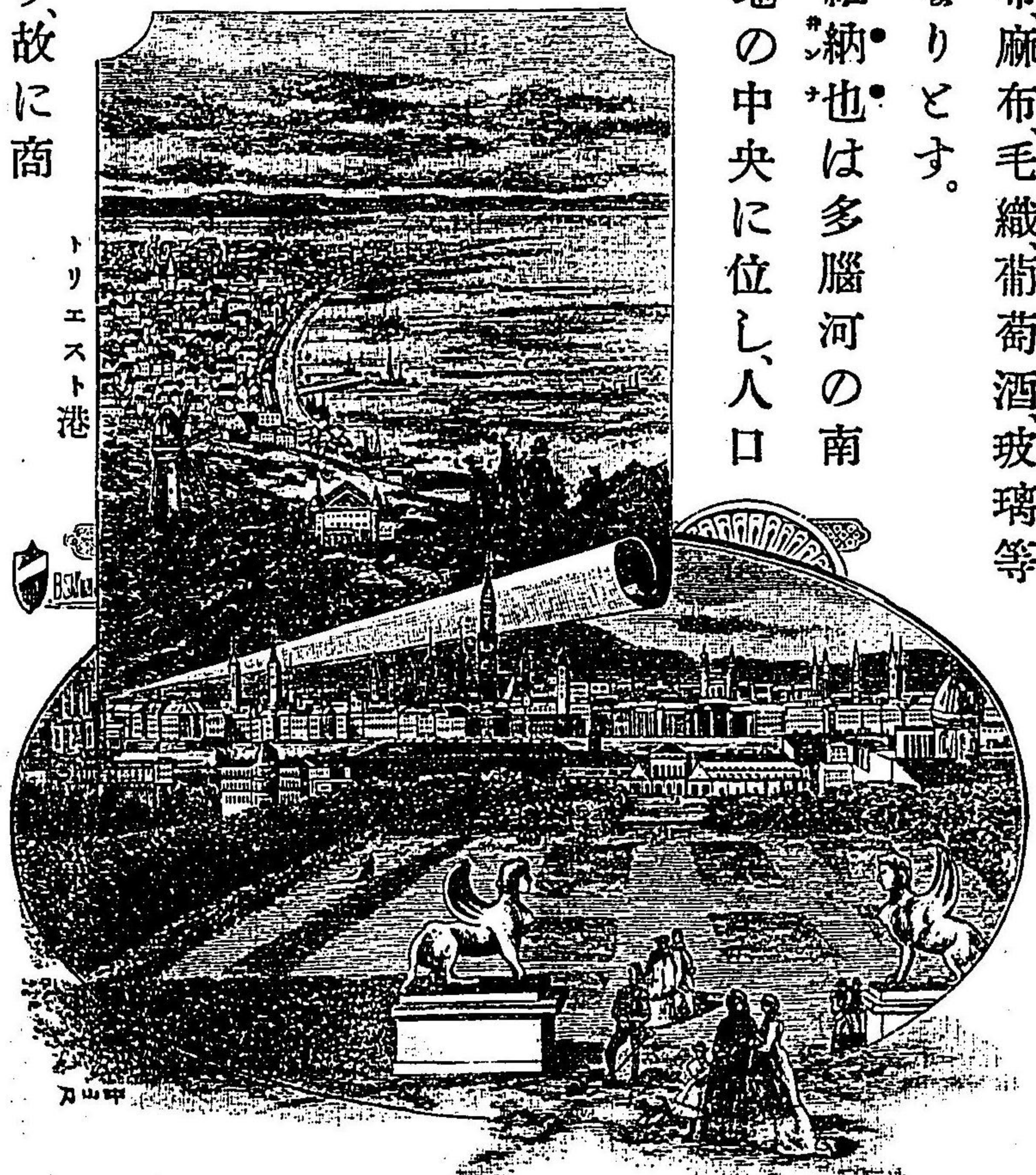
工業

都邑

達せり。綿布、麻布、毛織、葡萄酒、玻璃等
の製造を重なりとす。

◎都府 首府維納也は多腦河の南
岸、全國商業地の中央に位し、人口

百三十万を
有する、歐洲
第四の大都會
なり、多腦
河運輸の便
を占むるの
みならず、鐵
道四通八達す、故に商



府ナン非ウ

工甚だ盛なり。市街は端正にして宮城、議院、大學、圖書館、博物館等あり其の建築又壯麗なり。ブダペストは匈牙利の首府にして、多腦河に跨り、水運の便利と肥沃の生産地を控え、商工業も又盛に行はる、人口五十餘万あり。トリエスト港はアドリアチック海岸に在りて、當國第一の貿易港なり。

◎**人民** 人口凡四千一百二十三万あり、人種は頗る雜駁にして『チユトニク』種『スラウ』種、蒙古人種等あり。風俗、習慣、言語等各地其の趣を異にせり『チユトニク』種は即ち墺地利の人民にして、他の人種に比すれば、文化大に開け、現時一國の主權を握れり。『スラウ』人種は全人口の二分の一を占れども、勢力微々たり。蒙古人種(マキアス族にして血統芬蘭人に近き蒙古人)は匈牙利に住す、勇悍なれども忍耐力に乏し。要するに此の國都邑の住民は溫雅にして、文學を好み、武

人民

交通貿易

事を貴ぶと雖ども、一般住民は未だ文化に遠し。宗教も種々あれども、舊教最も盛に行はる。教育は獨逸の如く干涉主義にして、全國に普及せり、大學の數十、其の他中學校、兵學校、各種の學校あり。

◎**交通貿易** 多腦河及數多の支流は運漕の便に富み、汽船二百余艘河上を往復し、東は黒海に達すべく、西北のエルベ河を下れば北海及大西洋に出づることを得べし。河流の便なき處は運河を開きて、之を助け、鐵道は縱横に布設し、四隣各國に到るべく、交通甚だ自在なり、唯、諸河口の外國領なるは此の國の欠點なり。内地貿易は獨逸と盛に行はれ、海外貿易はトリエスト港を中心として、各國と貿易す。重なる輸出品は穀物、麥粉、玻璃、葡萄酒、其の他薪材、礦物等にして、輸入品は羊毛、綿花、烟草等なり。

◎政治 一千八百六十七年、匈兩國を合せて、一の世襲君主を戴き、相連絡して一國を成せり。其の政治は立憲政體なれども兩國共に各政府國會を有す。奥地利帝、匈牙利王位を兼ね、兵馬の大權を總攬す。又聯邦國會は上下兩院より成り、其議員は兩國々會より半數を撰出す。又國の東南海岸のボスニア、ヘルゼゴヴィナの兩國は土耳其領なりしかども、柏林會議（一八七一年）により此の國の支配することゝなれり。

○國防は概ね陸防なり、比隣數多の強國に接するを以て、或は山川の要害に據りて、城堡を構え、防備を嚴にす。陸軍は常備兵三十五万ありて、戰時には百七十五万を出す。海軍は主とする所にあらずして、軍艦、運送船を合せ七百四十餘艘あり。

獨逸

◎獨逸は或は日耳曼と稱し、歐洲の中央に位す。此の帝國は現今普魯西を盟主と爲し、四王國（普魯西を合ひ）六大公國、五公國、七侯國、三自由都府及アルサス、ローレンノ二帝領より成る。此の内普魯西は最も大にして、獨逸帝國の三分の二を占む。全帝國の面積二十万八千方哩あり。

◎地勢 地勢は自ら分れて北高地、獨逸南、低地、獨逸の二部となる。即ち低地、獨逸は北歐平原の一部を領し、東は露西亞より西は和蘭に連り。渺茫たる低地なり。此の平原は肥瘦相交り、麥、麻の類を産す。高地、獨逸は山岳重疊して、森林鬱蒼たり。ライン河の上流は風光清佳にして、且鑛泉に富み、探勝の客少からず、獨逸の樂園と稱せらる。

◎河水 地勢南より北に向ひて、傾斜せるを以て、河水は悉く北流

す。唯、多腦河は南部高地間の諸水を集め、東流して奥國に入る。北流するものにはライン、ヴェーゼル、エルベ、オデル等の大河ありて、北海或はバルチック海に朝せり。河流は概ね平野を回流するが故に、水深く流れ緩に、航運灌漑の利に富み且運河を開き各河を連絡し、北海より自在に内地に入ることを得べく又ライン河を浜りて佛のロイン及セイン河を下りて、太平洋或は地中海に出づべし、交通甚だ便利を極め、此の國の發達も蓋、又河流の賜なり。

氣候

◎氣候 沿海の地を除く外、寒暑共に強し、然れども寒暖は緯度よりも寧ろ經度によりて異れり、是れ南するに従ひ地勢漸く高度を増し、西は墨西其灣流の調和を受くれども、東は其の影響なきを以てなり。雨量は北より南に至るに従ひ減少す。

産物

◎産物 各種の産物豊なりと雖も、此の國の富源の重なるものは農産、森林、鑛産の三者なり。(農産) 即全國面積の九割四分は生産地にして、麥類、馬鈴薯、亞麻、葡萄、砂糖等を産す。牧畜の業も盛大に營まれ、牛及馬の産出甚だ多し。(森林) 政府の保護行届きて、林制の發達、世界第一と稱せられ、種々の木材を出す。(鑛産) 鑛産は鐵、石炭を初め、銀、銅、鉛は共に富饒にして、世界屈指の鑛産國なり。(工産) 製造業は製鐵、毛布、絹布共に有名なり、麥酒の醸造は世界無双と稱せられ、葡萄酒も亦各地へ輸出せり。

鑛産

都邑

◎都府 柏林は帝國の首府にして、普魯西王國の中央エルベ、オデル兩河の中間に位し、水陸四通八達の要所を占む。人口百五十万、世界第三の大都會なり。市街は清修廣濶にして、建築は雄壯美麗を極め、商工業の要樞たるのみならず、政治上近時歐洲

の中央場たるべき傾向あり。伯林大學は最も著名にして、本府は現今世界學術の淵藪と稱せらるゝも決して誣言にあらず。

○漢堡はエルベ河の右岸河口へ

哩伯林へ百五十哩)にあり、大船巨船輻湊し、貿易の盛なること英國の倫敦、リヴァプールに亞ぎ重要な商業地なり、人口五十七万あり。

ブレーメンはヴーゼル河畔の要港なり。ブレスローは露墺に近き貿易市場にして、歐洲隨一の羊毛市場と稱せらる。

ドレスデンは墺國に近き名都にして、ライプジックは世界第一の



伯林及キール軍港



人民

書籍市場として知らる。

○人民 人口凡五千万多くは「チユトニク」人種に屬し、言語風俗歴史畧相同じ、人質愛國心に富み、勇敢剛毅にして、武事を好み、彼の決闘の流行の如きは此の國士氣の一斑を觀るべし、且志慮周密にして學術を嗜めり。宗教は皆基督教にして、北部は新教に屬し、西南部は舊教を奉ず。教育は干涉主義を取り、全國に普及し、學術技藝大に進歩し、哲學、理學の如きは世界に冠たり、大學の數二十一、世界各國より笈を貢ふて遊學するもの多し。

交通

○交通 當國は水陸共に交通機關最も完全にして、沿海は許多の船舶航通頻繁にして、大小の河流と數多の運河は以て内地航通の便を資く。鐵道は伯林を中心として、全歐へ通達せり、其の他郵便電信等の設備整はざるなし。

◎貿易 天産物豊なる國を東に控え、製造業盛なる諸國と西に接し、交通の機關亦設備せるを以て、此の國の貿易の盛なるは素より當然のことなり。陸路貿易は露、墺、丁抹等と行はれ、海運通商は英、米、露等を重なるものとす。輸出の主要品は砂糖、織物、麥酒、葡萄酒、金屬器、器械、玻璃等にして、輸入品は綿布、珈琲、羊毛、生糸、小麥等なり。

◎政治 普魯西王は獨逸聯邦の皇帝となり、一千八百七十一年制定の憲法に據り、獨逸聯邦は國家を保護し國民の安寧幸福を計らんが爲め同盟聯合して、永世渝らざるを盟ひ、以て一帝國を組織せり。立法部は聯邦議會及代議院之を掌り。聯邦議會は各聯邦國を代表し、一會期毎に各聯邦政府之を任命す。代議院は國民を代表し、議員は普通人民より撰出す。

◎兵備 獨逸は歐洲諸國の間に介立し、國防上困難の位置にあり、故に護國尙武の念熾に兵役を喜び、兵士の勇武なるは自然の勢なり。陸軍は全國皆兵の制にして、丁年の男子は必ず兵役の義務に服し、兵員總數四十八万三千(一八九九年迄に完備)なれども、國家危急の時、は三百万を出すことを得べし。海軍は陸軍に比すれば未だ發達せず、軍艦の總數五十八艘、水兵一万九千三百餘人あり。

◎屬地 海外の屬領は多からず、亞弗利加洲の沿岸及大洋洲に若干あるのみなり。

丁抹(面積一萬五千方哩、人口二百十八万)

◎丁抹は獨逸の北部よりバルチック海、北海の間に突出するジヤトランド半島及びジイランド島、其の他の島嶼を以て成れる一王國なり、其の面積我が九州よりも小なり。全國の地勢平坦にし

氣候産物

て、大河なく又大山なし、間、海水浸入するを以て、堤防により海波を防ぐ所あり。

◎氣候産物 氣候は高緯度の地なれども溫和にして、濕氣多く、地味肥沃にして、住民の大半は農業牧畜に従事す、又漁業をなすものあり、故に主要の物産は穀物、牛、馬、羊、豚、鱈、鯡等なり、殊に製酪業盛にして、畜類乳油、穀類は主要の輸出品なり。

都邑

◎都邑 國都コーペンヘーゲンはジールランド島の東海岸に位し、人口三十一万を有し、海路通商の要地に當り、各國の商船輻湊し貿易盛なり、港口には堅固の砲臺あり以てバルチック海の咽喉を扼す。

人民

◎人民 住民は「チュトニク」種に屬し、容色美麗と稱せらる、人質勤勉忍耐にして、義氣に富めり、瀕海の國なるを以て古來優等の海

政治

員を出す。宗教は新教を奉じ、教育は頗る普及し、文字を知らざるもの殆んど皆無なり。

◎政治 政治は立憲政體にして、議院は上下兩院より成る。此の國は元瑞典諸威をも併せたりしが後瑞典諸威は分離せしを以て、現今の如き一小國となれり。

屬地

◎屬地 氷洲、フエロー島等の屬地あり。氷洲(面積四万方哩)は北極圈に接し、氣候沍寒にして、地概ね氷原雪野なり。住民は七万余に過ぎず。島内山岳起伏し、火山多く、ヘクラ山は著名なる活火山なり、又間歇泉あり時を定め熱湯を噴出すること百尺乃至百五十尺に上る、其の響き雷の如く、實に壯觀なり。島内教育普及して無學の者なきは一奇なり。フエロー諸島は蘇格蘭の北方海上に散在し人口一万餘住民は漁業を以て生活す此外亞米利加の綠

洲及西印度の數島も屬領なり。

瑞典諾威面積二十九萬四千方哩

◎瑞典諾威は歐洲の極北部なるスカンデナヴィア半島を占めたる聯合王國なり。

地勢

◎地勢 地勢は諾威の南部にはドイヴ、フイルド山脈連亘し北東に走りてキオレン山脈となり、瑞典の國境に蜿蜒す。此の山脈南方は高峻なれども、北走するに従ひて低落す。瑞典は地勢概ね平亘にして、極南の平野には清麗なる湖沼を湛へ、繁盛なる部なり。河流の重なるものはボスニア灣に注ぎ多少、灌溉舟漕の便あり。諾威の全土は山岳起伏して、大西洋岸は急に海に迫り、絶壁奇崖にして、河流は其間を刻み、瀉ぎて瀑布となり、結びて氷河をなし、風景清絶なり。北海岸は嶮絶なる狹澳を作り、出入參

氣候

差せり。

◎氣候 氣候は沿海と山地とによりて大に異なり。即西海岸は

墨西其灣流の調和により北に僻在するに比すれば、暖和なり、海水氷結することなく、寒暑の差又甚しからず。中央山地は烈寒にして水銀氷結することあり。東海岸は稍、溫和なり。此の國

の氣候は唯、夏、冬の二季あるのみにして、冬は長く、夏は短かし、北部地方は夏季數週間、太陽地下に没せず、冬季は數週間の夜あり。

産物

◎産物 寒威烈しきを以て農産物は少しと雖ども、林産、水産、鑛産

は此の國重要な富源なり。國の中央山地は森林鬱蒼として堅緻の良材を出し、水産は諾威の沿岸は世界三大豊魚帯の一にして、鱈、鯡の漁額實に莫大なり。鑛物は各種の産あれども、瑞典の鐵は品位優等にして、英國産にも勝ると云ふ。

都邑

◎都邑 瑞典の首府ストックホルムはメ

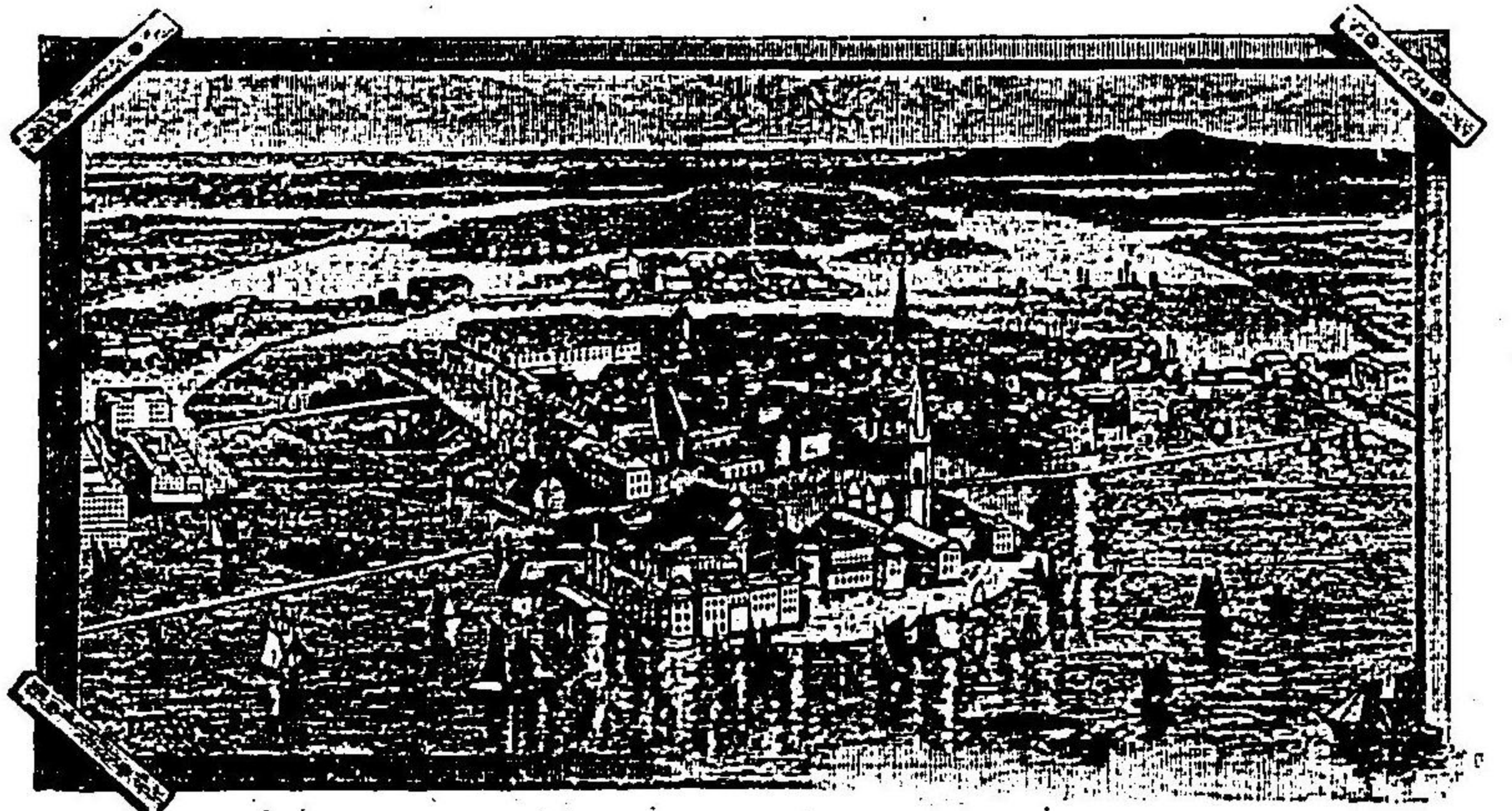
ーラル湖畔に在り市街は四十餘の小島に散點し、風光絶佳にして、北方ヴェニスの稱あり、人口二十五万を有し、貿易盛なり。ノルウェーの首府クリスチニアは同名の灣頭に在り、人口十五万、貿易盛なり。

人民

◎人民 瑞典は人口四百餘万、ノルウェーに二

百餘万あり、北部は人烟寥々たれども、南部は稠密なり。人種は「チュートニク」種に屬し、人質勇敢にして、信義に厚く、氣候寒冷なるを以て勤勉力作す、容貌

ムルホクトス



政治

又端麗なり。宗教は新教を奉じ、教育能く普及し、往々碩學を出す。

◎政治 政治は立憲政體にして、瑞典王ノルウェーの王位を兼攝すれども、兩國特別に政府、議院を設け、政治を行ふ。スカンデナヴィアは元丁抹に屬せしが、其の羈絆を脱し、始め兩國合して一聯邦となり、後分離して獨立國を組織し、其の後再び兩國聯合して、共同の立憲王國となれり。

露西亞

◎露西亞は歐洲の東北部を領する歐洲第一の大國なり。其の面積二百九万五千方哩、即歐洲全土の過半を占む。

地勢

◎地勢 露西亞は歐洲東北の大平原を占め、全國殆んど山岳と稱すべきものなく、唯、極南のクリミア及高加索と、東境に烏拉爾山

脈とあるのみなり。中央は即サルマチック平原と稱する廣漠の平野にして、野の中央にウルダイ丘西南より東北に連亘して分水脊をなす、此の大平原は所によりて地貌同じからず、北部は「澤原」と稱する卑濕の澤地にして、冬季は堅く氷結し、全く不毛無人の寒野となる。中部に至れば歐洲中、比類なき廣大の森林ありて、松柏の類鬱蒼として人烟稀なり。東南部黒海及裏海の畔は樹木なき卑濕の「曠原」茫々たり。南西部は地味肥沃にして、田圃大に開け農産物夥しく、人烟繁庶なり、殊に上等の小麥を産し歐洲の穀廩とも稱せらる。

河湖

◎河湖 露西亞には大河少なからず、殊にウールガ河は歐洲第一の大河にして、全長二千二百哩に及び、水深く流れ緩に、運漕の便大なり、上流は運河によりてバルチック海に通じ、汽船の往復頻繁な

氣候

り。其の他南流するものにドン河、ニール河、ニースタル河等あり北流するものにはベチラ、ドヴナ、を大なりとす。然れども冬季に至れば河水多く氷結して、航運の便を欠く。湖水は芬蘭地方に多くラドーカ湖は歐洲第一の大湖なり。

◎氣候 地域廣大なれば、寒暑の差各地同じからずと雖ども、世に有名なる寒國なり。即北部は地下終年氷結して、耕作を施す能はず、中央部は稍薄寒なれども、莫斯科府の烈寒は尙我が國に比なし。南部クリミヤ地方は、夏季長くして炎威又烈しく、檸檬、橄欖、無花果、等半熱帯の植物あり。之に反して極北部ラブランド地方は夏季太陽没することなく、蘚苔、雜草一時に叢生し、又忽ち枯凋す。雨量は一般に少なし。

◎産物 本國は寒地なるに拘らず、古來農業を以て國本となし、人

産物

民の過半は農民なり、然れども夏の短季の間に、諸穀成熟するを以て嘉穀を産する能はず、但小麥は良種と稱せらる、其の他裸麥、亞麻、麻苧、馬鈴薯、甜菜等の産多し、牧畜も財源の一にして、馬、牛、羊、馴鹿等あり、殊に馬は良種を以て名あり。林産は北部に多く、水産は沿海に盛なり、本國の最要富源は鑛産にして、殊に金の産額は歐洲第一なり。其の他、銀、白金、鐵、銅、石炭、食鹽、石油等あり。烏拉爾山は主要の鑛産地にして、食鹽は裏海邊に無盡藏と稱せられ、高加索は多量の石油を産す、各種の工業も近時發達し、殊に綿布製造は甚だ盛なり。

處誌

◎處誌 本國の廣大なる土地を區劃して、露西亞本部、芬蘭、ラブラド、波蘭、北高加索の五部となす。露西亞本部は露西亞帝國の大部分を占め、北部バルチック沿海の地をバルチック州と云ひ、帝國

最要部にして主權の集まる所なり。首府を聖彼得堡と云ひ、芬蘭灣の東方に位し、ニエヴ河に跨る、此の府は二百年前(一千七百三年)までは寂寥たる沼澤なりしが、西歐に近くして兵事上、通商上の要地なるを以て、彼得大帝茲に經營して、首府を創設せり、今や人口百万に達し、宮殿、官衙、壯麗を極め、府内には彼得大帝の宏大なる銅像あり。冬季は河流氷結、航路全く杜絶すれども、夏季は大船輻湊して、貿易盛なり。クロンスタットは芬蘭灣の咽喉を占め、鐵造



聖彼得堡及莫斯科宮殿

の砲臺ありて、要害甚だ嚴重なり。

○莫斯科府は舊都にして殆ど國の中央四方交通の要點に在り、内地の貿易甚だ盛なり、嘗て那破崙の時焦土に化せしが、今や人口七十九万を有し、露帝の即位式は必ず此の府に擧ぐるを例とす。ニズニノヴゴロドは莫斯科の東方ヴルガ河畔にありて、南北の要路、歐亞の中心を占むるを以て、毎年七月より九月に至るの間、大市を開き、商賈、歐亞の諸國より集まるもの三十餘万に上り、其の取引の盛なること世界に比類なし。オデッサは黒海濱の要港にして、人口三十万を有し、小麥の輸出を以て有名なり。アストラカン府はヴルガ河口の三角洲に建ち、裏海貿易の樞要地なり。

○芬蘭大公國及ラブランドは北部寒僻の地なり。波蘭は國の西

人民

南に在り元波蘭王國の地にしてウルソは其の故都なり。北高加索は高加索山脈の北部地方を云ふ。

○人民 本國は九千七百萬の人口を有し概ね『スラボニク』種族なり。芬蘭ラブランド及南東露西亞の草原には蒙古人種住せり。『スラボニク』は性質慍悍にして壯大の氣象あり。

ドン河の右岸には哥薩克と稱する勇悍の土民あり、多く軍役に服す。國教は希臘教にして、皇帝は教法の主宰者なり。然れども信仰は自由なり。教育は他の歐洲各國の如く盛ならざれども強迫主義を取りて普及を計れり、高等教育は進歩して貴族、富豪の人士には學者少なからず。

○交通 露國の交通は多く、河流によれり、諸川水深く流れ緩に、且各川を連絡して、運河を穿ち運輸甚だ便なり、然れども冬季は氷

交通

貿易

結するを以て橋に頼りて來往す。鐵道は東北地方を除く外、到る所布設せられ、又歐亞兩洲を貫く西伯利大鐵道の成就是期年
 にあり。郵便電信の制も亦大略備はれり。

◎貿易 此の國は歐亞兩洲の間に在りて、中央市場の資格を有し、兩洲貨物の吐吞所なり、即西歐より既製品を輸入して、未製品を輸出し、東亞に對しては既製品を輸出して、未製品を輸入す。内地貿易は處々の都府に於て開ける定期の大市甚だ盛なり。外國貿易は聖彼得堡及オデッサの兩港を中心とし、其の他は陸路によれり、重もなる貿易國は支那、獨逸、英國等なり。輸出品は穀物、亞麻、木材、鑛物、家畜、獸脂、毛皮等にして、輸入品は茶、綿、珈琲、毛布、酒類なり。日露貿易は我より米及雜貨を需用し、彼れより石油を供給す。

政治

軍備

領地

◎政治 政體は君主專制にして、皇帝は生殺與奪の全權を握れり。政府は國務院、元老院、內閣、教務院の四部に分る。國務院は法律案を調査し、元老院は法律を發布し、又は最高裁判所たり。內閣は諸政を總理し、教務院は國教事務を監督す。陸軍は平時八十一万四千餘なれども、戰時は二百五十三万の戦員と馬五十八万頭、大砲五千三百を出すべし。海軍は甲鐵艦四十五艘あり。

◎領地 亞細亞露西亞は甚だ廣大にして、六百五十六万五千方哩、其の版圖の廣大なる本國を併せて、全世界陸地の六分の一を占め、總人口一億一千五百万を有す。

英吉利

◎英國は歐洲大陸の北、大西洋上に横はる雙子狀の大小二島より成る、大を大貌列顛島と云ひ、小を愛爾蘭と云ふ、大貌列顛島は英

倫威爾斯、蘇格蘭の三部に分れ、之に愛爾蘭及び附屬群島を合せて英吉利諸島と云ひ、國名を大貌列顛愛爾蘭合衆王國と稱す。又海外の領地を併せ稱するときは英吉利帝國と云ふ。其の面積十二万九千方哩なれば、我が日本より稍小なり、人口は三千八百万餘あり。

位置

◎位置 北海を東にし、大西洋を西にす、佛蘭西とは英吉利水道を隔て、水道の最も狭きドーヴ、イ海峽は二十一哩に過ぎず、各島海岸の屈曲甚だ多く、港灣半島乏しからず。要するに本島は大陸と海を隔つるを以て、大陸の戦亂騷擾等の影響を被ると少く、而して大陸の文化、技藝は海を渡りて直に到り、西は渺々たる太平洋の彼岸には、富源限りなき北米大陸を控え、以て通商貿易の利を占むべく、兵要上には以て西歐沿海の海上權を制すべき好位

地勢

置にありて、此の國現時の發達決して偶然にあらざるなり。

◎地勢 大貌列顛島はチェヴィット連丘によりて英倫及び蘇格蘭に分つ。蘇格蘭は山岳起伏して平野少く、唯中央に少狭の低地あり、此の低地は石炭に富み、工業盛に人烟殷賑なり。英倫にはチェヴィット丘より南に分派する山脈あり、此の脈の西側は山深く水清く、風景清楚なり。脈の東際は肥沃の平地相連れり。威爾斯は概ね山岳連亘せり。愛爾蘭島は其の周圍に山岳丘陵を廻らし、中央は反て平野なり。

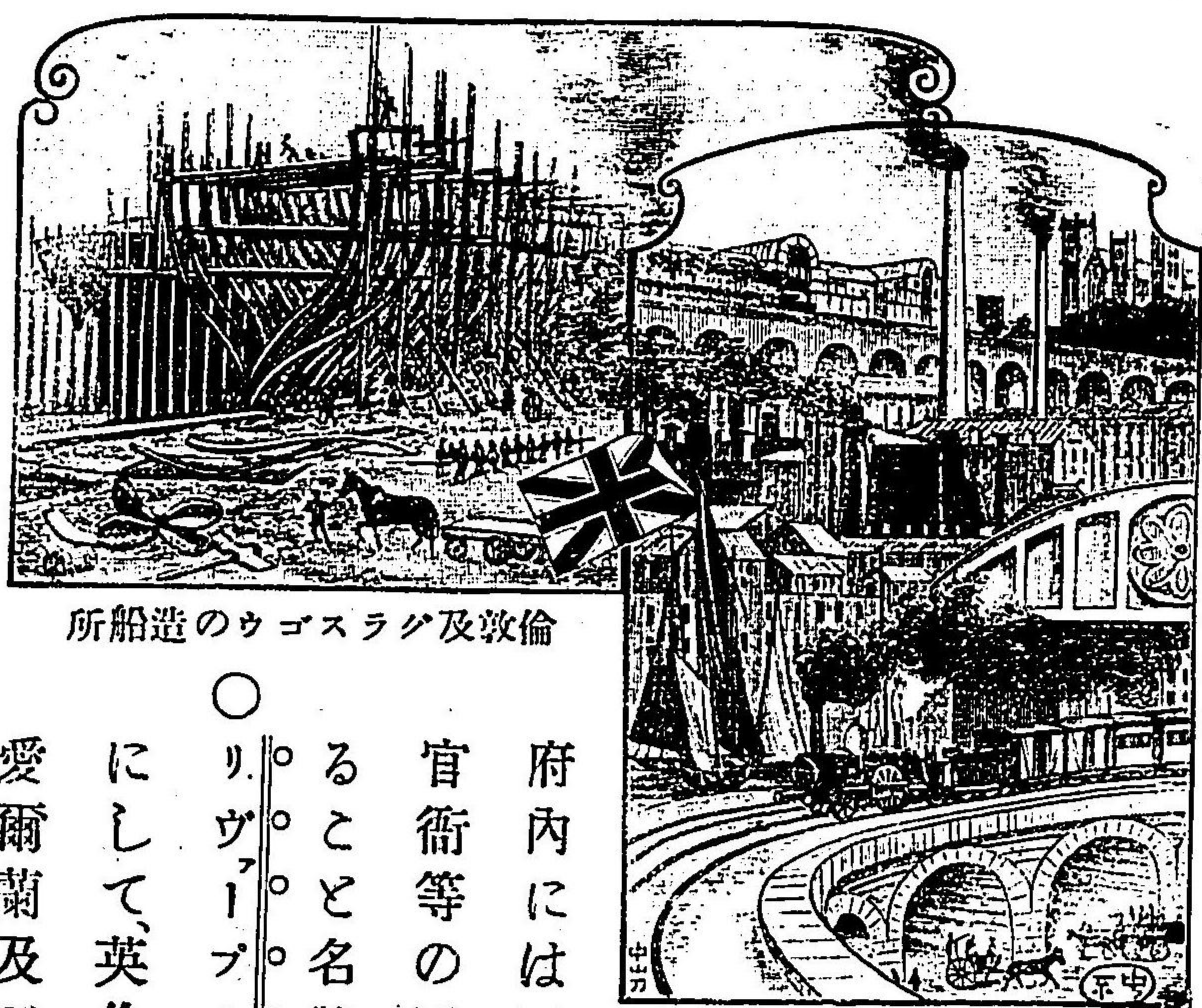
○河水は概ね流れ緩に、水深く、河口廣くして上流まで海潮の溯るを以て、自在に大船を容るべし。最も著名なるをテムズ河とす、全長二百哩の中百六十哩は航行することを得べし、世界第一の大都會倫敦府は其の河口に建てり。

◎氣候 英國は其の位置我が千島の極北より堪察加邊と同じけれども、全年の氣候頗る溫和にして、農産豊に、快活に生を送ることを得べし。是れ墨西其灣流の調和を被るを以てなり、然れども水蒸氣甚だ多く、全年濃霧濛々として、晴天白日を見ること稀なり。

◎産業 耕作法の完全なることは、他國に其の例を見ず、穀類殊に小麦及び馬鈴薯等の産額少なからざれども、國民の食料に宛つるに足らず。牧畜は天然の事狀能く適應し、飼養法實に發達せり、故に良種の馬、牛及び羊、豚の産出多し。林産は蘇格蘭に多く、水産は鱈、鯡の類、收穫最も多し、此の國富強の根元は主として礦物の無盡にあり、殊に英國が世界第一の貿易國、工業國として天下に雄飛するは實に石炭と鐵の賜なり。即ち石炭は世界總額

の半を出し、鐵は歐洲諸國總産出の半に居る、其の他錫、銅、鉛、亞鉛等の産あり。工業、礦物の豊富なると、交通の便利にして、販路廣く、且國民起業心に富みて、資本裕に、器械の精良にして、工業に熟達する等の理由は優に此の國の工業が世界第一たる所以なり。其の最も盛なるは綿布製造業にして、第二は羅紗なり、次を麻布及び絹布とす。又金屬工業は細小なる縫針より、壯大なる軍艦に至るまで、各種の製造品枚舉に違あらず、就中造船業の盛なるは世界隨一にして、我が富士、八島の堅艦も此の國の製造に係れり。

◎都邑 首府倫敦はテームス河上に在り、人口四百餘万を有す、都會の面積百二十三方哩に亘り、世界無雙の大都會なり。此の府は世界貿易の首府にして、其の一動一靜は萬國の商況に影響し、恰



倫敦及拉古斯之造船所

も萬國を以て花主とし、地球上の富を一府に集るが如し、街衢の熱鬧にして、車馬行人の絡繹たる、通商貿易繁多にして、製作工業の隆盛なる、實に人目を驚かす計りなり。

府内には王宮、議院を始め、博物館、寺院、諸官衙等の巨屋、大厦臺を駢べ、其の壯觀なること名狀すべからず。

○リヴァプールは倫敦に次ぐ第二の都會にして、英倫の西海岸にあり、人口五十萬、愛爾蘭及び米國との樞要貿易港なり。

米國より綿花の輸入最も盛に、之を綿布として再び輸出す。

○マンチェスターはリヴァプールの東に在りて、人口五十萬、世界第一の綿布製造所なり。ハールミンガムの鐵器製造は萬國に冠たり、又玻璃、鐵砲の製造も巧妙なり。

○エジンバラは蘇格蘭の首府にして、山水明媚、文學盛に、新雅典の稱あり、又有名の大學あり。グラスゴは工業盛に、木綿、船舶の製造を以て名あり。ダブリンは愛爾蘭の首府にして、東海岸にあり、風景に富み、著名なる大學あり。

◎人民 英倫の民族は多く「チートニック」に屬すれども、威爾斯、蘇格蘭、愛爾蘭の住民は「ケルチック」種多數を占む、人質着實に、忍耐勤勉にして、敢爲の氣風に富み、生産を力め、通商貿易の如き最も英人の得意とする所なり。今日海上王の名を博せるは此の好人

人民

テムス河畔



英國
議事院

情より胚胎せり。
宗教は概ね基督新
教を奉じ、愛爾蘭人

民は舊教を
奉ず。教育
は自由教育
にして、獨逸

の如く干涉

せず従ひて普通
教育は佛、獨等に
一步を遜れども
高等教育は甚だ盛にして、

状の搬運炭石を場碎炭石

交通

碩學、大儒を出すこと少からず。

◎交通 内地は河流と鐵道の便あり。河流は長大ならざれども運送の利に富み、又所々運河を通じ、之れを助く鐵道は蛛網の如く、全國に縱横し。海運の業は實に世界第一にして、全地球到る所、英國旗を翻せし船舶を見ざるなく、郵便、電信も又發達せり。

貿易

◎貿易 英國は世界第一の商業國にして、万国到る所、通商貿易せざるはなし、貿易品は綿布、羅紗等の織物を始めとし、諸種の金屬器、器械等を盛に輸出し、棉花、烟草、藥品、飲料、染料等を輸入す。

○我が國へは綿布、羅紗、其の他の雜品を輸入す、即ち世人の日常着用する綿布は多く、當國マンチエスター製に係る、綿糸に仰げり、我が國よりは生糸、米、烟草等を送れり。

政治

◎政治 立憲政體にして、君主は世々其の系統を継ぎ、議會は上下

兩院より成る。軍備は陸軍は主とする所にあらず、常備兵十萬四千餘にして、屬地殖民地の兵を合せて二十一萬餘あり。海軍は艦隊の優勢と水兵の練達を以て世界に鳴り、軍艦の總數四百八十九隻を有し、内排水一萬噸以上の大艦三十隻あり、一百五十餘隻の軍艦は常に海外に派遣し、武威世界に輝き、『海上王』の名實に空しからざるなり。

◎領地 英國の屬地は五大洲に跨り、其の全面積一千百二十九萬千餘方哩を有し、實に地球の六分の一を占む。故に大陽常に其の領内に没することなしと稱す。今其の重もなる領地を舉ぐれば(一)歐羅巴にジブラルタル、マルタ島(二)亞細亞には英領印度、海峽殖民地、香港、(三)亞弗利加に岬殖民地、東亞弗利加(四)亞米利加に加奈太、西印度、諸島、(五)太平洋洲に濠太刺利亞、タスマニア、新

西蘭土、フジ、新幾尼亞等なり。此等諸屬地に住する人口無慮三億四千五百餘萬に達せり。

和蘭

◎地勢 和蘭は歐洲の西部、北海の濱を占めたる一王國にして、面積我が九州よりも稍小なり、本名はネザールランド(低地の義)と稱し、全土總べて低原にして、地の大半は海面以下にあり、然れども海岸には沙丘(波瀆と風力とによりて出來たる高き三十五呎乃至二百呎のものあり)ありて、自然の堤防を爲せども沙丘なき所には人工を以て堅固なる堤防を築き、海水の浸入を防げり、又唧筒或は風車にて晝夜排水に盡力して、厓に陸面を保護する所あり。

○河流は獨逸より來れるライン河あり、其の他運河縱横に通じて交通の便あり、故に和蘭を以て運河國と稱するも亦宜なり。

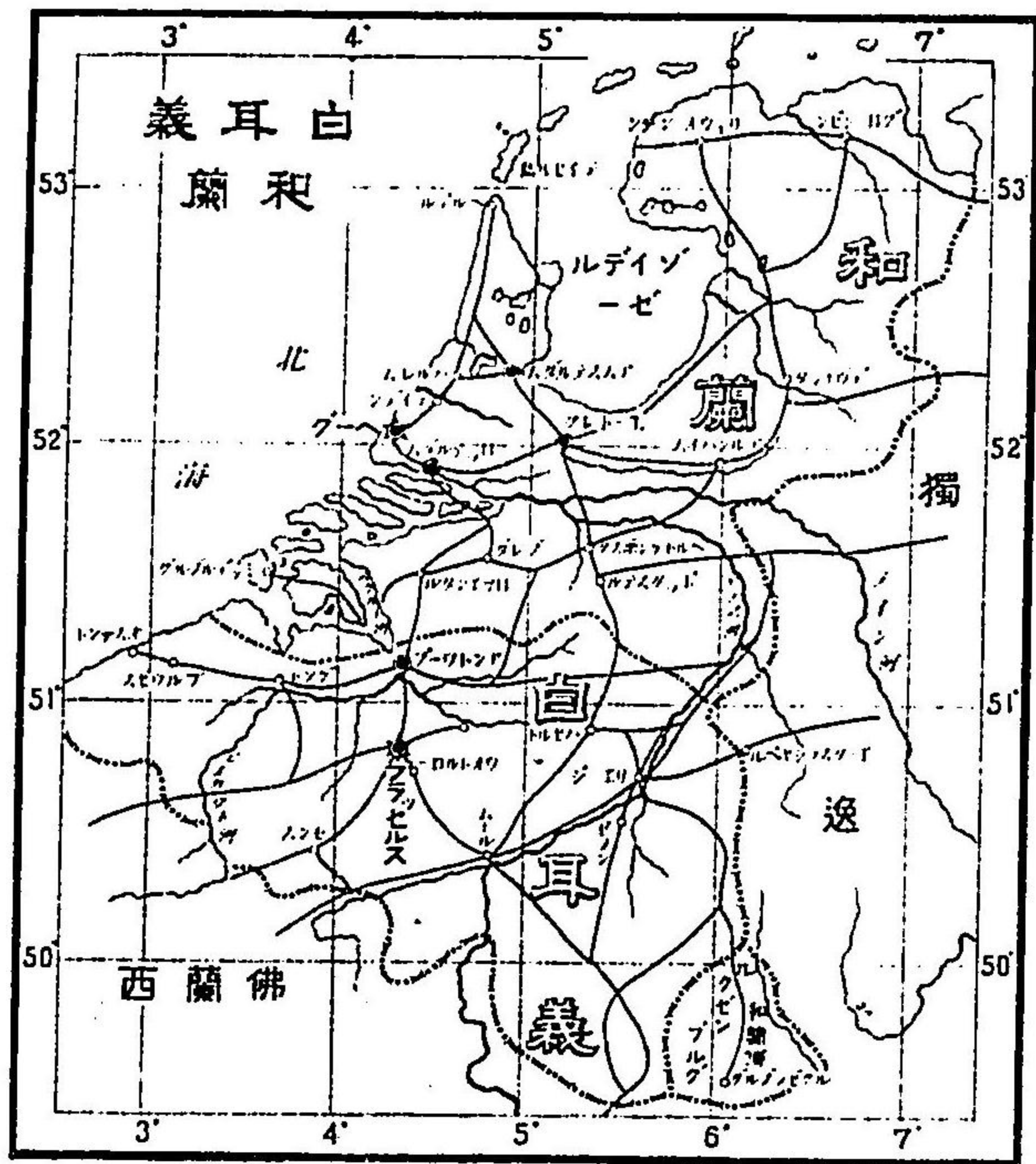
◎氣候産物

沿海の地は氣候溫和なれども、内地は严寒烈しく河水氷結して、人馬其の上を通行す、又霧深く全年中晴朗の日は四十日に過ぎずと云ふ。和蘭人は海水と戦ひて寸土も之れを護りて生産地に供せり、従ひて農業は頗る進歩せり、第一の生業は牧畜にして、良種の牛馬を産し、牛酪、乾酪等は重要産なり。工業は昔時の如く盛ならず。

都邑

◎都邑

ヘーグは人口十七万に足らざれども、首府にして王宮、議院及び外國公使館等あり。阿姆斯特ダムはゾイデルジ一灣に臨み和蘭第一の都會なり、人口四十万を有し、溝渠縱横運輸の便を極め、貿易殷賑にして、工業も亦盛なり。ロツテルダムはライン河口の貿易港なり、中歐諸國よりライン河により大西洋に出づる要所なり。



人民

◎**人民** 人口四百七十三万あり『チトニック』人種に屬す、耐忍勤儉の性を有し、且愛國心に富む。宗教は三分の二は新教を奉じ、他は舊教なり。教育は能く普及して、著名の大學あり。

交通貿易

◎**交通貿易** ライン河の本流及び支流によりて、獨逸、白耳義に通ずべく、汽船の上下頻繁に、溝渠は縱横に通じ、鐵道又四通して車馬船舶の來往共に其の利を極め、海には巨船、大舶出入す、古來商業國、海運國として世界に雄飛せり、故に我が國の如きも和蘭とは數百年前より貿易せり。輸出品は牛酪、乾酪、麥粉等にして輸入品は鐵、石炭、木材等なり。

政治

◎**政治** 立憲君主政治にして、國會は上下兩院より成る、元と白耳義と共に西班牙領に屬せしが、後獨立して白耳義と共にネザールランド新王國を組織し、六十九年前(一八三〇年)遂に分離せり。

○領地は太平洋の瓜哇、スマタラ、ボルネオ、セレベス、新幾尼亞等の諸島及び亞弗利加洲、亞米利加洲等に少許の殖民地ありて其の面積本國に五倍せり。

白耳義

◎白耳義は和蘭と共に歐洲低土の一部を占むる小國なり。面積は和蘭よりも小にして、人口の稠密なること世界第一とす。

◎地勢 西北部は和蘭と同じく、沿海は堤防によりて海水を防げり、東南部は丘陵多く、森林鬱蒼たり。河流及び溝渠多し。

◎氣候 氣候は和蘭に似たれども稍温かなり。産物は農産多からず第一の富源は鐵と石炭なり。故に小英國の名を得たり、鐵石炭の豊富は工業盛なる要因にして、鐵器製造及ブラツセルスの『レース』(女服用の飾裝用)は著名にして、其の他綿、麻、毛織物等あり。

地勢

氣候

都邑

人民

政治

◎都邑 首府ブラツセルスは殆ど國の中央に位し、鐵道及び運河の樞要地を占め、貿易盛なり、清整なる市街は丘陵に跨り、高低参差として壯麗なる建築物軒を并べ、景勝豪華なり、故に北方小巴里の稱あり。人口四十八万を有す、府の南に有名なるナートルローの古戰場あり。アントワープ府は北海岸にあり、商業上好位置を占め、貿易盛にして歐洲大港中の一なり。

◎人民 人口六百三十五万あり、其の三分の二は『チュトニク』人種にして、餘は羅甸種なり。『チュトニク』人種は言語、風俗、和蘭人に近く、羅甸種は佛人に近く、重に佛國附近に住す。宗教は多く舊教を奉じ、教育も漸次進歩し、四個の大學あり。

◎政治 此の國は六十餘年前和蘭より分離して、獨立せる立憲世襲君主國なり。議會は上下兩院より成る。

佛蘭西

◎佛蘭西は歐洲南部の一大強國なり。面積二十万四千方哩を有し我が國よりも稍大なり。南は地中海に濱し、西北は大西洋に枕む。

地勢

◎地勢 東境及南境の一部には山岳起伏して、雄峻なれども、他は概ね平原にして、農産豊饒の沃野に屬す、是れ則佛蘭西平原なり、此の平原を西流して、大西洋に注ぐ大河三流あり。セーヌ、ロアール及ガロン河是れなり、何れも水深く流れ緩に、灌溉、舟運の便多くして、沿域には繁盛の都會あり。ロアン河は東部に在りて南流し、地中海に注ぐ、流れ急に、運漕の利少し。

氣候

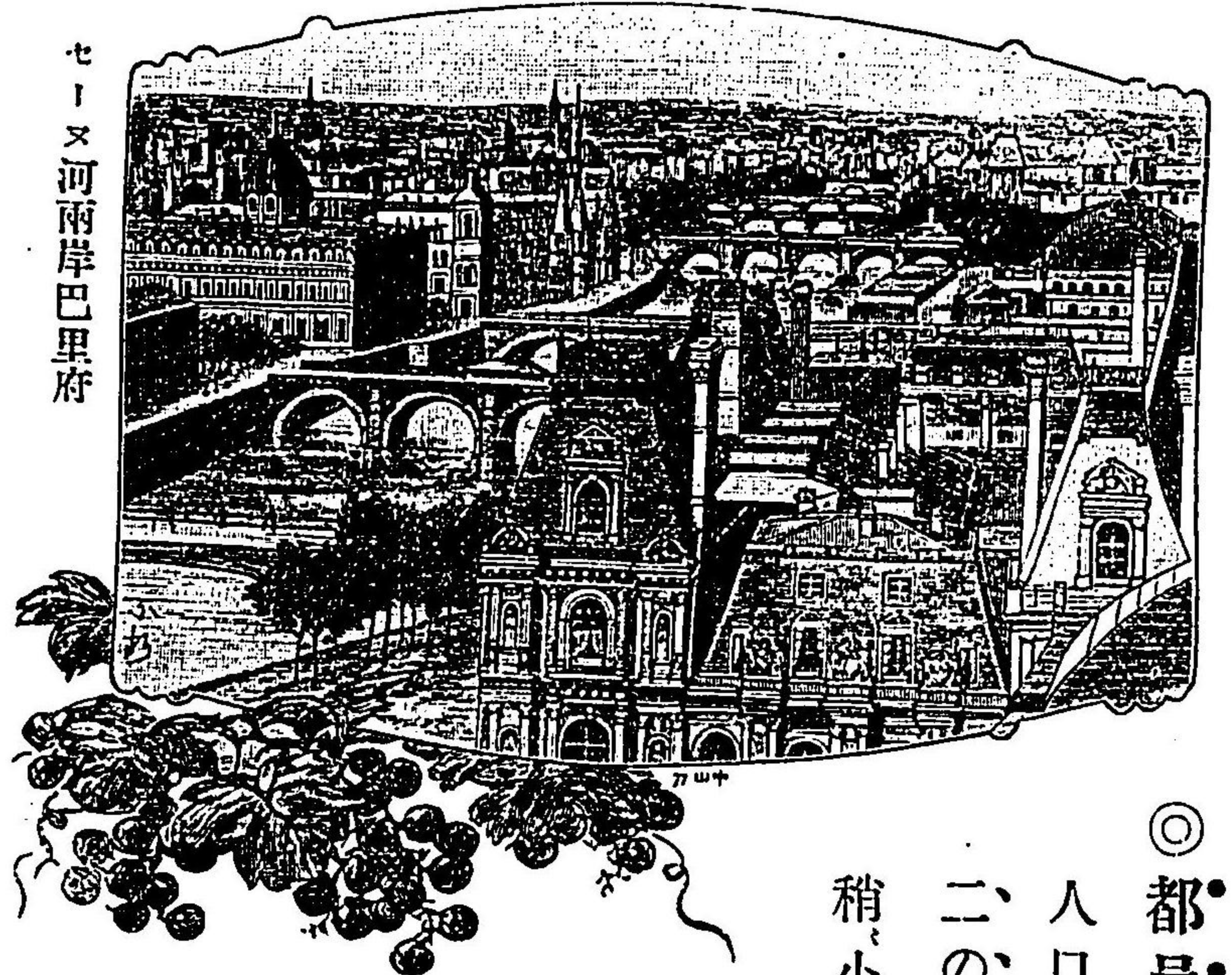
◎氣候 佛國は温帶の中央に位し、歐洲中の最要部を占めたり、殊に沿海地方は墨西其灣流の調和を蒙り、氣候中和にして、冬寒夏

産業

熱共に烈しからず、且四季天氣清麗にして、歐洲中氣候最も爽快と稱せらる。

◎産業 氣候の佳良なると、地味の豊沃なるとは、農耕發達し、佛國の富源は農産なり。小麥、裸麥、燕麥等の穀類を始め、林檎、葡萄、橄欖等の果實を産すること少らず、殊に葡萄酒の醸造盛にして、世界各國へ輸出し、王公貴紳の卓上に、其の芳香佳味を賞せらる。家禽の飼養は最も意を用ひ、鶏卵の輸出は實に夥し、鑛物も亦富贍にして、鐵、石炭を第一とす。工業は英國と其の盛を競ひ、寧ろ意匠の巧みにして、華奢の美術品を製するに至りては英國に勝れり、殊に絹帛製造は世界隨一と稱せらる。其の他毛布、綿布等の製造盛なり。要するに佛國は農産によりて國の富力を増し、工業によりて世界の富を集めたるものと云ふべし。

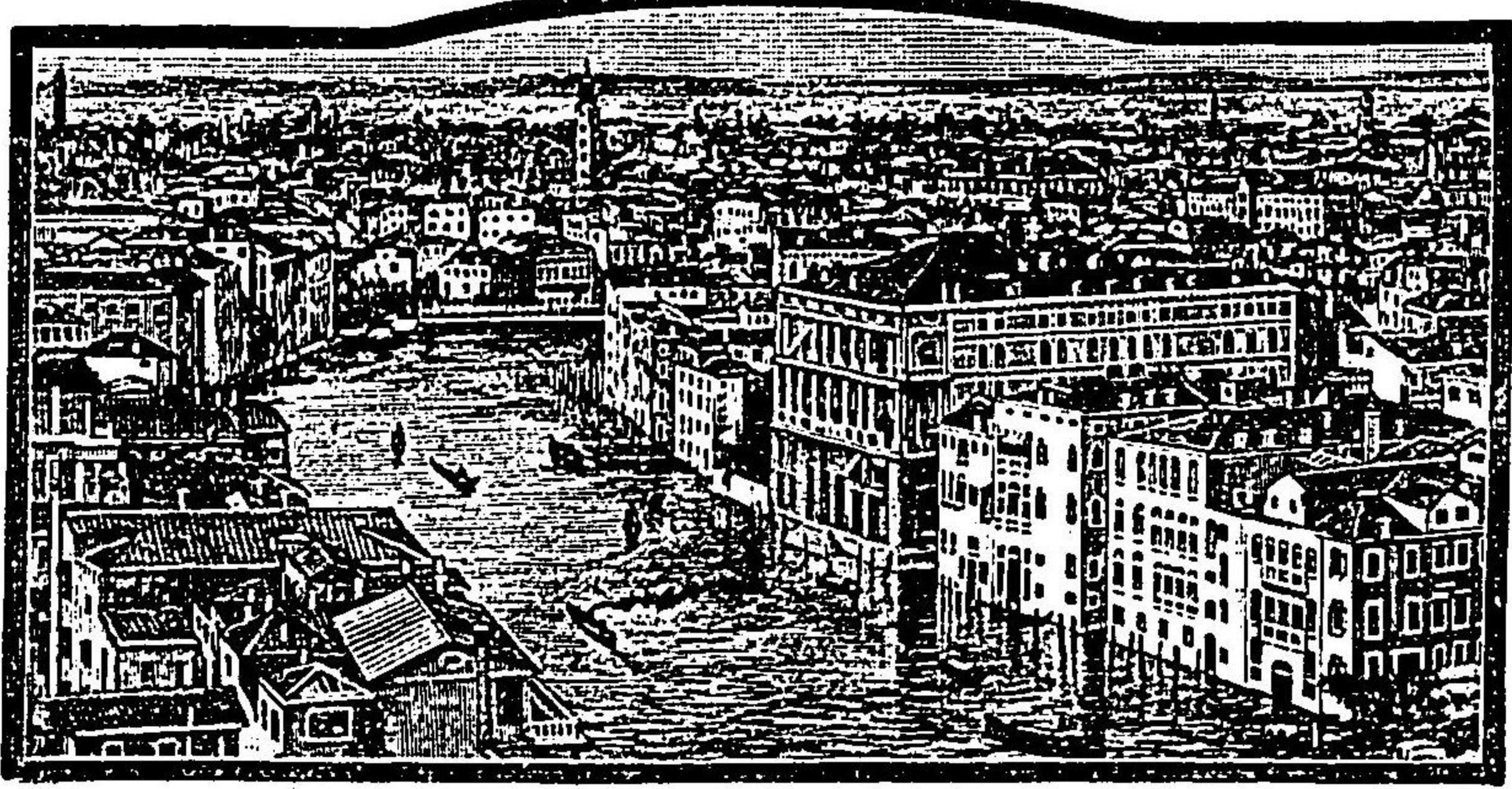
セーヌ河兩岸巴里府



◎都邑 首府巴里はセーヌ河に跨り、人口二百四十五萬を有する、世界第二の大都なり、倫敦に比すれば規模稍小なれども、壯麗端正なるは倫敦の及ばざる所なり、文學、技藝の淵叢と稱せられ、歐洲諸國風俗の源と謂ふべく、豪華を衒ひ、華美を競ひ、流行日に新に、他國人の争ふて摸倣する所なり。市内は清雅なる公園、宏壯なる建築、其の他博物館、繪畫閣、圖書館等世界に並ぶものなく、街衢熱

開にして、車馬旁午、行人織るが如し、府の周圍に城壁を繞らし、守備嚴重なり。○里昂はロイン河畔に位し、人口四十二萬を有する、佛國第二の大都會なり、絹帛製造の盛なるは世界に冠たり。馬耳塞は里昂灣に臨み、地中海の一大要港なり、亞細亞、亞弗利加及地中海沿岸諸國の貨物集散場なり。ポルドーはガロン河口に位し、葡萄酒輸出を以て有名なる港なり。

◎人民 人口三千八百三十四萬を有す、種族は概ね羅匈「チトニク」の雜種に



して、少數の『ケルト』人種あり。性質敏捷にして愛國心に富み、勇悍にして快活なり、然れども輕佻にして堅忍持久の精神に乏しく、豪華を好み新奇を貴ぶの弊あり。宗教は概ね舊教なれども、或は新教を奉ずるものあり、普通教育は獨逸に一步を譲れども、高等教育は甚だ盛なり、文學、美術大に進歩し古來碩學大家少からず。

交通

◎交通 交通の要具悉く備はり、内地には河、流、運、河、縱、横、に、通、じ、地中海と大西洋との間船舶の航行自在なり。鐵道は蛛網の如く敷設せられ、歐洲諸國中其の組織最も完全なりとの評あり。

貿易

◎貿易 位置地勢の佳良にして、交通の便利と、製造業の盛なることにより、貿易盛大なり。重なる輸出品は絹帛及其の他の織物、葡萄酒、美術的製造品、双物等にして、輸入品は食料品及製造の原料

政治

等なり。我が日本へは葡萄酒、織物、兵器等を輸出し、生糸、絹帛、雜貨等を輸入す。
◎政治 佛國は國體政體の變革を以て有名なる國にして、現今は共和政とす。議院は上下兩院より成り、大統領は上下兩院に於て撰舉し、其の任期は七年なり。

軍備

○軍制は全國皆兵にして、陸軍は常備兵五十二万、戰馬十二万あり、戰時には三百八十五万の兵員を出す。海軍は諸艦合せて四百三十六艘あり。

領地

◎領地 屬地、保護國、尠からず、亞細亞、亞弗利加、大洋洲及亞米利加に散在す、其の面積合計二百八十一万方哩にして、人口三千五十二万餘あり。

西班牙 (面積十九万七千七百七十五方哩、人口一千七百五十五万)

◎地勢 西班牙は葡萄牙と共にアイベリア半島を占めたり、北にはピレニース山脈ありて佛國と境し、又カンタブリアン山脈之れに連れり、國の中央にも山岳起伏して、概ね二千呎以上の高原に屬す、故に歐洲の山國なり。此の高原は東西に向ひて傾斜し、河流東西に分流す。西流して大西洋に注ぐものはドウロ、テীগアス、グアデア、アナ、グアダクイル、の諸大河あり、東流して地中海に入るものはエプロ河なり。國の南端ジブラルタル海峡は地中海の咽喉を扼したる要害の地にして、英國に屬す。

◎氣候產物 氣候は夏熱烈しくして、冬寒又嚴なり、唯、西北部及び東南海岸地方は稍、溫和なり。雨量は概して欠乏せり。以上の如き氣候なると、地勢の高峻なるとは土地概ね礫礫なり。森林は濫伐して樹木甚だ乏しきと雖ども、塞子樹、栗樹、橄欖等は風

土に適し、又葡萄の栽培少からず、米も亦産す。畜産には美毛を有する綿羊及び山羊、牛、馬を産す。鑛産は往時の如く盛ならず、唯、水銀と鐵とは、今尙産額多し。工業は頗る衰退し、著しき産品なし。

◎都府 首府マドリドは國の中央海面上二千四百呎以上の高原に在り、人口四十万を有し、王宮は壯麗にして、美術館は世界第一と稱せらる、此の府闘牛の技は有名なり。バルセロナは地中海邊の要港にして、其の形勢より云へば却て首府に勝り、工業行はれ貿易活潑なり。

◎人民 人種は羅匈民族「チトニック」ケルト等の雜種なり。性質嫺雅を貴び、歌舞音曲に耽る、殊に闘牛の技は西班牙人一般の好む所なり。宗教は基督舊教を奉じ、教育は未だ普及せず。

◎通商貿易

西班牙は其の位置良好にして、古來曾て世界の通商航海國となり、彼の亞米利加發見、喜望峯回航の如き此の國人の名聲噴々たりしかども、國運次第に衰え、内外の諸殖民地を失ひ、貿易も盛ならず。現今重なる輸出品は葡萄酒、橄欖油、羊毛、水銀、栓木等にして、輸入品は綿、穀物、烟草、石炭、金屬器の類なり。

◎政治 政治は立憲君主政體にして、議院は上下兩院より成る。陸軍は平時十四万五千、海軍は諸艦合せて五十餘艘あり。

◎領地 此の國の盛時は其の領地甚だ廣大なりしかど、今は次第に減じて大洋洲のマリアナ群島、カロライン群島、西印度のポルトリコ、亞弗利加のカナリー群島等にして、明治卅一年まで比律賓群島及びキエバ島は本國に屬せしが、北米合衆國と、交戦の結果遂に或は之を割讓し、或は獨立を承認せり。

葡萄牙

◎地勢

西班牙の西部に在るアイベリア半島の一王國なり。東部は西班牙山脈の餘派起伏すれども、西南に向ひて傾斜し、沿海地方は平坦なり。河は多く西班牙より來り西流して、太平洋に注ぐ、皆大河の下流を占むるを以て、水深くして大船を容るべし。

◎氣候產物

東部は炎熱甚しき所なきにあらざれども、西部沿海の地は快和にして降雨多し、然れども農業盛ならず、重なる產物は葡萄、果實、栓木等にして、西班牙と畧、相同じ、沿海には鱈等の漁業盛なり。

◎人民

八種、宗教共に西班牙と同じ、兩國民は氣質相似たる點なきにあらざれども、互に相疾視せり。

◎都府

首府里斯本は西海岸テージガス河口に位し、人口二十五万

政治

あり、古昔は繁盛なる都會なりしかども、今は舊時の觀なし。ポルトは首府に亞ぐ要都にして、人口十一万、葡萄酒の輸出を以て名あり。

◎政治 政體は立憲政體にして世襲の君主あり。議會は上下兩院より成る。此の國は西班牙と同じく、往時は國勢甚だ盛にして、其の領地も廣大なりしが、今は亞弗利加沿岸、印度ゴア、支那の澳門等に過ぎず。

伊太利

◎伊太利は歐洲南部より、地中海の中央に長靴形をなして突出する半島國なり。面積(百一十六方哩)は我が國よりも稍小なり。

◎地勢 國の北境及び西境には亞爾伯山脈蜿蜒し、それより國の中央を東南に走り、半島の脊梁となる、之をアベンナイン山脈と

地勢

氣候

呼ぶ。此の脈終に長靴の指頭に到り海峽を渡りてシ、リ島に連る、島内にある有名のエトナ火山は内地のヴェスヴァス山と共に古來著名の活火山なり。

○地形幅狭きを以て長大の河流を作す能はず。唯、北方ポー河は稍大なれども流早く船を行るに便ならず、然れども灌域は所謂ロムバルデー平原と云ひ、田圃、牧場茫々として伊太利の寶庫と稱せらる。

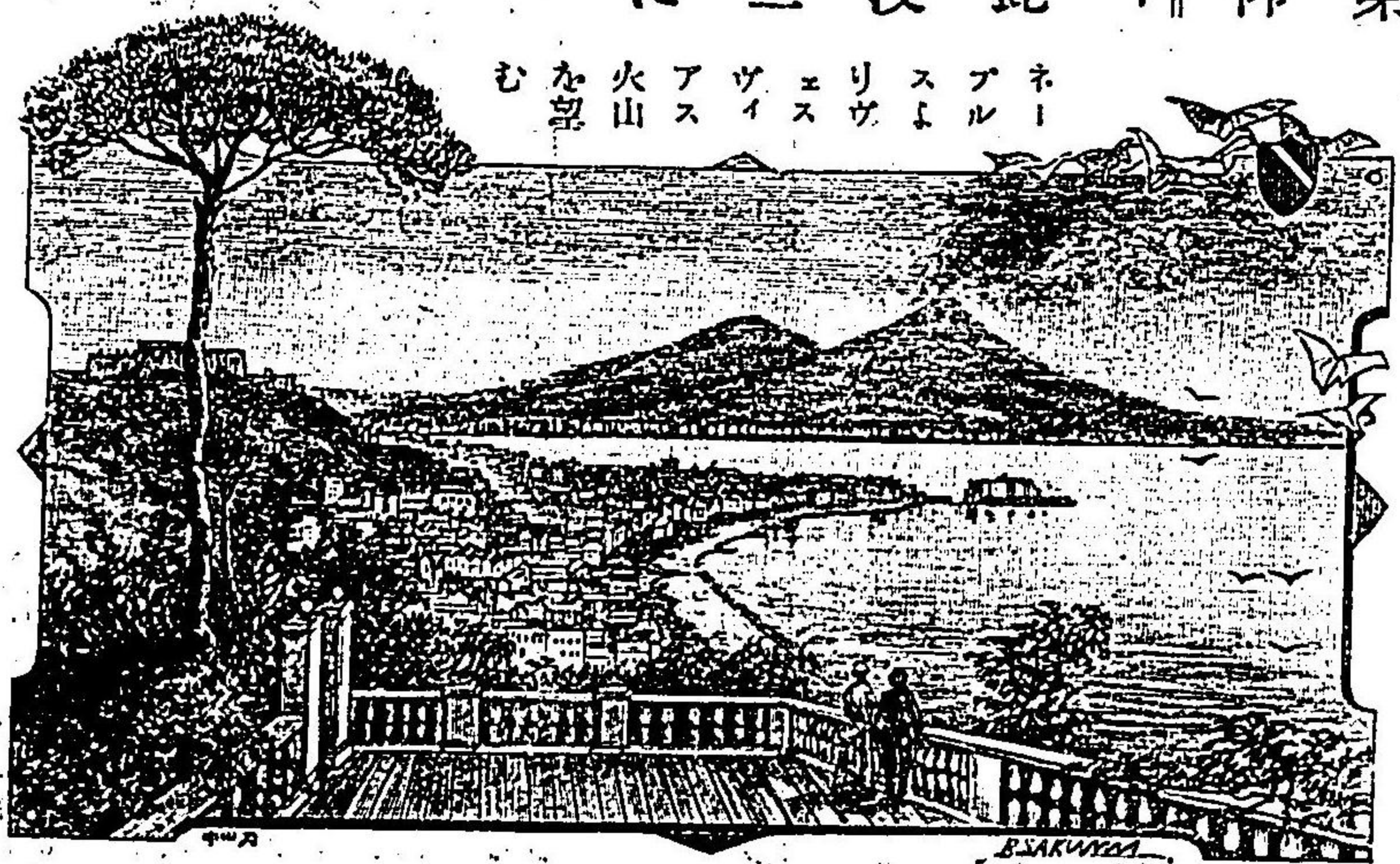
◎氣候 空氣常に清鮮にして、氣候の溫和なると四季春の如く、四山緑に百花野に滿ち、『世界の樂園』と稱せらる、然れども北方亞爾伯山の麓は冬季凜烈なる風あり、南方は夏季亞弗利加より『シロ、コ』と稱する熱風吹き來り、動植物を衰凋せしむることあり。

◎産物 ロムバルデー平原及び海岸、峽間は地味肥え農産多く、玉

蜀黍、米、小麥の耕作盛なり。又蠶糸、葡萄酒、橄欖油の産出夥しく、殊に蠶糸は歐洲中無雙なり。大理石、硫黄も名産とす。工業は甚だ盛ならざれども造花、麥稈帽、樂器等は世人の賞賛する所なり。

◎都府 國都羅馬は西海濱タイパー河畔に在り、(海口ヲ距)古來有名の都會にして、一たび羅馬帝國の首府となり、後羅馬法皇の都となれり、されば宮殿の宏壯、建築物の華麗なるもの多く、殊にヴ、デカン (羅馬法皇の宮殿) 聖彼得寺、セントアンゼロの古城等は天下の絶觀と稱せらる。其他古代の遺物目を驚かすもの少からず、タイパー河畔風肅々たる夕、仰て峯巒の綠を眺め、俯しては嘗て『永久の府』と誇稱せし、往時を追想せば感慨禁ずる能はざるものあり。歐洲諸國遊人杖を曳くもの少からず、人口四十餘万あり。 ネー

ブルスは南部の西岸にあり、此の國第一の大都にして、人口四十六万あり、仰ぎ見ればヴスヴァス火山突隆しネーブルス灣に臨み、風景甚だ佳なり。此の近傍にヴスヴァス破裂の爲め埋没せるハイキユラニウム、ボムベの二府ありけるがボムベは近時地下に發掘せられたり。ヴニス府はアドリアチック海頭に在り、中古著名の貿易港なり、街衢は縦横なる河に傍ひ、門を出れば直に小艇に乗じて、往來すべく世界の奇街なり。



ネーブルス、ス、リ、エ、ス、ア、ス、火山、を、望む

人民

◎**人民** 人口三千三十四万にして、數多の種族あれども、羅[○]旬[○]人[○]種[○]を最も多しとす、國民一般に審美心に富み、美術に長ず、古來有名なる繪畫、彫刻、建築物等多く、從ひて人質、柔弱、浮華たるを免れず。宗教は羅馬教の本據なるを以て、舊教盛なり、教育は小學校の設少く、國民の過半無學なれども、高等教育は盛にして二十餘の大[○]學[○]あり。

交通貿易

◎**交通貿易** 伊太利は半島國なれば、海岸線長く數多の良港ありて、海運盛なり。河流は航路短く、交通運輸は多く鐵道による亞爾伯の高峯北境に兀立するに拘らず、六條の鐵道は其の峻坂を通ぜり。重なる輸出品は生糸、果實、葡萄酒、橄欖油等にして輸入品は穀物、酒精、木材、綿等なり。

政治

◎**政治** 政治は立憲君主政體にして、議會は上下兩院より成れり。

軍備

陸軍は常備兵二十六万餘、海軍は諸艦合せて二百五十餘艘あり。此の國は久しく幾多の小邦に分裂せしが三十餘年前(一千八百六十二年)サルヂニア王起りて遂に統一し、伊太利王國を建設せり。爾來明君相續ぎ國勢大に振ひ、歐洲強國の中に列するに到れり。

瑞 西

◎瑞西は歐洲の最高所に位し、獨、佛、伊、埃、の四強國に圍まれたる小邦なり。面積は我が九州島と略、相同じ。

地勢

◎**地勢** 全國山岳重疊の間に在り、殊に南境には亞爾伯山あり、峯頭千古の雪を戴き、氷河水原ありて、其の觀甚だ壯麗なり、西邊には侏羅山脈連亘せり。西歐の河流は此の國を中心とし四方へ分流し、多腦、ライン、ローン等の大河あり、谿深く流れ急なれば、舟

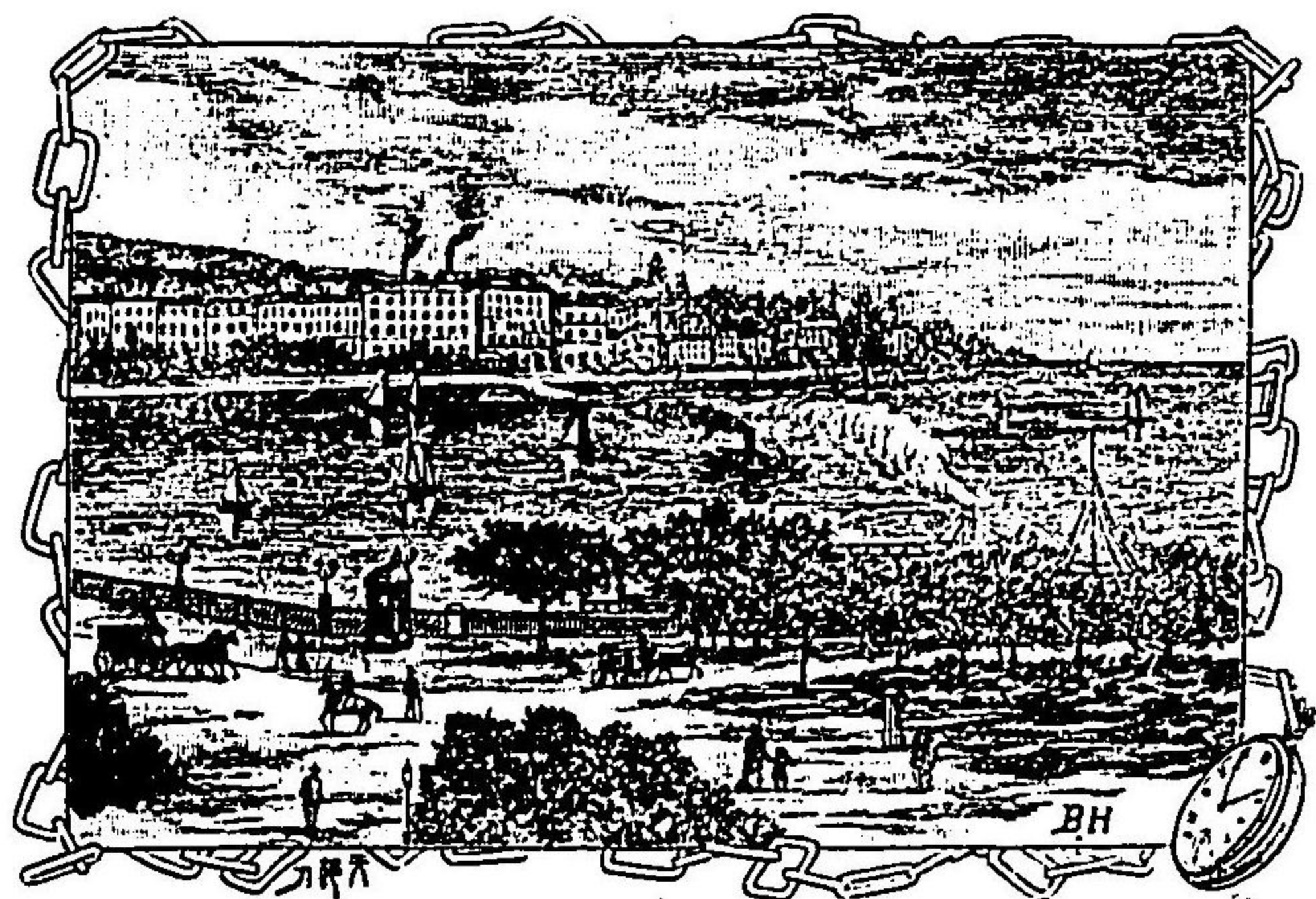
氣候

楫の便少し、然れども其の水源は多く氷河なるを以て、四時水の絶ゆることなく、頗る工業に便なり。又數多の湖水ありて、清冽鏡の如し、ゼネバ、コンスタン等を重なるものとす。地勢斯の如くなるを以て、國內の風景、世界に鳴り、世に若し風景の美を語らば、必ず先づ瑞西を擧ぐるに至る、故に毎夏歐洲各國探勝の遊人少からず、實に瑞西は「歐洲の公園」と云ふと雖、誣言にあらざるなり。

◎氣候 地勢雄峻なるを以て、氣候概して清冷にして、山頭及び深谿には隆夏と雖ども白雪絶えず、地勢山國なれば、耕土少く従ひて農業は内國の需用を満たすに足らず。牧畜は主要の生業にして、良好の牛、山羊あり、従ひて乾酪、乳類の輸出多し。此の國は他の財源少きを以て、國民一に工業によらんとし、加ふるに河流

都邑

人民



景の湖バネゼ

の水力利用に便にして、人口稠密の諸國間に介在する等によりて、製造工業甚だ盛なり、殊に時計の製作、寶石の彫琢、絹布、綿布の製造等は著名なり、就中時計は海外諸國へ輸出するもの多く、我が國へも輸入せり。

◎都邑 ベルンは人口四万餘に過ぎざれども、議院所在地にして、即國都なり。ゼネバはゼネバ湖畔にあり、人口七万、瑞西第一の都會にして、時計の製造盛なり。

◎人民 人口二百九十一万あり、其の四分の三は(北)「チュトニック」人種にして、他

は佛蘭西人(西部)と同種なり。南部には伊太利人あり、從ひて言語は獨佛伊三國語を使用す。人質は節儉にして、忍耐力あり、武健にして愛國心に富む。宗教は概ね新教にして、教育も盛に行はれ、文學を知らざるもの殆ど罕なり。

政治 政體は立憲共和政體にして、二十二州の自治體より成る、議院は上下兩院あり。

政治

第三編

人文地理

人誌

◎人誌 本洲の人口は凡三億五千万あり土地の面積に比して、住民の稠密なること五大洲第一なり。人種は概ね高加索人種の『アリアン』派に屬す、此の人種は皮膚比較的に白色なるを以て、一に白哲人種と稱せらる、此の『アリアン』人種は年所を経る久しき、風土經歷の異なるにより、自然に分れて『ケルト』羅匈『チュトニク』『スラヴニク』の四種となる。『ケルト』人種は西歐(愛爾蘭人)の小部に住み、羅匈人種は南歐(伊太利、西班牙、葡萄牙、希臘)に住す、羅匈人種は優雅にして、審美心に富み、文學上の發達をなし、中古以前歐洲の文明を建設せしかど、今は風俗奢侈に流れ、輕薄の風ありて、羅匈種各國は漸く凋零の色あり、『チュトニク』人種は西北部(英吉利、諾威、瑞典、和蘭、丁抹、獨)

逸)に住し、性質剛毅にして、忍耐力強く、科學思想に富み、現今歐洲の進歩は此の人種のカによれり、『スラヴ・ニク』人種は東北部(露亞の大部塊)に住し、風俗質樸にして沈毅勇敢の風あり、近世まで著しき進歩を見ざりしが、輓近大に進勢に向へると世界の齊しく注目する所なり。此等人種の外『ラフランド』芬蘭及び匈牙利の一部には蒙古人種あり。

宗教

◎宗教 一般に耶蘇教盛に行はると雖ども、各人種によりて其の信仰も亦同じからず、即ち『チトニク』人種は概ね新教を奉じ、羅甸人種及び『ケルト』人種は舊教を信じ、『スラヴ・ニク』種族は専ら希臘教を奉ず。其の他蒙古種又は土耳其人中には回教、佛教に歸依するものあり。

教育

◎教育 歐洲各國共に初等教育は殊に重ずる所にして、是れが普

及を計らん爲には各國多く強迫干渉主義を取り、其の父兄をして、學齡兒童に至れば必ず就學せしむ。故に大に發達進歩し、山間僻地も尙學校の設ありて、就學者の數甚だ多し、從ひて高等教育も盛に行はれ、各國多きは十餘箇少きも二三の大學を有す。

交通

◎交通 本洲は各國共概ね交通の機關能く備はり、陸には鐵道縦横に敷設し、空には電線蛛網の如く、河海は船舶の航通頻繁にして、全歐を漫遊すれども、一投足の勞を要せず。各國の形勢は座して知るべく、其運動の迅速なる、交通の便利なる、誠に驚くべきなり、從ひて商工業發達し貿易の殷盛なること五大洲に冠たり。

◎國勢 歐洲は大抵溫帶の中に位し、他州よりも其の寒暄の度、人身に適し、且海岸線の出入參差せると、其の地勢の交通に便利なる等總べて天然の恩恵に浴するを以て、百般の學術、技藝大に進

國勢

歩し、國運の旺盛なる世界に其の比なし、就中英、露、獨、佛、奧、伊の六國は國富み兵強く、歐洲の六大強國と稱せらる、其の他の諸國と雖ども、進歩發達して他洲に比すれば決して同日の談にあらず。従ひて他の五大洲中此の歐洲列國の威力制裁を被らざるもの少なく、現今世界の覇權は全く歐洲人の手に在りと云ふも亦不可なき勢なり。

歐羅巴比較

◎歐羅巴比較 歐洲は地形錯雜せるを以て他洲の如く劃然たらざれども凡下の三部即、南歐(アイペリア半島、或は佛國も併せ見るべし)、西歐(南以北、露西亞以西の諸國、スカンディナヴィア半島、英國をも含む)、東歐(露西亞)に分ち彼是れ比較すれば左の如し。

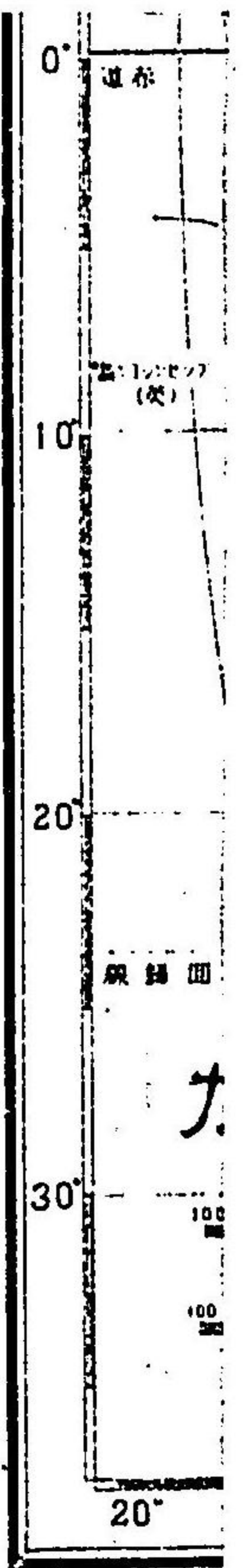
南・歐	西・歐	東・歐
-----	-----	-----

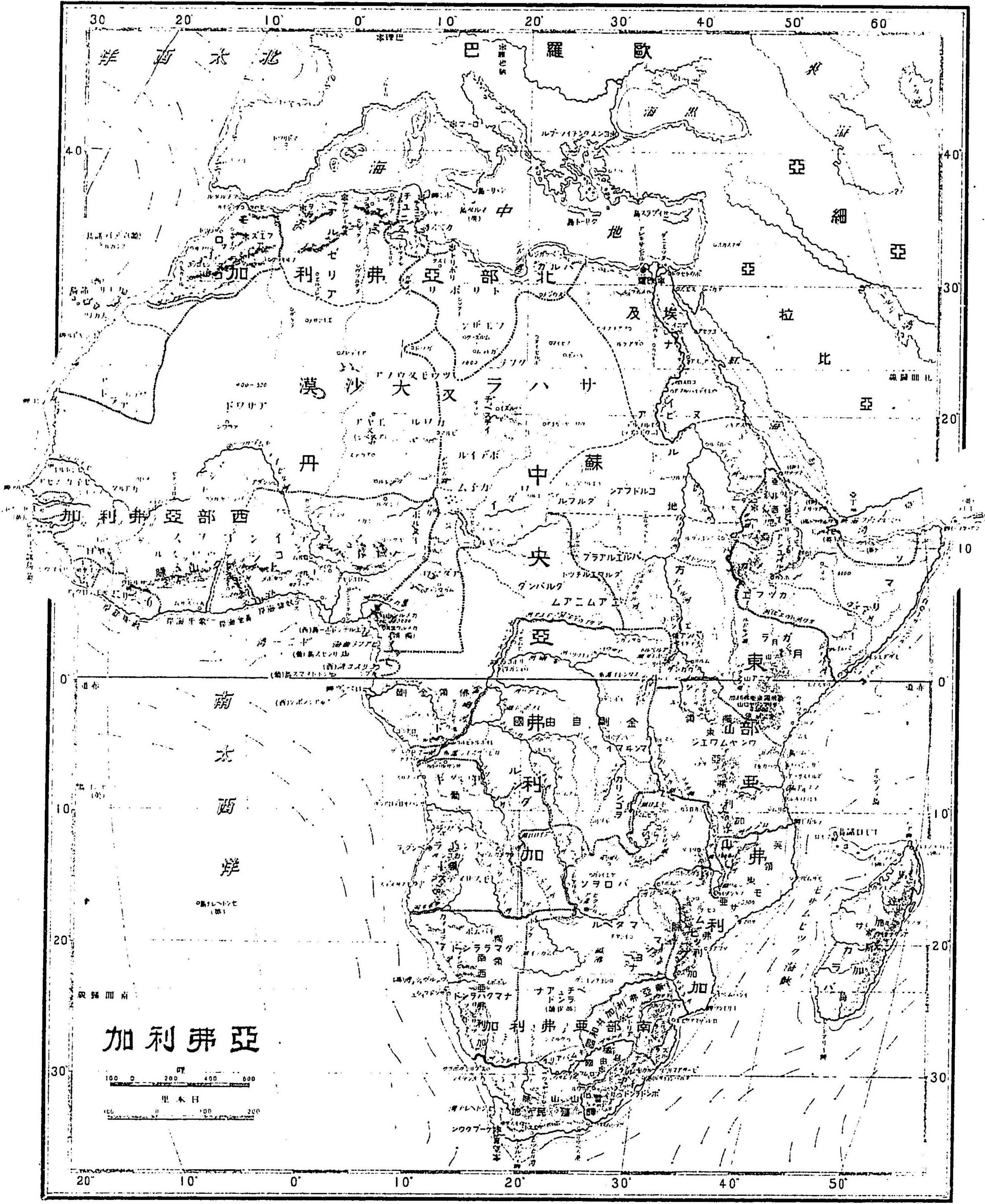
<p>一、三大半島となり地中海に突出し、黒海、太平洋を東西にし、港灣島嶼尠からず。</p> <p>二、北方に亞爾伯山脈及び其の連脈あり、地勢概ね山勝ちの高原にして河系の流向一ならず。</p> <p>三、氣候温和にして雨量饒なり。</p> <p>四、半熱帯及び温帯性の生物ありて各種の農産物は其主産なり。</p> <p>五、交通稍、便にして人口稠密、從ひて繁盛なる都會多し。</p>	<p>一、二半島一羣島あり、大西洋及びバルチック海に瀕し、港灣島嶼多し。</p> <p>二、南方に亞爾伯山脈及び其の連脈あり、地勢は平原<small>(大陸部)</small>、山岳丘陵<small>(大半島及群島部)</small>あり、河系北流<small>(大陸部)</small>又は南流<small>(半島部)</small>す。</p> <p>三、氣候温和にして降雨適順なり。</p> <p>四、温帯性の生物あり、鑛産、農産、共に豊に生産力總て發達せり。</p> <p>五、交通實に至便にして人口甚だ稠密なり、從ひて繁盛なる都會極めて多し。</p>	<p>一、北、北海に瀕すれども佳港良灣少し。</p> <p>二、域内は荒漠たる大平原にして森林沼澤相交はり、河系北流又は南流す。</p> <p>三、氣候稍、寒冷にして降雨少し。</p> <p>四、半寒帯及び温帯性の生物ありて鑛産農産等稍、多し。</p> <p>五、交通稍、便ならんとし、人口未だ稀疎にして繁盛なる都會少し。</p>
--	--	---

六、羅何人種多數を占め人情輕
佻なり。
七、古來夙に文化開發したれど
も現時稍、踟躕せり。

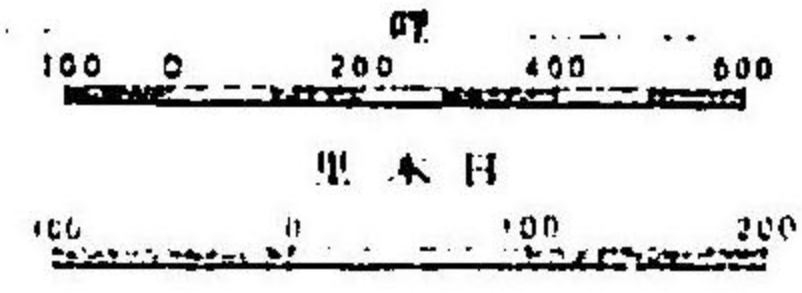
六、『チュートン』人種多數を占め
人情精緻にして且著實なり。
七、現今文化開發し全盛に達し
世界人事の中心たり。

六、『メラツ』人種の根據地にし
て人情沈勇なり。
七、未だ文運開けず其の發達は
未來に屬すべし。





加利弗亞



亞弗利加洲誌

第一編

自然地理

◎亞弗利加は東大陸の西南に位し、北は地中海を隔て、歐羅巴洲と相對し、大西洋及び印度洋を左右にす、南は南氷洋に瀕し、紅海及び蘇士運河を以て亞細亞洲に連る、極北はチニス海角(北緯凡七拾半)より、極南アグルハス岬(南緯凡三拾五度)に至り、極東グアダフイ岬(東緯凡五拾二度)より、極西ヅルデ岬(西緯凡七拾七度)に盡く。

○面積凡一千百五十一万方哩にして其の大き亞細亞に次ぎ、歐洲に三倍せり。

◎沿海 本洲は地形大塊状をなし、海岸線の出入に乏しく、従ひて

沿海

地勢

港灣、半島少し、是れ本洲が開發遅々として世に暗黒亞弗利加の稱ある第一の原因なり。今海岸線の重なる出入を擧ぐれば、地中海にシンドラカペスの兩灣あり、其の西にチニスの小突出あり、大西洋岸はギニー大灣あるのみにして、南端喜望峯に至るまで殆ど一直線をなす。東方にはソマリ海角突出して、亞丁灣を抱くに過ぎず。印度洋中に在る馬達加斯加島は世界大島の一なり。

◎地勢 本洲の地形は單純にして、山脈は規則正しく、海洋の縁邊を繞りて内地を抱けり。大陸の東邊紅海岸及び印度洋岸には亞比西尼亞山脈、月山山脈あり、殊に月山山脈のキリマンジロ峯は一万八千尺に聳ゆる本洲の最高點にして、頂上常に白雪を戴く、南端には雪山山脈ありて、大西洋岸を北走し、コング山脈とな

サハラ沙漠

る、尙北邊の地中海岸にはアトラス山脈あり。内地は一體の高原にして、地勢は分れて北部高原、南部高原となる、北部高原は北緯六度以北の地にして、中にサハラ大沙漠あり。

○サハラ沙漠は本洲全面積の四分の一を占めたる世界第一の大沙漠にして、水濕なく草木なく、一望茫茫たる沙磧なり。若し旋風起るときは滿天に沙塵を捲きて、或は人馬行旅を埋没せしむるとあり。然れども沙漠中

沙漠中の駱駝飼養

風塵の波砂 地沃



間々清泉湧き椰樹雜草等の生ずる沃地と稱する所ありて、隊商の休息所となる。沙漠を旅行するには隊伍を組み、駱駝に糧食飲料を負はしめ、沃地より沃地を経て行くなり、之を隊商と云ふ。隊商は炎熱なる氣候、猛惡なる蠻民と戦ひ、沙漠中に産する駝鳥の羽毛、象牙等と交換す。

○南部高原は概ね一面の高臺狀をなし、海面上二千尺乃至四千尺の高度を保てり。南部の内地にカラハリの沙漠ありサハラに比すれば其の面積甚だ狭し。本洲は斯く荒蕪の高原なれども、内地の湖畔及び四周の沿海には平野あり、是れ本洲中主要の場所なり。

○本洲の沿海を圍む諸山脈は海洋と内陸とを絶ち、氣候之が爲めに劣惡に、沙漠之が爲めに生じ、交通之が爲めに不便となり、本洲

河流

を以て人文開發の途を塞ぎ、暗黒亞弗利加の稱を得せしめたる第二の原因なり。

◎河流 本洲は河流少からざれども、其中流には多くの急湍瀑布あり、或は深刻の峽をなし、其下流に至れば沙灘多きを以て、交通の利、灌溉の便、共に少し。然れどもナイル河は本洲最重要の流にして、全長凡四千哩あり、白ナイル碧ナイル、其の他數多の支流を入れ、北に走り、地中海に注ぐ。河口は廣大なる三角洲を作り、改羅府こゝに建てり。此の河は水源地方の時雨により、毎年一定の期限(自六月至九月)に於て河水漲り、再び減水して灌域に肥沃の粘土を残留し、之が爲めに地味肥え、産物多し、是れを以て本洲到る處、蠢愚たる蠻民の巢窟たるに拘らず、此下流の地のみ夙に開け、繁盛の要地となれり。此の外ナイジェル、金剛、橋、ザムベシ等

湖沼

も本洲の大河なり。

◎湖沼 本洲には湖沼頗る多しと雖ども多く東南部に集まれり、故に此の地方を太湖地方と稱す。其の最も大なるはウクトリアニアンザと云ふナイル河是れより發す。其の西南にタンガニカニアンザアルベルト及び其の外數多の湖あり。洲の中央にナド湖あり。

氣候

◎氣候 本洲は大半熱帯に屬し、且大陸の縁邊には山脈圍繞して海風の調和を妨ぐ、故に氣候最も炎熱にして、又最も乾燥なり。本洲最熱の部分は赤道地方にあらずして、北回歸線の邊に在り、是れ此の地方降雨に乏しきを以てなり。

○降雨の多少によりて、本洲を分ちて無雨地域、多雨地域とす。無雨地域は即サハラ沙漠を包める地にして、中央亞細亞の東北乾

産物

燥風吹き來りて、曾て降雨を見ず、故に森林を培養すべき濕氣なきを以て沙漠を生ずるなり。多雨地域は赤道の南北凡十五度の間を占め、降雨注ぐが如く爲めに森林鬱蒼として密生し、白晝も爲めに黒く、眞に暗黒亞弗利加の稱空しからず。然るに年中略、乾濕の兩季ありて、赤道以北は四月より十月まで雨季にして、他は乾季に屬す。赤道以南は十月より翌年四月まで雨季にして、他は乾季なり。要するに雨季に際すれば霖雨連旬に亘り、乾季は大河の外河水全く涸れ、産物も爲めに枯死するに至る。

◎産物 本洲の産物は氣候に相應じて差異あり。即多雨の地方は綠草茂林、全面を蔽ひ、世界最古の「バオバブ」樹(三四千年を歴て幹の直徑二十呎に上る)は巨大なる棉樹及び椰子樹、護謨、橄欖、綿、珈琲等を生じ、乾燥地方には間有刺灌木或は猛草の叢簇多く、沃地には人民の食料なる菓

區劃

樹繁茂せり。動物は珍奇巨大のもの多く、即ち象、河馬、獅子、鱔魚、羚羊等其の他沙漠の舟なる駱駝、人に似たる猿、美毛の駝鳥、鸚鵡、奇異の麒麟等あり。礦物には黄金、金剛石等の貴重産あり。

◎區劃 本洲は幾多の小區劃、小部落に分るれども今大別してナイル地方、北部亞弗利加、西部亞弗利加、南部亞弗利加、東部亞弗利加、中央亞弗利加、諸島嶼の七大部に分ち説くべし。

第二編

亞弗利加列國誌

ナイル地方

◎ナイル地方は本洲の東北部ナイル河域の地にして、埃及領と亞比西尼亞國とに分つ。

地勢

◎地勢 埃及領は中央にナイル河貫流し、此の兩岸肥沃の平野相連れり西方サハラ沙漠に向ひて地勢次第に高く紅海濱には山脈連亘せり亞比西尼亞は同名の山脈に圍まれたる概ね山勝ち高原に屬し白雪を戴くの高峯少からず故に亞弗利加瑞西の稱あり。

氣候産物

◎氣候産物 埃及領は氣候炎熱にして、沙漠地方より吹き來る

熱風ありて、健康を害すれども、紅海附近及びナイル三角洲には時に驟雨ありて、稍爽快なり。亞比西尼亞は熱帯に位すれども土地の高隆なるが故に概して清涼なり。六月より九月に至る間豪雨注ぐか如く、爲めにナイル河の水漲溢の源となる。ナイル兩岸及び山間の地は豊沃にして、穀禾一年に三回の收穫あり、棉花、甘蔗、藍、珈琲を産す。殊に埃及政府は農業を獎勵するを以て、耕作大に發達せり。埃及の地には棗樹の外、樹木少けれども、亞比西尼亞には諸種の良材あり。動物には駱駝、馬、山羊、駝鳥等の産あり。

人民

◎**人民** 埃及の住民は多く土耳其人、亞刺比亞人等なり。國王は土耳其人種より出づ。亞比西尼亞人は混合種族にして、黑人種に近く、粗暴の蠻種なり。埃及人は回教を以て國教と定むれど

埃及領

も、亞比西尼亞と共に耶蘇教を奉ずるものあり。
◎**埃及領** 埃及領は分ちて埃及本部、ヌビア、白ナイル地方の三部とす。埃及本部はヌビア以北、地中海に至るナイル河沿域の地にして、古來夙に開化に趣きしが、現時は大に衰頽せしかども尙ほ本州中主要の國なり。

○ヌビアは埃及本部の南を云ひ、白ナイル地方は白ナイル河上流の地方なり。(ナイル河畔凡北緯十度の處にフアンダガおり會て佛國が占領せしを以て英國と紛紜を生ぜり)

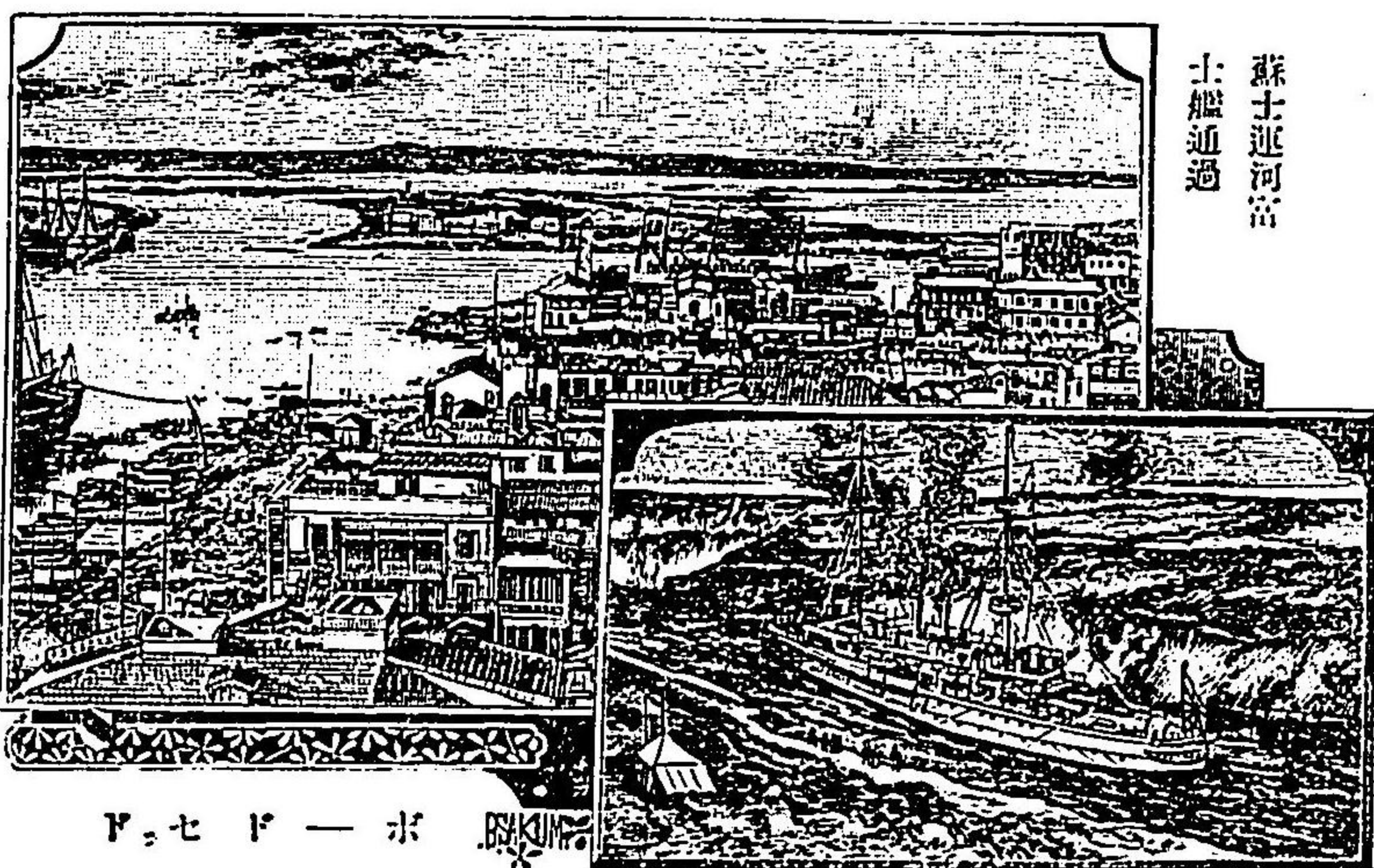
都邑

◎**都邑** 首府**改羅**は人口三十万を有し、本州第一の都會なり、ナイル河の東岸に位す。ナイル河を隔てたるギゼー府は古昔の盛都にして、其の近傍に有名なる金字塔あるを以て知らる、アレキサンドリアは地中海濱に在る貿易港にして、古來有名の港なり。ポートゼッドは蘇士運河の北端に在り、運河往復船舶の寄航所に

蘇士運河

○蘇士運河は世界有名なる大工事に
して、佛國人レセ、ブ氏今より二十年
前、十ヶ年(自千八百五十九年
至千八百六十九年)の星霜を
費し開鑿し長さ八十七哩あり。本
運河の開通は世界の商業上及び交
通上に至大の變化を與へたり、曩に
我が富士艦此處を航通せしが運河
開鑿以來航通の大艦として世界の
耳目を聳動せり、(下圖は即富士艦が運
河を航通する所なり)

○政治 埃及は世界舊國の一にして
上古大に開化し、其の遺跡として、金



蘇士運河富
士艦通過

亞比西尼

◎亞比西尼亞

字塔、獅身女面像、方尖石碑等の奇異のもの今尙ほ存す。此の國
は古來幾多の興亡ありて、現今は名義上土耳其の屬國となれる
が、財政は英國の監督を受く、ヌビア、白ナイル地方は名義上埃及
に屬すれども、宗教の争ひより、内亂相續ぎ無政府の姿なり。
英國今尙遠征隊を派して、土蠻と對抗せり、カルツームはヌビア
の首府なりしかども今は土蠻の爲めに破壊せられ全く荒敗せ
り。(往年上蕃遠征の爲め戦没せる
ゴルドン將軍の紀念あり)

ア帝國と稱せしが、現今は數多の邦土を合して、亞比西尼亞王國
を組織す、政體は專制君主國なり。此の國は往年伊太利と戦端
を開き、人の耳目に上れり。首府をゴンダーと云ふ。

北部亞弗利加

◎北部亞弗利加は本州の極北なる地中海濱地方の總稱にして、一にバルバリ諸國と云ひ、モロッコ、アルゼリア、チュニス、トリポリの四國を含み、アトラス山脈は殆ど地中海岸に平行して蜿蜒し、モロッコに於て最も秀拔を極め、我が富士山に比すべきものあり。北部沿海の低地は温暖なれども、南部は炎熱なり。低地は豊饒にして小麥、橄欖、玉蜀黍、蠶豆の産あり、又波斯棗森林蒼々たり。

モロッコ

◎モロッコ 此の國はバルバリ諸國の極西に位する、獨立君主專制王國なり。バルバリ諸國中歐洲の勢力を蒙らざるは獨り此のみなり。首府をフェズと云ふ。

アルゼリア

◎アルゼリア モロッコの東に隣り、往昔海賊の巢窟なりしかど、今は佛國の領地となり、鐵道、郵便、電信、學校等の設ありて、バルバリ中最も開化せる國なり。首府をアルジールと云ふ。

チュニス

◎チュニス 佛領にしてアルゼリアの東にあり、アルゼリアに次ぎて發達せる國なり。鐵道、電信等の設けあり。首府をチュニスと云ふ。其の近傍に古昔羅馬に抗したるを以て、有名なるカセージの城跡あり。

トリポリ

◎トリポリ バルバリ諸國の最東にあり、土耳其の屬國にして、首府をトリポリと云ふ。隊商の南部内地に入るの要路なり。

人民

◎人民 北部亞弗利加の人民は概ね「バルバリ」族にして、亞刺比亞人の始めて此の地に移住して、「バルバリ」の名を與えたるにより起れり。生業は駱駝を率ひて隊商を組み、漠南に渡り歐洲産の兵器、火藥等を以て黒人の象牙、駝鳥の羽毛等と交易す。宗教は多く回教なり。

西部亞弗利加

セネガム
ピア

シーラレ
オン

リベリア

ギニー

◎西部亞弗利加はサハラ沙漠の南一帯の海岸地方にして、南端フリ
 リオ岬(南緯十
八度許)に到る、セネガムピアシーラレオンリベリア及び
 ギニーの諸地方を含む、中に英、佛、獨、葡等の諸殖民地あり。

◎セネガムピア セネガル、ガムビア兩河の流域地方なり、域内
 に英佛葡等の殖民地あり。

◎シーラレオン 英國の殖民地にして、各種の黑人住し、氣候悪
 しく健康に適せず。首府をフリータウンと云ふ。

◎リベリア 米國殖民會社より解放せられたる黑人種が政體
 を米國に摸して建たる共和國なり。首府をモンロヴァと云ふ。

◎ギニー 上下の二部に分つ。上ギニーはリベリア以東ギニー
 灣を擁して、赤道附近に至る沿海地方なり。上ギニー以南フリ
 オ岬に至るまで即下ギニーなり。上ギニーは更に數部に分れ、

英、佛等の領地并に土蠻の獨立國あり、アシンチー、ダホメー、ヨル
 バ等は其の重なる土人の王國なり。ダホメーは最も勢力あり
 て、首府をアボメーと云ふ、住民蛇を拜崇すること甚だしく、又武
 勇なる女隊あり。下ギニーのカボンゴエ地方は佛領にして、
 其の南部は葡萄牙領なり。

○以上の諸國は住民概ね黑人にして、英領シーラレオン及びリベ
 リアを除き何れも蠢愚の蠻民なり。産物は金、象牙、橄欖油、護謨
 蛇鳥の羽毛等なり。

南部亞弗利加

本洲の南端、即三角形をなせる地にして、ダマラランド、ナマグ
 ラ、岬殖民地、カツフラリア、ナタル、橘自由國、南亞弗利加共和國
 及び内部地方のベチアナランド等を含む。

ダマラ
ラナマ
ラマ

岬殖民地

◎ダマラランド、ナマグラランド

西海岸の地方にして、一にホッ

テントド國と云ふ、是れ同種族の住地たるを以てなり。北西部の沿海狭小の地は英國に屬すれども、他は皆獨逸に屬す。

◎岬殖民地

本洲の極南、英國殖民地の最要なる部分なり。北

は橘河を以て獨領に境す、雪山脈全國を横過し、概ね高原に屬し、

西南海に迫りて有名なる喜望峯となる。氣候溫暖にして、降雨

豊かなるを以て、草木繁茂し、牧場に適し、牧羊は世界中南米及び

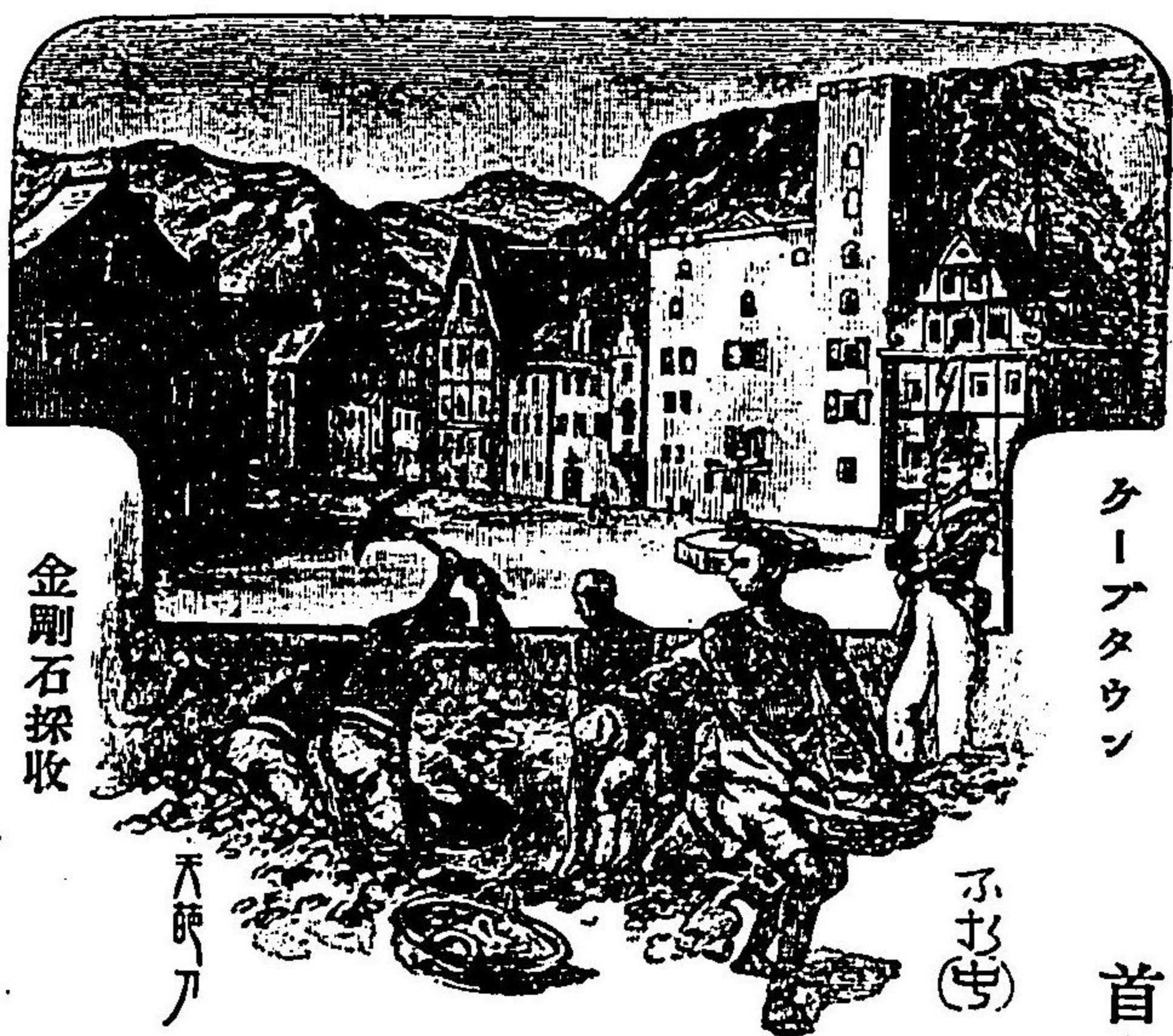
濠洲の次ぎに位し、其の羊毛は重要な物産なり、駝鳥の羽毛も輸

出甚だ多し、金剛石、金及び銅の産出も亦有名なり。首府をケイ

ブタウンと云ふ、南弗第一の都會にして、貿易盛なり。

○本地は元和蘭殖民地なりしが、中世英國の殖民地となり、和蘭人英人及び黑人住居す。宗教は耶蘇教盛にして、教育も亦行はれ、

橘自由國



ケイブタウン

首府に大學校の設あり。

◎橘自由國及南亞弗利加共和國

兩國は共に獨立國にして、氣候

溫和に地味肥え、牧畜盛に、牛、馬、

羊、駝鳥等の産あり。南亞弗利

加共和國は黄金の産出を以て

有名なり。橘自由國の首府は

プロイムフンタインにして、南

亞弗利加共和國の首府はブレ

トリアなり。

○兩國は元和蘭の殖民地にして、住民は所謂和蘭農夫なり、其の他の諸地方は多く英國の殖民地となり、或は其の保護を仰かざれ

ば、頑愚なる土人の部落なり。

東部亞弗利加

◎東部亞弗利加とは亞丁灣以南、南部亞弗利加に到る印度洋岸の各地を云ふ。域内にソフアラ、モザムビク、ザンジバール、ソマリ等あり。

ソフアラ、
モザムビク

◎ソフアラ、モザムビク 東海岸一帯の地なり此地方は曾て葡萄牙領なりしが近時英國に讓與したり。

ザンジバール

◎ザンジバール 莫ザムビク以北印度洋岸の地なり。近海の屬島中最も大なるをザンジバール島と云ふ、ザンジバール府あり東海岸唯一の良港にして、象牙、護謨、丁子等を輸出す。此の地は元、亞刺比亞、マスカットの酋長征服して、其の所屬なりしが、明治二十三年英國の保護となれり。

◎ザンジバールの西部内地は獨逸に屬し、獨領より北の沿海は英領なり。

◎本洲の東岸に突出する半島狀の地方はソマリにして、土蠻の部落あり、亞丁灣の南部沿岸は英國の保護を受く。

中部亞弗利加

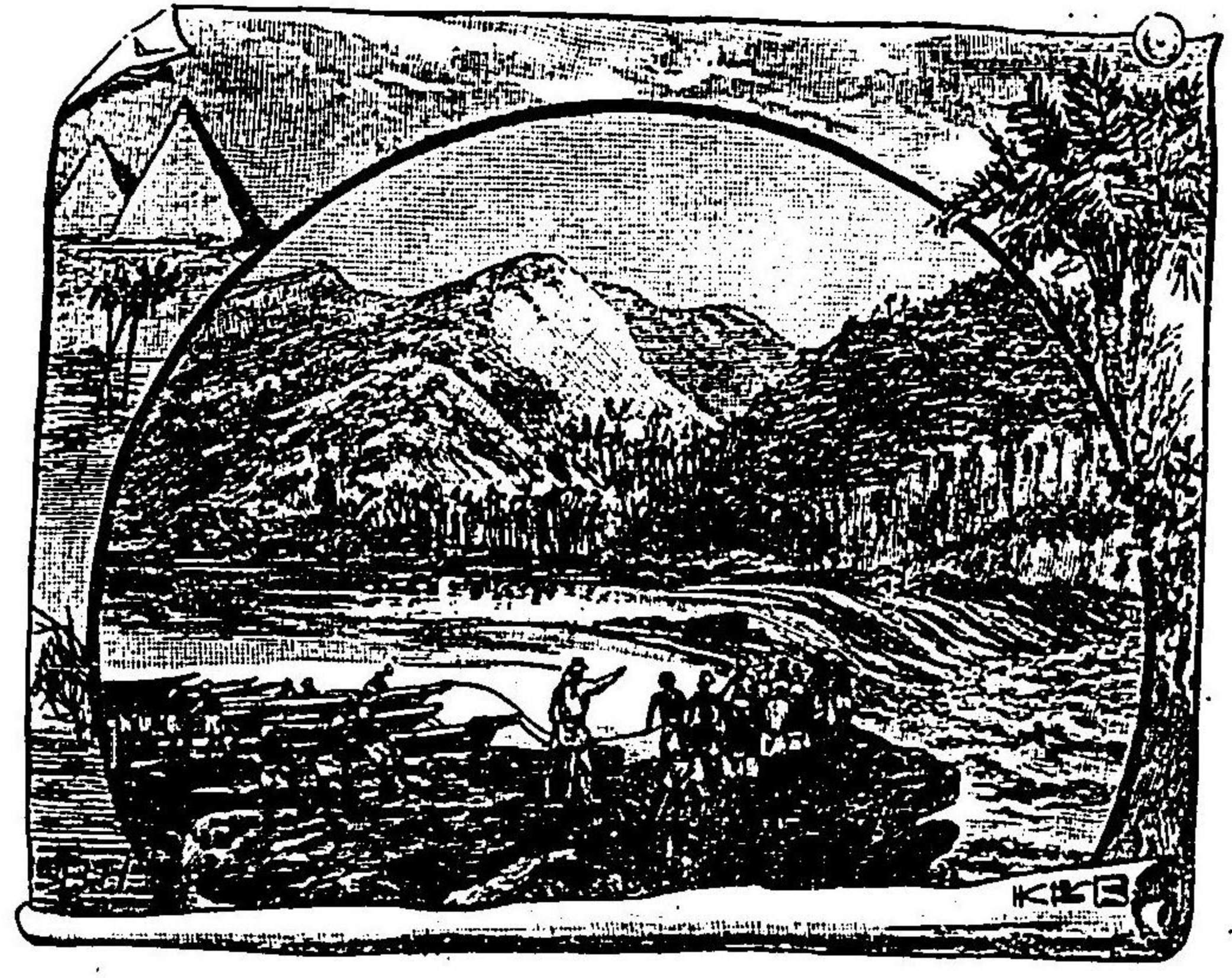
◎中部亞弗利加とはサハラ沙漠以南、本州内地の總稱なり。所謂暗黒大陸中の最暗黒界なり。近時歐洲人は千辛万苦を侵して此の地方を採檢し、世に紹介せり、此の中部地方を蘇丹と金剛自由國とに分つ。

金剛自由國

◎金剛自由國 本洲の中央にある廣大の地にして、久しく世に知られざりしが、スタンレー氏金剛河畔に沿ひて、採檢を企て、其の事情を世に公にせしより、漸く世人の注目する所となれり。

特に明治十八年(一八八五年)伯林に開きたる万国金剛會議により、其の區域を定め、此の地域を以て他の國の干渉を受けざる獨立自由國とし、各國の船舶自由に金剛河を上下し、内地と貿易することを許せり、且、白耳義王(レオポルト二世)をして一箇人の資格を以て、本地の主配者たらしむ、然れども白耳義政府は毫も其の政治に關せず。

スダンのレン氏の探検隊



○金剛河は域内唯一の交通路にして、此の國の生命とも云ふべし。

蘇丹

河中所々に急湍、瀑布あれども、船舶の航通に適する所少からず。汽船十餘艘上下絶えず、故に沿岸は漸次發達せり。

○蘇丹 金剛自由國の北、サハラ沙漠に至る廣大の地方にして、地勢は所謂北部高原に屬し、地面の高低少し、河はナイジェルを最大とし、中央にチャド湖あり、熱帶多雨の地域なれば雨量豊かに、氣候炎熱なり。故に草木繁茂し、穀物、菓實能く生熟す。蘇丹とは『黑人國の義』にして、住民は即純粹の黒色人種なり、間々亞刺比亞人の雜居する所あり。

○域内の樞要なる地方は西北部のマシナにして、沙漠の女王と稱せられ、隊商交通の要驛にして、物品交換市盛なり、又中央チャド湖畔のボルヌーは蘇丹中最も開けたる部落にして、湖畔のクカは此の地方に於ける最大都邑なり。

諸屬島嶼

◎馬達加斯加島(面積二十三萬八千餘方哩) 此の島は印度洋中に在る世界大

島の一にして、佛國の保護地なり。全島山脈蟠まりて、高峻なるものあり。氣候温暖にして、沿海の地は濕氣多く、地味豊饒にして、樹木鬱蒼たり。米、砂糖、珈琲、綿等を産し又牧畜行はれ、アイア

イ『レーマ』は本島特産の奇獸なり。首府アンタナリウは島の

東部にあり、本島の主族は『ホーヴ』(馬來人種に屬す)にして他は黑人なり。

◎セントヘレナ島 南大西洋中に在る叢爾たる小島にして英國に屬す、曾て歐洲を振動せし英傑奈破命第一世が恨を呑んで没したる所なるを以て有名なり。

◎アスセンション島 セントヘレナ島の西北海上に在り、英領に屬し、大西洋航行の船舶寄航して、石炭飲料水を仰ぐ所なり。

第三編

人文地理

◎人誌 本洲は人口凡二億ありて、人種は『エチオピア』人種(即黒色人種)を以て本洲の固有種とし、移住の高加索種又混ぜり。

高加索人種はバルバリ諸國埃及地方其の他沿海の各殖民地に住す。

黒人種は中央及び南部に住する、蒙昧の蠻民にして、風俗汚醜或は人肉を食ひ、無辜の民を屠りて祭事を營み、慘酷暴戾なること吾人の想像する能は



黒人人家

ざる所なり、要するに此の人種は世界最劣等の人種なり。馬達加斯加島には馬來人種住せり。宗教は北部地方には回教盛に行はるれども、内地の黒人は木石禽獸を崇拜す。各國の殖民地及び馬島には耶蘇教行はる。

勢洲内の形

◎洲内の形勢 本洲は歐羅巴の三倍を有する大洲なれども一個だも世界の認めて獨立國と爲すべき邦國なく、唯、猛獸毒蛇の巢窟として世人の注意を惹くと少なかりしが、近時地學研究の爲め、或は傳導布教の爲め、此の未開の蠻地を跋渉するもの尠からず、就中リヴィングストン、スタンレー兩氏の如きは本地探險の功績最も顯著なるものにして、其の他此地に遠征軍を出す等の舉あり、斯くて内部の事情世に知らるゝと共に歐洲各國は競ふて此の蠻域を探險し、或は保護地とし或は屬地となし、鐵道、郵

便等の交通機關を設け、鑛山を開き學校を建て、頑民を教導せんとす、然れば此の無智蒙昧の部落漸々暗黒の濛霧を排き、遂に文明の光輝を仰ぐことを得るに至るべきや必せり。
◎亞弗利加洲の比較 本洲を赤道線により、南北二部に分ち、比較すること左の如し。

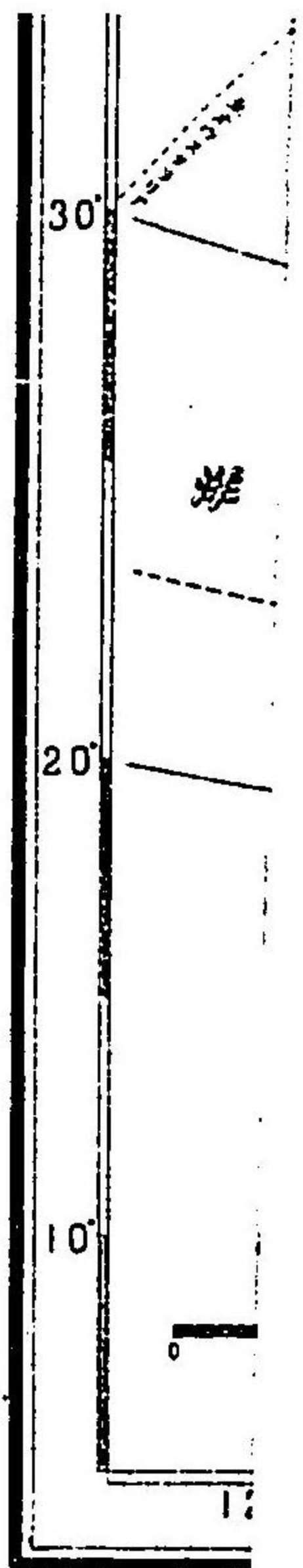
北 部	南 部
一、海岸に沿ふて、山脈蜿蜒し、内地は世界第一の大沙漠あり。 二、氣候は七八月の頃、甚だ高熱にして、且乾燥なり。 三、生産物少く、棗、玉蜀黍、橄欖等の植物産に過ぎず。	一、海岸に沿ふて、山脈蜿蜒し、内地は高原、沙漠、湖沼等相交はれり。 二、氣候は一二月の頃、甚だ炎熱にして、雨量稍々多し。 三、天産物富めるにあらざれども、象牙、駝鳥、羊毛、鑛産等なきにあらず。

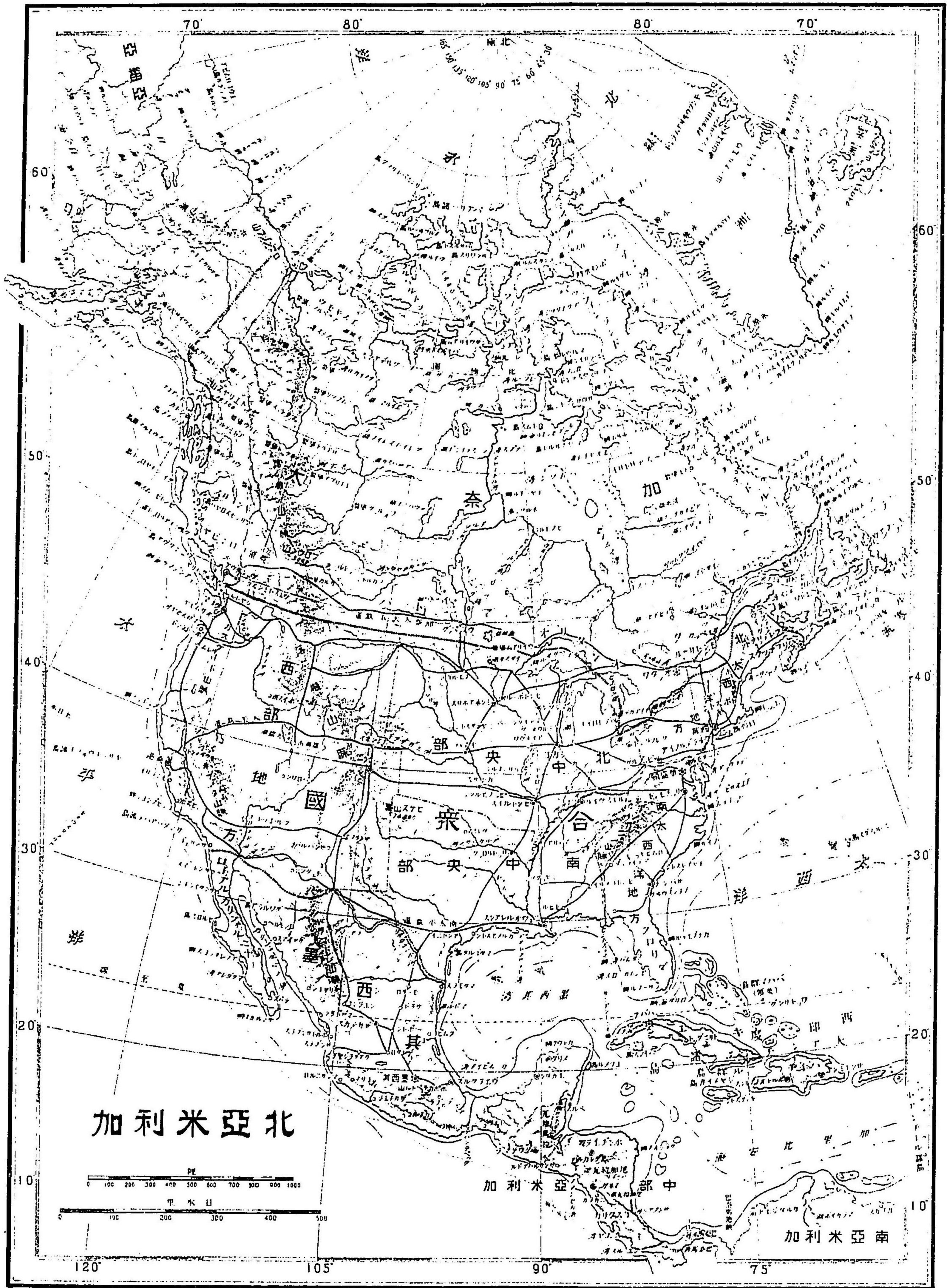
四、ナイル河を除く外、舟運の便少く、内地の交通は實に困難なり。

五、沿海の地は、上古既に發達せしも、今は萎靡し、内地は蠢爾たる蠻民の部落なり。

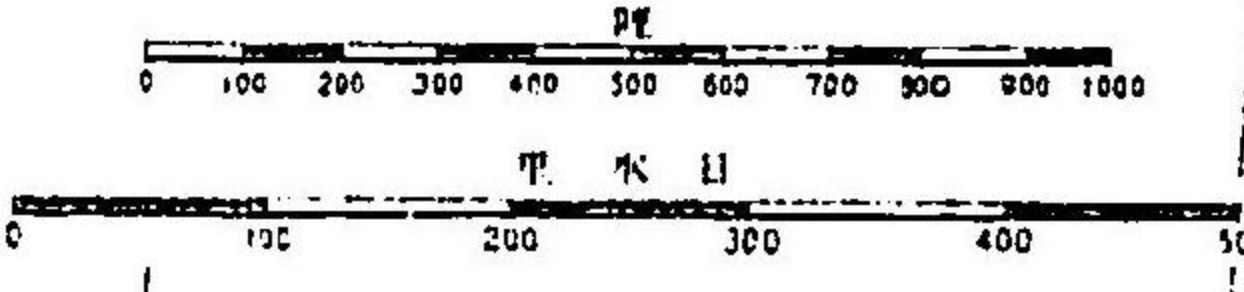
四、コンゴ河を除く外、灌溉運漕の便少く、内地の交通は不便なり。

五、沿海の地は、歐洲の勢力を蒙り、近時稍々開發に向はんとし、内地は蠻民の巢窟なり。





加利米亞北



120°

105°

90°

75°

60°

50°

40°

30°

20°

10°

60°

50°

40°

30°

20°

10°

加利米亞 部中

加利米亞南

部中央

部中央

部中央

部西

部西

部西

部西

部西

部西

加利米亞 部中

加利米亞南

部中央

部中央

部中央

部西

部西

部西

部西

部西

部西

亞米利加洲

◎本洲は西半球の大陸にして、四百餘年前關龍氏が初めて發見せし所なるを以て新世界の稱あり。地形上分ちて、南北亞米利加とす。我が邦人は單に北米、南米とも呼べり。

北亞米利加洲誌

第一編

自然地理

◎北亞米利加は西半球北部の大陸にして、北緯七度より全八十二度に亘り、西經十六度より全百六十七度に至る。北は北氷洋に枕み、太平、太西兩洋を左右にし、南は墨西哥灣及び巴拿馬地峽を以て南亞米利加に連る、面積八百七十万方哩あり、其の大さ歐羅

巴の二倍に均し。

◎**區劃** 地理上本洲を分ちて**綠洲**、**英領加奈太**、**北米合衆國**、**墨西其**、**中央亞米利加**、**西印度諸島**とす。

◎**沿海** 本洲は海岸線の屈曲少からず、従ひて半島、港灣多し、北、北氷洋には無数の島嶼散點し、**綠洲**は東北部に在りて北極に近き大島なり。北部に深く灣入するは**ハドソン灣**にして、其の東に**ラブラドル**の大半島あり。半島の南に**ニューファンドランド**島横はり大陸と相對して**セントローレンス灣**を抱く。是れより南端**フロリダ**海角に至る、海岸の北半は出入參差して、良港に富み、繁盛なる埠頭多しと雖ども、南半の沿岸は屈曲少く、沿海は泥沙沈澱して、沼澤狀をなし卑濕の地なり。墨西其灣は**フロリダ**半島、**ユカタン**半島及び**西印度諸島**に擁せられ、**亞米利加**の地中海

なり。灣の北岸には**ミスシッピ**河注げり。墨西其灣の東南は**加里比安海**にして、此の海は暗礁多く、暴風屢起りて航海最も危険なり。

○西部一帯は太平洋に瀕す、西北端に突出する大半島を**アラスカ**と云ふ、西方は狭き**白令海峡**を隔て、**亞細亞洲**と相對す、**アラスカ**半島以南**カリフォルニア**半島に至る海岸は出入犬牙の如く島嶼多し、且**落機山**の臺地急斜して、峻崖列立し、水深しと雖ども、良港多からず。西岸の中央なる**桑港**は太平洋岸唯一の良港なり。カリフォルニア半島は南に突出して、内に同名の長灣を抱けり。

◎**地勢** 本洲の地勢は大山脈の趨勢によりて凡左の三大區に分別せらる。

◎**西部高原及低地** 本洲の西邊には**落機大山脈**ありて、北氷洋

より起り南走し、其の西に分派せる並行山脈あり、カスケード山脈シイラチウタ山脈の如き是れなり。此の兩並行山脈の間は大高原をなす。此の高原以西の海岸一帯には低地を存せり。

◎東部高原及低地 本洲の東際に於て南北に蜿蜒するはアッパラチアン山脈にして、又並行山脈によりて中間に高原を抱けり。此の高原以東の大西洋岸には低地を存し、此の部は現今本洲最要の地なり。

◎中央大平原 西部高原と東部高原との中央は、廣茫たる一大平原にして、北は北氷洋に向いて開き、南はミスシッピー河灌域により、墨西其灣に向ひて開擴する世界第一の大平原なり。

◎河流 本洲は土地平遠なるを以て、長大の河流少からず。ミスシッピー河は世界第一の長流にして、全長四千二百哩あり、數多の

河流

湖沼

深廣なる支流を合せて、墨西其灣に注ぐ、河口より上流二千哩の間は漁船の往復絡繹として絶えず、其の灌域は廣大なる肥沃の平野にして、牧場、綿圃相連れり。其の西にリオグランデ河あり、墨西其灣に注ぐ、其の他大平洋に入るものにはコロラド河、コロムビア河、ユーコン河等あり。北にマッケンジー河、サスカチワン河あり、大西洋に朝する流にセントローレンス河あり。以上の河流は北部の一二を除く外、運輸灌漑共に便なり。

◎湖沼 湖沼の多きこと此大洲を以て最とす。其の著名なるものはシユペリオル、ミシガン、ヒュロン、エリー、オンタリオノ五大湖にして、水路互に相通ずるを以て、汽船の往復頻繁なり。

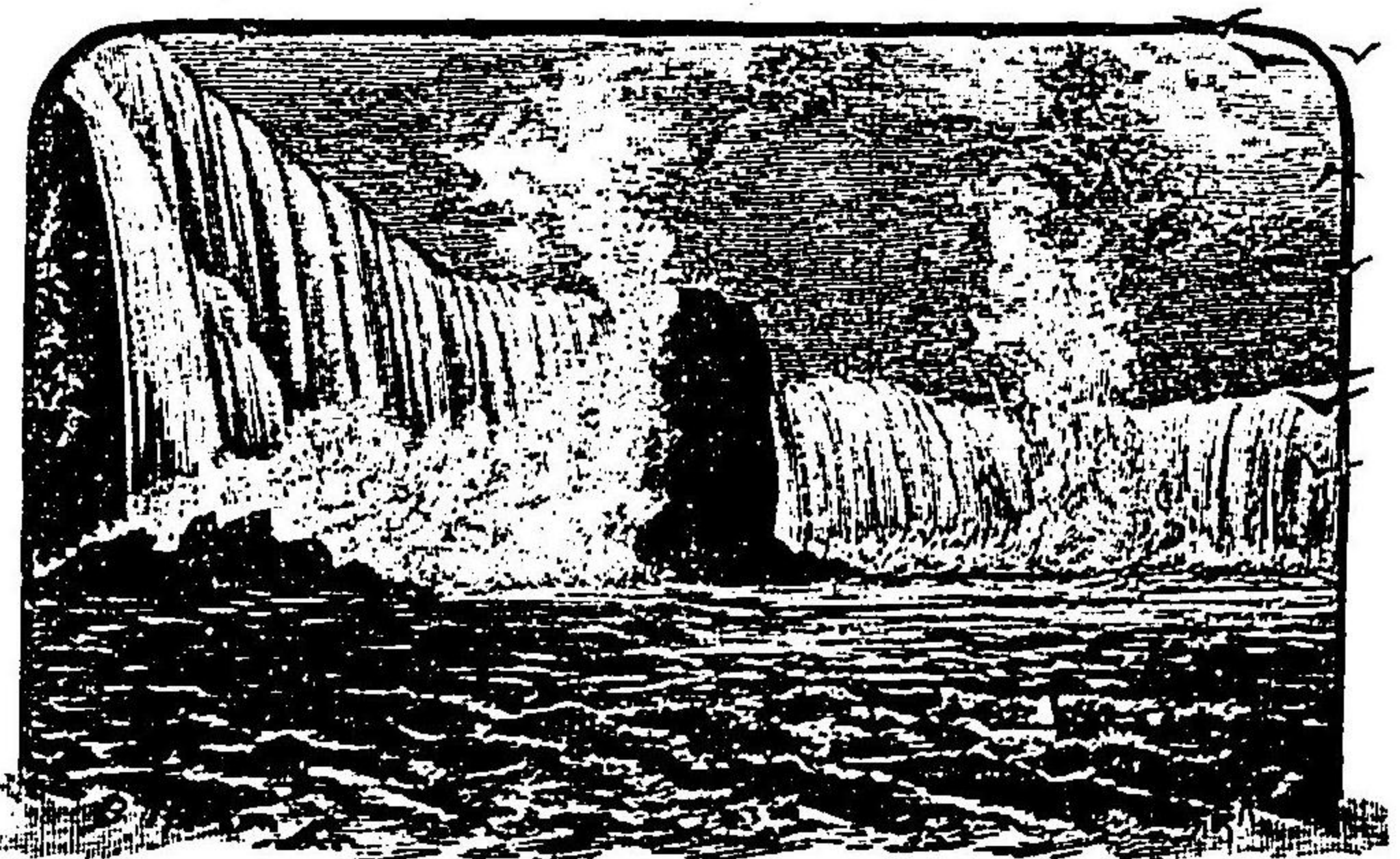
○シユペリオル (長サ三百五十五哩) は世界第一の淡水湖なり。エリー湖とオンタリオ湖の間には有名なるナイアガラの大瀑布あり。其の景

氣候

は挿畫に譲る。西部の高原中に大鹽湖あり、北部に數多の湖水あれども、互寒の地にあるを以て用をなす少し。

◎氣候 本洲は地域廣大なるを以て、大陸的氣候にして、同緯度の歐洲よりも寒冷なり。東部の沿海の地と西部沿海地及び内地によりて寒暑の差あり。西部海岸は日本海流の調和及び南風によりて溫和なれども、東部海岸の北邊は北氷洋より來る寒流の影響を蒙りて、寒氣烈しく、英國と等緯度のラブラドルに於ても西伯利より寒し、即東部にては北緯四十八度以北の地には小麥を生ぜざ

布 深 ラ ガ ア イ ナ



産物

れども西部は五十四度の北地尙生熟せり。中央地方は北來の寒風を遮ぎるべき山岳なく、東西兩側に峙てる山脈は海洋より來る温氣の調和を防ぐるを以て北緯三十度のミスシッピー河口も時に氷結することあり。雨量は西部太平洋の地に多く、中央は寡雨にして、南部墨西哥灣邊及び大西洋岸に稍、降雨あり。

◎産物 本洲の動物は其の種類多からず、且巨大なるもの、獐猛なるものを産せざれども、熊、馴鹿、海馬、水牛、馬及び鹿、狼、狐狸等あり。植物は種類甚だ多く殊に北部地方は松、柏、檜等の森林鬱々蒼々たり。農産物には玉蜀黍、小麥、綿、甘蔗、烟草等の産夥し。鑛物又豊富にして、落機山地方及び墨西哥其の金、銀、ア、パラチアン山脈の鐵、石炭、石油等最も著名なり。

第貳編

北亞米利加列國誌

綠洲

◎綠洲　　は北亞米利加の東北にある丁抹領なり。全土氷雪を以て蔽はれ、氣候甚だ寒烈なり。従ひて探險未だ遍からず、一個の巨島なるか、氷にて結塊せる一群の島彙なるか詳ならず。産物は海豹、海馬、白熊、馴鹿等の寒帶動物あり。植物には夏季氷雪融解せる地に大麥及び矮小の灌木、蘚苔等を生ずるのみなり。此の地は二月中旬より十月の中旬まで太陽地下に没することなき、永晝にして、其の他の月は暗夜なり。西海岸の寒氣稍薄き所に丁抹人及び『エスキモ』族住し、海豹捕獲及び漁業に従事す。

地勢

家棲其及人土モキスエ



英領加奈太附 ニュフ
ンドランド

◎英領加奈太は本洲の北部を占め、大平、大西の兩岸を左右にし、面積三百三十一萬六千方哩を有するを以て、殆ど歐洲大陸に等しき大土なり。

◎地勢　西方には落機山脈南北に連り、太平洋岸に沿ひたる並行山脈と共に高原をなす。落機山脈以東は中央大平原の北部なり。此の平原は一般に低平にして、處々の窪地に水を湛

河流

え西伯利北邊の荒原に似たり。北部は千古不解の氷野にして『エスキモ』族が雪を構えて住み、寒犬を友とし、海豹の類を捕獲して僅に生活するに過ぎず。東部はアパラチアン山脈の餘脈に屬したる高原なり。南の方合衆國に接する地方は森林、沃野相連り耕耘、伐木の業盛に、人口稠密なる最要の地なり。

◎河流

セントローレンス河は冬期氷結すれども、春風の河水を融解するを待ちて、汽船遠く内地の諸湖に達すべく、城内主要の河なり。其の他マッケンジー河、サスカチワン河及び湖水少からざれども、概ね不毛の寒野にありて交通の便少し。

氣候

◎氣候

氣候は概ね寒冷にして、南方も尙ほ積雪四月に亘りて、唯、東南部大湖地方は湖水の調和により、稍溫和に、又西海岸は日本暖流の影響によりて、寒威稍弱し。

産物

◎産物

此の國の富源は農産及び林産なり。地味頗る肥沃にして、南部地方は尙ほ數十年間肥料を施さずして、良穀を獲べく小麦の産出特に夥し。林産には松、樅、柏、胡桃等の大木鬱蒼として諸外國及び我が國へも輸出するもの尠からず。水産も亦富饒にして、『釣魚者の樂土』と稱せられ、鮭、鱒等多し。礦物は英領コロムビアの黄金、晚香坡島及び東海岸の石炭は有名なり。北部地方には熊、獺、狼等の毛皮を産す。工業は天産物饒かなるを以て輒近大に發達せんとす。

都邑

◎都邑

首府オッタワは國の東南部同名の河畔にあり、人口僅かに三四方に過ぎざれども、木材の商業盛なり。モントリアルはオッタワ河とセントローレンス河との會流點にあり、人口十八万を有し、商業の盛なること國內第一なり。クエベックは加奈

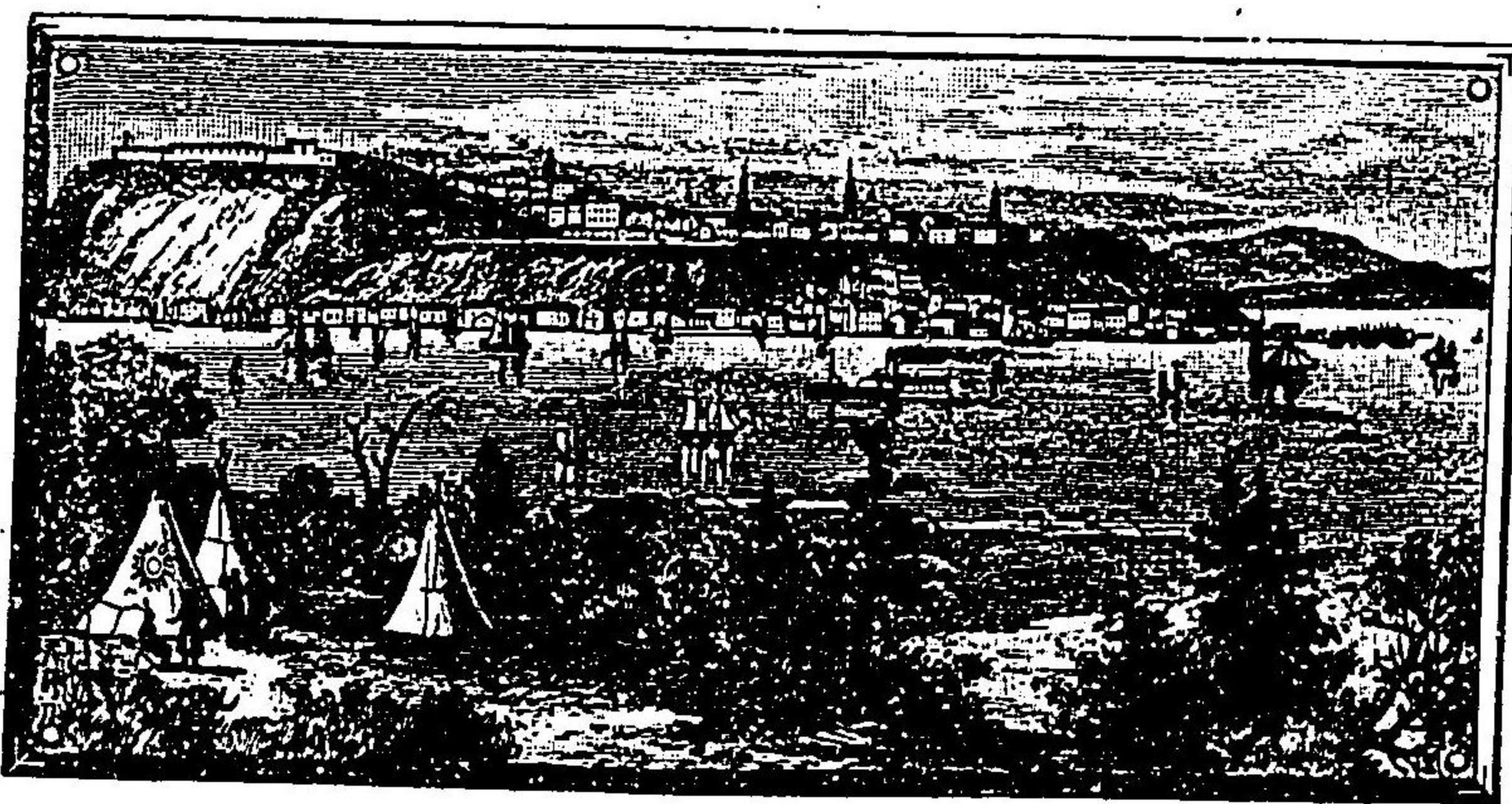
人民

太最舊の都府なり、太平洋岸の晚香坡府は加奈太平洋鐵道の開通と共に繁盛となり、亞細亞地方に向ひ直航を開ける港なり。

◎人民 人口四百八十三万あり、住民は英人の子孫と古來の土人(印甸人)にして、北部には『エスキモー』人あり。宗教は重に耶蘇教なり。教育は普及して、大學及び數多の高等學校あり。

交通貿易

◎交通及貿易 交通の最要具たる鐵道は太平洋岸の晚香坡より大西洋岸のモントリールに達す。故に域内の



政治

運搬交通に便なるのみならず、我が日本人の歐洲に到るもの印度洋の熱帶地を避けて此の鐵道によることを得べし。水運はセントローレンス河を主として附近の運河湖沼の利大なり。電信、電話、郵便の制亦備れり。

◎貿易は本地の富源たる木材の輸出盛に行はれ、次ぎは小麥、毛皮等なり。輸入品は毛布類、鐵類、製造品等とす。我が日本より米、茶、生糸、雜貨等を輸入すれども輸出は未だ盛ならず。

◎政治 本國には英國女皇の任命したる總督ありて、政務を統轄し、立法部は上下兩院の國會あり、上院議員は終身にして總督之を任じ、下院議員は民撰なり。

◎ニフアランドラ島はセントローレンス灣前に横はれり、島内山多くして、氣候寒冷なり。産物は鱈及び其の他の魚族に富み、

世界三大漁場の一と稱せらる。本島は對岸のラブラドルと共に英國直轄の殖民地にして、總督ありて之れを統治す。又議院あり首府セントジョンスは東岸にありて、魚類及肝油の輸出を以て名あり。ラブラドルの住民は重に『エスキモー』人にして、鱈、鯡等の漁獵盛なり。

北米合衆國

◎北米合衆國は、北亞米利加の中央に位し、面積三百五十万方哩を有する大土なり、北は加奈太、南は墨西哥に隣し、東は太平洋を隔て、歐洲及び亞弗利加に向ひ、西は太平洋によりて東洋及び南洋に連るを以て、諸大陸の中間に位し、海陸の交通頗る自在なる好位置を占めたり。

◎地勢 落機山脈は西邊を南北に亘り、其の西の海岸にも並行し

地勢

たるカスケード山脈、シラチヴァタ山脈等ありて、中間は壯大なる高原をなす。此の高原は海面を抜くこと四五千尺に出づ、故に地味一般に礫确に、氣候乾燥にして、農業に適せず。然れども金、銀等鑛物の埋藏夥し。高原以西なる太平洋岸には、一帯の低地あり、氣候溫和にして、地味肥沃に、將來東洋及び南洋に對し、通商貿易上重要な部なり。實際のアレガニー山脈も亦並行連嶺により高原を作り、石炭、鐵、石腦油の産出無盡と稱せらる、此の高原以東沿海一帯の低地は、大西洋を隔て、歐洲諸國と相對し、現今本洲中に於て最も發達せる部分なり。

○東西兩高原の中間は有名なるミスシッピー河其の間を蜿流す。

此の河は、ミソリ、オハイオ、アルカンサス等の大なる支流を入れ、其の灌域は合衆國全部の半を占めたる、一望無限の一大平原な

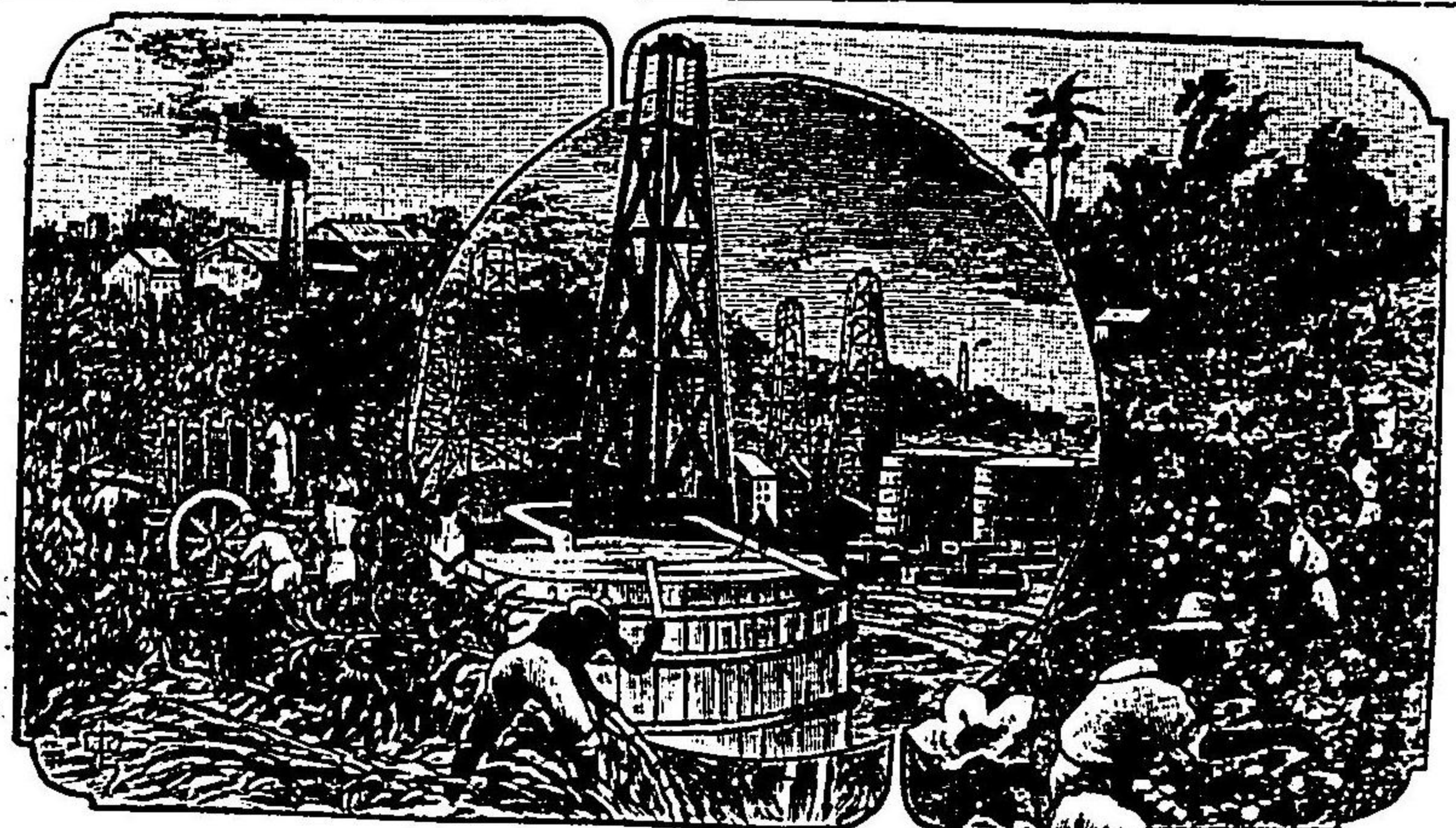
り。地味肥え農産夥しく殊に綿、烟草、小麥、玉蜀黍の産出地として世に知らる。

氣候

産物

◎氣候 本土は地域廣大なると、山脈の配置によりて、其の氣候各地一様ならず。西部なる太平洋岸は黒潮暖流の調和によりて、氣候溫暖なれども、中央平原は全く大陸的氣候にして、寒暑共に強し、又墨西哥灣邊は炎熱多濕なり。雨量も各地によりて齊しからず、太平洋岸は降雨豊かなれども、其の東高原地方は乾燥にして、終歲降雨なき所あり。東南部沿海地方は降雨多量なり。

◎産物 地味、氣候天産物の發生に適するが故に、農産の豊富なることは地球上隨一なり、歐洲諸國の人民に食料を供給すること尠からず。農業は重に大農法にして、其の産額の多きは玉蜀黍、小麥、大麥等なり。又綿花の産出多きは世界第一と稱せらる、其



取採蔗甘

造製油石

取採花綿

の他麻、烟草、馬鈴薯、砂糖、葡萄等を産す。畜産は天然の状態最も牧畜に適し、廣大なる牧野ありて、豚、羊、牛、馬、騾等甚だ多し。林産も此の國富源の一に數えられ、北部大湖地方及び太平洋沿岸には有用なる樹木鬱蒼たり。鑛産に富めることは地球上、其の比なく、殊に銀、水銀、石油は世界無比にして、金と雖ども濠洲を除けば此の國に及ぶものなし。其の他鐵、石炭の兩鑛も英國に一步を譲るのみなり。

○以上の如く各種の天産に富み、特に燃

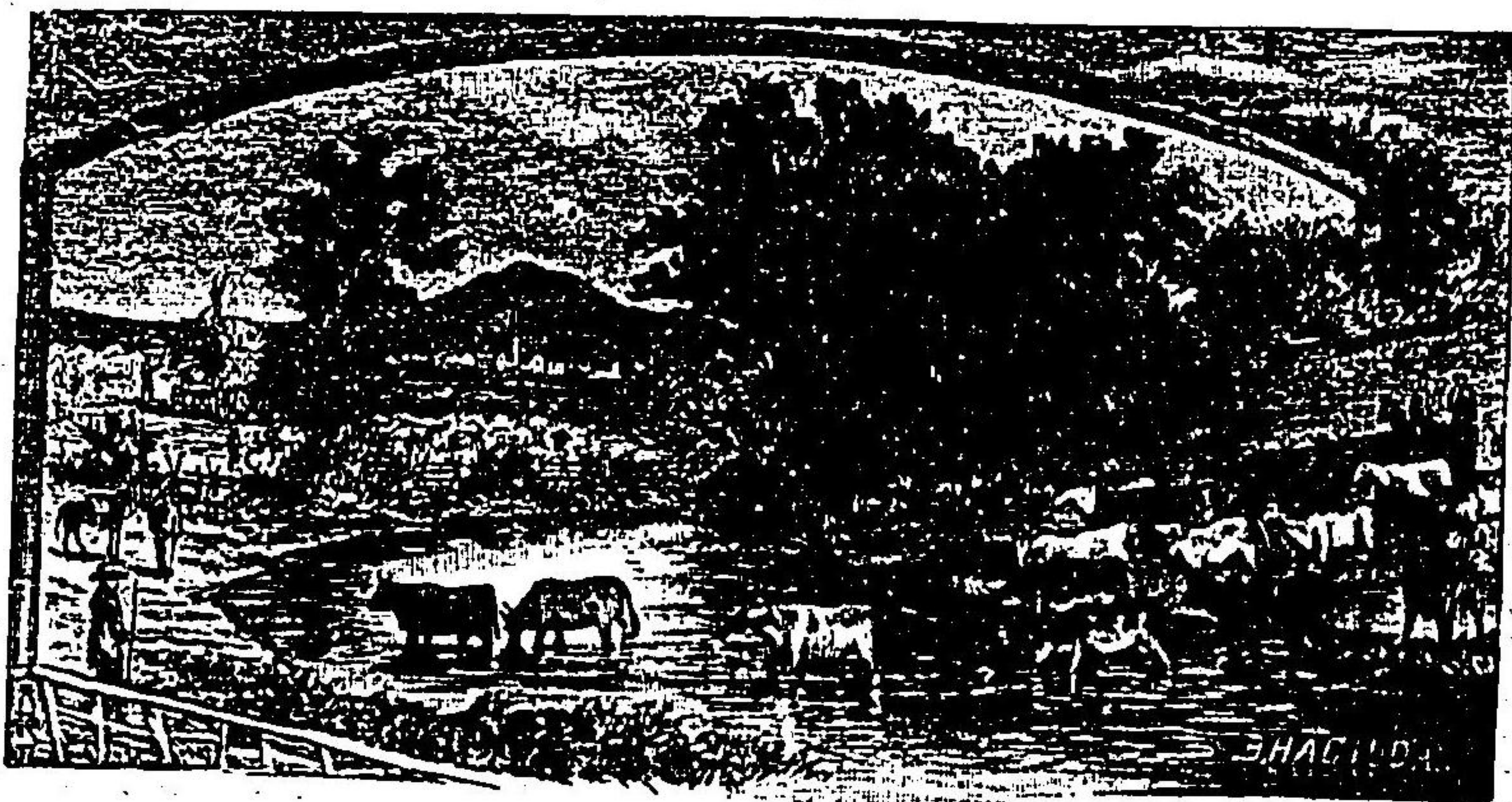
處誌

料の夥しきと、資本の富實なると、交通の自在なるとは、製造業も亦甚だ盛なり、綿布、毛布、金屬細工を重なるものとし、其の他革、硝子、烟草等の製造盛に行はる。

◎處誌 合衆國は地域廣大なるを以て、政治上の區劃は四十五州五地方及びコロムビアの一區となれども地勢上分ちて下の五部とす(一)北大西洋地方(二)南大西洋地方(三)北中央部(四)南中央部(五)西部是れなり。

○北大西洋地方 合衆國の東北部を

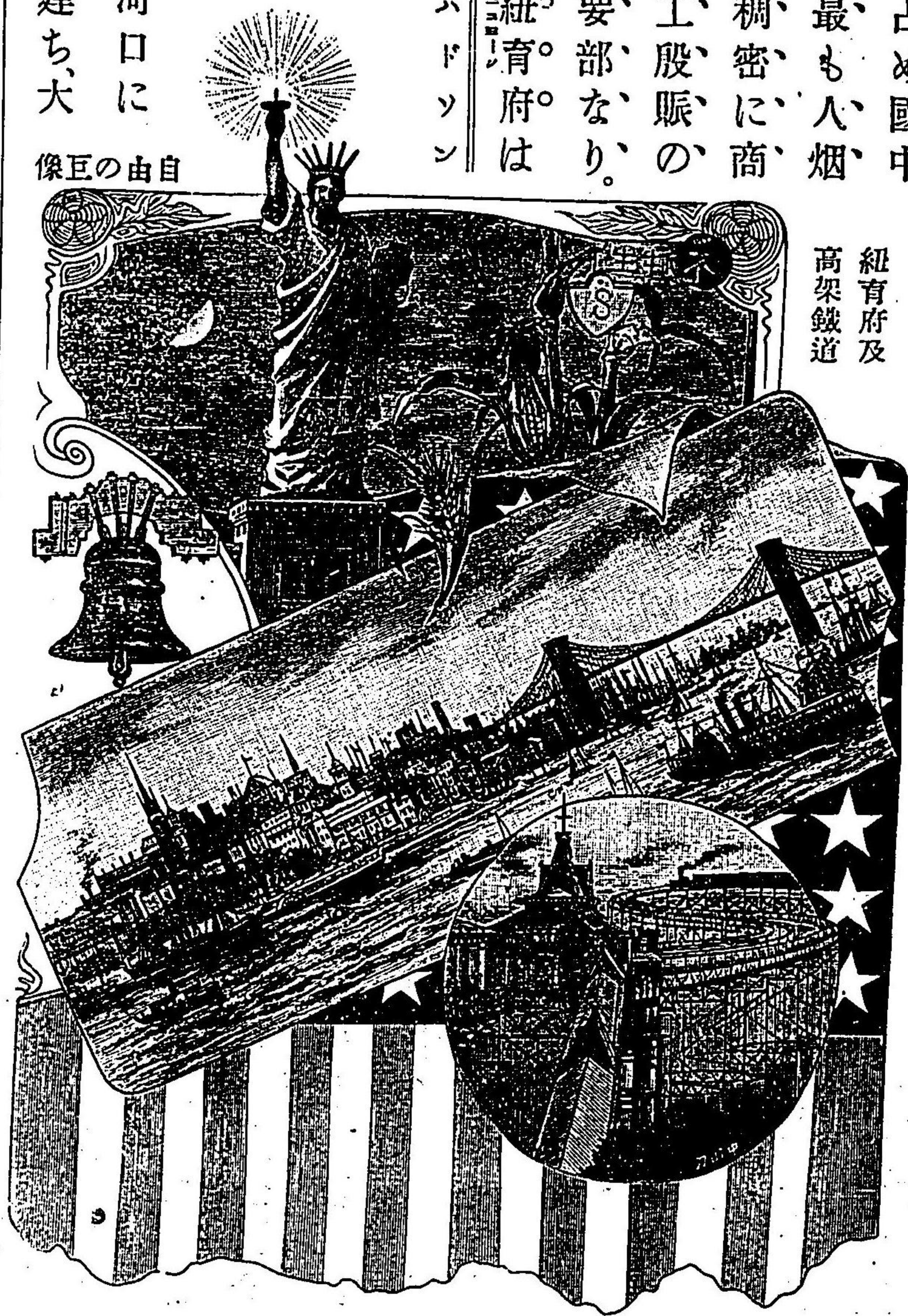
田舎牧養



占め、國中、最も人烟稠密に商工、股賑の要部なり。紐育府はハドソン

紐育府及高架鐵道

河口に建ち、大像巨の由自



西洋貿易の要衝を占め、船舶埠頭に集まり、百貨爰に輻湊し、製造業又盛なり、人口百七十万あり、ブルクリンを合算すれば二百三十一万に上る、即新世界第一の大都なり。市街廣濶にして清潔、建築物壯大にして美麗を極め、市運隆盛なり、府内の中央公園は甚だ有名なり。フィラデルフィアは國內第三の都會にして、商工業盛に、人口百五万あり、府内に合衆國獨立の際、十三洲の代議士が獨立を宣言議決せし、有名なる獨立館あり。ホストンも大西洋岸にある大都會にして、人口四十五万を有し、貿易盛に行はる。

○南大西洋地方 大西洋岸の東南部諸州の總稱なり、北部地方には鐵、石炭、石腦油、南部には烟草、綿の産出を以て有名なり。

○華盛頓府はポトマック河畔にあり。此の國の首府なり。市街清整にして、府内の國會議事堂及び大統領の官舎なる白館等は壯

麗なり。府の周圍コロンビア區は何れの州にも屬せざる、獨立の一區とす。

○北中央部地方 中央大平原の北部地方を領し、概ねミシシッピ川、上流の沿域なり。シカゴはミシガン湖南にあり、人口百万、合衆國第二の都會なり。此の地六七十年前までは寂寥の一寒村なりしが、交通の要衝を占め、天産の豊なる地を控ゆるを以て、一躍して現時の繁盛となり、穀物、木材、家畜の商業甚だ盛なり。

○南中央部地方 大平原の南を占め、綿、玉蜀黍、甘蔗等の耕作盛なり。ニューオルレアンス府は綿産地方を、灌漑するミシシッピ河口に位するを以て、棉花貿易の盛なる世界第一と稱せらる。

○西部 本州の西半部、落機山脈以西の高原地方より、太平洋岸の低地を含む。域内には壯大なる山林あり、殊に山脈の西際は降

雨多量なるが故に、巨大の樹木鬱鬱として日を蔽へり、殊に『マ
 モスツリー』の如きは一木を以て一林をな
 すと云ふ。桑港は太平洋岸第一の良港な
 り、此の港より鐵道の便により、大平原を横
 ぎり、大西洋岸に達すべく、又水路は太平洋
 によりて東洋及び南洋に對する貿易港な
 り。故に北米の西岸貨物の吞吐所となり、
 穀物、木材、鑛物等の輸出盛なり。本港も
 横濱(四) 七二二(二) 數十年前までは一寒村なりしが、
 今は三十万の人口を有する繁華な
 る市街となり、日本人の在留者少か
 らず。



桑港埠頭及カネホリ州の橋樹

人誌

◎人誌 住民は既に六千二百六十餘万あり。人種は分ちて白人、
 黒人及び印人種とす。白人は『チトニック』種に屬し、重に英人
 の子孫にして、全人口の十分の八九を占む、性質溫和にして、一般
 に信義を重んじ、獨立心に富む、稍拜金の弊なきにあらざれども、
 貨殖興業に巧みにして、現今政治上、富貴上、權力を占むる者は白
 人なり。黒人は元、亞弗利加より輸入せし、奴隸にして、總數六百
 餘万、南部綿産地方に住す。印人は本地の原住民なりしが、白
 人の移住以來、漸次減少して、今は僅かに三十四五万に過ぎず。
 ○抑、此の國人口の増殖は實に驚くべきものあり、即百年前までは
 僅々三百餘万に過ぎざりしが、現今は已に其の二十倍なる六千
 餘万に上れり、是れ風土の繁殖に適せると、未發開の富源に富み、
 移住者を吸引するによるなり。

○宗教は信仰自由なるを以て、各種の宗教行はるれど、最も盛なるは基督新教にして、舊教これに次ぐ、又一夫多妻主義なる『モルモン』教なるもの一部分に行はる。

○教育は甚だ普及し、各地に小學校の設あり、高等教育も盛に、大中學各種の専門學校甚だ多し、國風として一般に實業教育を重んず。

交通

◎交通 交通運輸の便なること、此の國の如きはなし、海運を言へば大西洋は紐育府を中心とし、太平洋は桑港を中心とし、世界各國へ汽船の往復頻繁なり。内地は鐵道蛛網の如く通じ、殊に東西兩洋を連絡する、横貫大鐵道數條あり。線路の延長全世界を合算して此の國は殆ど其の半を有すと云ふ。加ふるにミシシッピ河は上流まで、汽船波を蹴りて往復し、或は處々に運河を開

貿易

きて、河湖と連絡す。其他郵便、電信、電話等完備せざるはなし。◎貿易 産物の豊多にして、交通の至便なる、位置の佳良にして、人民の商業に熱心なるとは、已に前に述べたるが如し、此の國商業の隆盛なる決して偶然にあらず、現今に於て貿易業は世界中僅に英國に一步を譲れども、是れすら凌駕するは遠きにあらざるべし。重なる輸出品は綿穀物、麵粉、烟草、家畜、貴金屬、石腦油、木材、水産等なり。輸入品は英國より、綿布、毛布、佛國より、絹布、日本及び支那より、茶、生糸、陶器等なり。殊に此の國は我が日本の第一花客にして、我れの生糸、茶の過半は此の國に出し、此の國よりは綿、石油等を輸入す。

政治

◎政治 合衆國は民主主義聯邦共和政體なり。大統領は一般人民より公撰し、其の任期は四ヶ年とす。議院は元老院及び代議

軍備

院より成り、元老院は各州の代表者(二州各)にして、代議院は人民の代表者なり、又各州には知事及び立法會ありて、一の自治體をなす。又地方（フニク）と稱するものは、未だ充分の自治體をなす能はず、人口六万以上の公民を有するに至れば、即一州をなすの制なり。獨立の當初は僅に十三州に過ぎざりしが、現今は四十五州、五地方となれり。(近時布哇も本國に合して其一州となるに至れり)

◎軍備 此の國は從來平和を主とし、歐洲各國の如く、軍備に汲々たらず、從ひて軍備は甚だ整ふたりとは云ふ可らず。陸軍は常備兵及び民兵より成り、常備兵は僅に二万五千人なれども、有事の日には、民兵八百五十万人餘を召集し得べし、海軍の船艦は總數八十三艘あり、曩に西班牙に戰勝後は威名大に揚れり。

◎沿革 此の國に初めて殖民せしは、今より三百三十餘年前(開龍發見)

沿革

(後七十三年)にして、西班牙人がフロリダ半島に來住せしにあり。爾後英、蘭、佛、等も頻りに本土に渡航して移住を企てたり。然れども最も勢力を占めたるは、英國にして、西班牙を始め、其の他の諸國の移住地を收めて、其の領地とし、一千七百六十年に至り、東部地方は全く其の領有となしたり。

其の後英國政府の本地殖民に課税する甚だ苛酷なりしかば、其の負擔に堪ゆる能はずして、遂に一千七百七十六年、十三州同盟聯合して、獨立を宣言し、反旗を翻へしたり、爾後交戰七年に亘り、英國遂に征服する能はずして、其の獨立を承認せり、是れ實に一千七百八十二年なり。

○爾來北米合衆國なる獨立國を建設して、境域漸次に擴張し、佛國よりルイシアナ、西班牙よりフロリダを購入し、墨西其と交戰の

結果、西南部を収め、續て露國よりアラスカを購ひ、遂に現今の如き廣大なる版圖となれり。我が國との交際は嘉永六年當國の水師提督ベルリが軍艦を率ひて浦賀に來りしに始まり、即我が國を促がして國を開かしめたるは實に此の國なり。

◎アラスカは北亞米利加の西北部半島地にして、往年露國より購入したる所なり、地味礪确、氣候沍寒なり。産物は海豹、海獺等にして、其の毛皮の産出多し、又魚族に富む。住民は重に印甸人及び『エスキモー』族なり。首府はシトカト云ひバラノフ島にあり、西南のアラスカ半島は亞細亞に向ひ、アリユーチアン列島、羅列して白令海の南境を扼す、島内火山多し。

墨西哥

◎墨西哥は合衆國の南部に位する共和國なり、其の面積七十六万

地勢

方哩あり、凡我が國の五倍あり。

◎地勢 落機山脈は域内に入りて、シラマドレ山脈となり、太平洋岸を走る、内地は一體に四千尺乃至八千尺の高原をなせり、脈中火山に富み、屢地震の害あり、ボボカテペトルは南部に峙つ、有名なる活火山にして、一万八千尺に聳えたり。此の脈又礦物を藏むること多し。

氣候

◎氣候 此の國は暖熱二帶に跨れども、氣候は地勢によりて三様の別あり、沿海の低地は炎熱にして、惡疫流行すれど、中央高原(四千尺)の地は輕寒、輕暖身に適し、『墨西哥』と稱せらる、更に高地(九千尺内)に至れば寒冷にして、地味又瘠薄なり。山頂には四時白雪を戴くの峯あり。東西海岸の低地は海流の調和を被り、夏暑烈しからず。

◎政治 此の國は閣龍發見以前已に開けたりしが、千五百二十一年に至り、西班牙の爲めに亡され、其の屬地となれり、今より七十餘年前（千八百一十四年）遂に獨立して、現今の共和政府を組織し、其の制專ら合衆國に則れり。

中央亞米利加

◎中央亞米利加は北亞米利加と南亞米利加とを連絡する連鎖の如き狹長なる地にして、五共和國と一英國殖民地を含めり。墨西其より來る山脈は域内に入りて、或は高原をなし、或は峻峯を起し、兩側の海岸に向ひて傾斜す。域内數多の火山に富み、地震多く屢、慘害を蒙れり、地勢已に墨西其に同じく從ひて其の他の氣候、産物共に同一なり。人種、言語、宗教、風俗等は墨西其に同じ、又墨西其と共に久しく西

班牙の治下に在りしが、一千八百二十一年悉く叛きて獨立せり。初め墨西其と聯邦國たりしが、後、中央亞米利加聯邦を組織せり、次ぎて各國分離獨立して、現今の邦國となれり。近時亦中米の聯邦を組織せんとの説あり

◎瓦地馬拉 極北西に在る共和國なり、首府を新瓦地馬拉と云ふ。本地の人民は教育に熱注し、各種の學校あり、良好の珈琲及び「ユチニール」の産あり

◎サンサルヴァドル 瓦地馬拉の南、ホンデラスの西に在る最小の共和國にして、其の面積略、我が四國と同じく、首府はサンサルヴァドルと云ひ、藍靛の輸出盛なり。此の地の藍靛は世界無双の良品なりと云ふ。

◎英領ホンデラス 瓦地馬拉の東にあり、首府をベリーズと云

ふ『マホガニー』は重要輸出品なり。

○ホンデラス 瓦地馬拉の南東にある、一共和國なり、首府をテグシガルバと云ふ、此の地も『マホガニー』樹膠蒼たり。

○ニ加拉瓦

ホンデラスの南に在る、一共和國なり、首府をマ

ネグと云ふ、此の地はニ加拉瓦運河と共に有名にして、該運河は域内のニ加拉瓦湖を利用して、大西、太平兩洋の航路を開かんとするものなり、此の運河は東西兩洋の關門にして全世界貿易の要衝なれば、若し成功の曉には、全世界の交通貿易に影響を及ぼすこと、實に尠からざるべし。(近時北米合衆國は此の運河を買収して開鑿せんとの舉あり)

○コスタリカ 中米極南の一共和國なり、首府をサンホセと云ふ、此の地は珈琲の産出多し。

西印度諸島

○西印度諸島は南北兩亞米利加の間に羅列する大小千餘の群島を總稱す。分ちてバハマ、大アンチール、小アンチールの三群島とす。

○バハマ群島は低き珊瑚礁より成り、大小アンチールは山岳多く、熱帯の樹木鬱蒼たり。小アンチール島は噴火山多し。各群島は熱帯にあるを以て、炎熱なれども、四面海を環らし、貿易風によりて大に暑威を減殺す。八九月頃屢々颶風起り航行を妨ぐ。産物は砂糖、珈琲、烟草、綿、藍草、『マホガニー』及び種々の甘美なる熱帯菓物等なり。

○西班牙人、黒人多く、黒人は西班牙人が亞弗利加より輸入せし黒奴の子孫なり。宗教は重に基督舊教にして、土人は蠻教を奉ず。

○バハマ群島

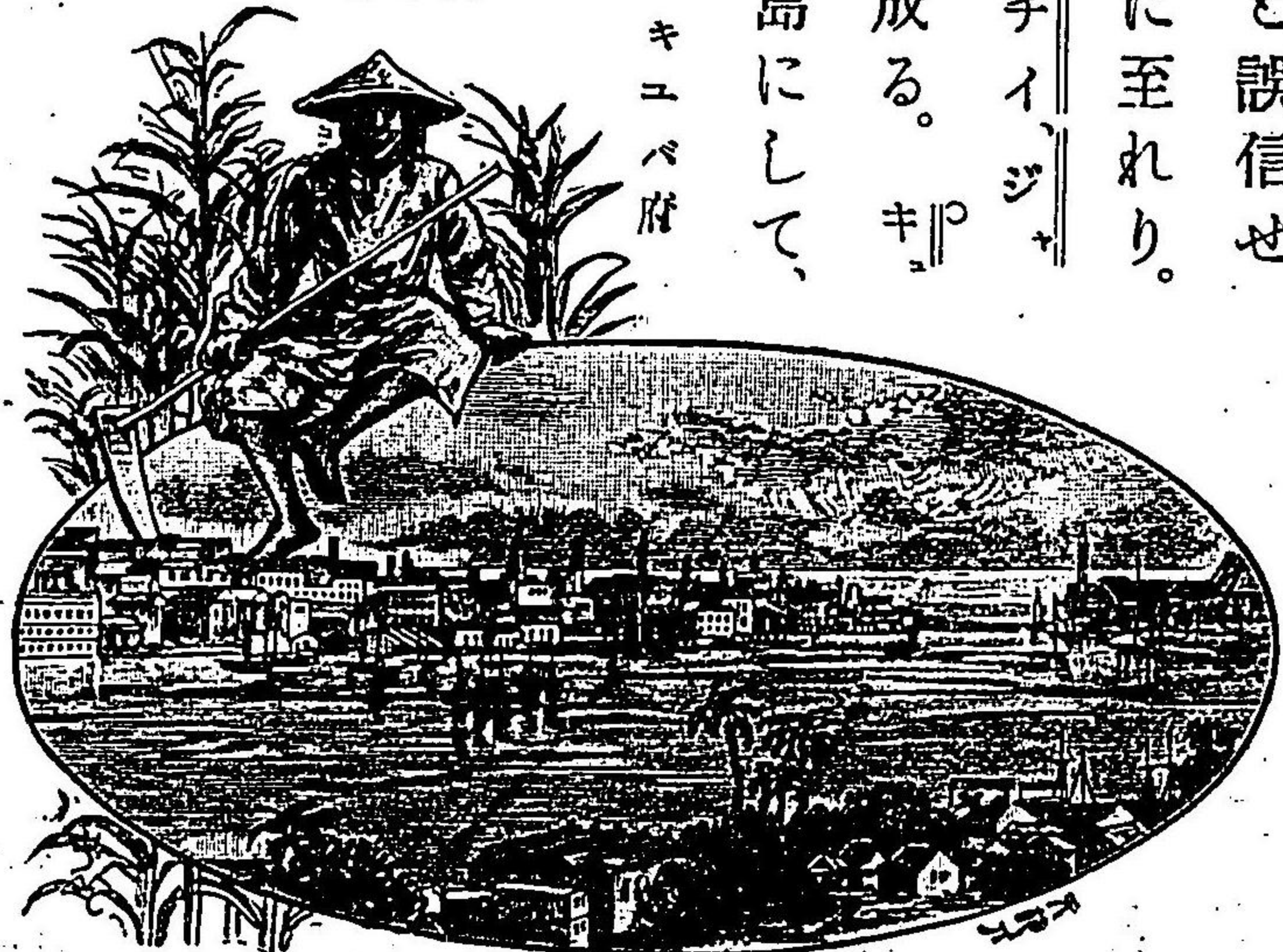
フロリダ半島の東南にある群島にして、英領な

り。閣龍氏が初めて発見せしは群島中のウ・トリ・ング島にして、氏は此の島を以て印度の東端と誤信せしより、遂に西印度諸島と稱するに至れり。

◎大アンチール群島 キョバ、ヘイチイ、ジャ

マイカ、ポルトリコの四大島より成る。キョバ島は西印度諸島中、最大最要の島にして、地肥へ産多く、『アンチールの女王』と稱せらる、殊に砂糖、巻烟草は有名にして、首府ハバナは地球上第一の砂糖貿易場なり。本島は元、西班牙に屬せしが往年、西班牙に向ひて叛旗を翻し、

西印度土人



次で北米合衆國對西班牙との交戦となり、其の結果遂に西班牙は本群島を合衆國に割譲せり。ジャマイカは英國に屬し、ジャマイカ胡椒、海龜の産は有名なり。首府をキングストンと云ふ。ヘイチイ島はキョバに亞げる大島にして、島内には二共和國を組織す。西部をヘイチイ共和國と稱し、東部をドミンゴ共和國と云ふ。ポルトリコ島は西班牙に屬し、西印度諸島中最も清涼の氣候を有し、産物に富む。

◎小アンチール群島 ポルトリコ島より、南米海岸に向ひ羅列

せる群島にして、英、佛、和蘭等に分ち屬す。

人誌

◎人誌 本洲の人口は凡八千九百万餘あり、其の人民の過半は「チ・ト・ニク」人種にして、英領加奈太及び合衆國に住し、多くは英人の子孫なり。體格強健、稟質剛毅にして、本洲中最も勢力ある種族とす。墨西其及び中央亞米利加諸國には「メスチゾ」と稱する種族あり。合衆國の南部及び西印度地方には元、亞弗利加より輸入したる黒奴の子孫住せり。北極地方には「エスキモー」人種住す。

○本洲の原住民なる印・甸・人は、昔時南北亞米利加に蔓延せし人種にして、蒙古人種と相似たれども、皮膚銹銅色を帯びるを以て銅色人種と稱す、今は次第に減少し其の數少し。

宗教

教育

國勢

◎宗教 「チ・ト・ニク」人種は基督新教を奉じ、英語を使用すれども、西班牙人及び「メスチゾ」は基督舊教を信じ、西班牙語を用ふ、黒人「エスキモー」人、印・甸・人は宗教を有せず、怪誕迷信を抱くの徒多し。

◎教育 「チ・ト・ニク」人種の間には教育能く普及して、文化大に開け、學藝進歩して、舊世界の文明人に譲らざれども、他の人種にありては、文字を知らざる蠻民あり。

◎國勢 本洲の中央以南は氣候佳良にして、沿海は港灣に富み、皆船舶を容るべく、内地は大河、湖水多く、交通灌漑の便を極め、山地には貴重なる鑛物を藏め、野には多額の農産を收むべく、且東は大西洋を隔て、人烟繁盛にして、文華最盛の歐洲各國を控へ、西は太平洋を越へて、東洋、南洋諸國と通じ、優に世界の中央市場たる位置を占む。以上の各理由に由りて本洲は僅かに四百年前

の發見に過ぎざれども、万国人民の移住し來るもの日に多く、國力月に進み、物産年に増し、殊に合衆國の如き殖産、興業、文化、技藝、駿々として發達し、歐洲開明國を壓し其の豊富の度は却て世界万国を凌駕せり。

◎北亞米利加洲の比較 例によりて本洲の略、中央なる、西經百度線により、東西二部に分ち、比較すべし。(此の比較は北米合衆國及び加奈太を主とす)

東部

- 一、並行山脈蜿蜒して、高原を作り、無双の大河無双の平野あり。
- 二、沿海は砂濱平遠にして、良好の港泊甚だ多し。
- 三、北來の寒流、沿岸を洗ひ、較々寒冷なり。

西部

- 一、並行大山脈蜿蜒して、無双の大高原を作り、水系の源となり、平地に乏し。
- 二、沿海は絶壁懸崖にして、良港多からず。
- 三、北來の暖流沿岸を洗ひ故に沿海の地は氣候較々温和なれども、内地は夏熱冬寒烈し。

四、耕地甚だ多く、從ひて農産夥しく、鑛産海産又多し。

五、陸には鐵道縱横に敷き、海には漁船の往復頻繁なり。

六、大西洋を隔て、歐洲の風化を被り、現今發達の盛運に達し、繁盛なる都會尠からず、將來尙多望の地なり。

四、耕地多からず、鑛産林産は豊かなり。

五、汽車汽船の利なきにあらざれども、東部に比すれば稍々劣れり。

六、太平洋を隔て、東洋南洋に對し、其發達は將來に屬し、從ひて繁盛の都會少し。

南亞米利加洲誌

第一編

自然地理

◎南亞米利加は新世界南半の大洲なり、北は巴^パ奈^ナ馬^マ地^チ峽^クによりて、北米と相接し、太平洋、大西洋を左右にし、南を南氷洋とす、面積六百五十万方哩あり。

區劃 本洲中にコロムビア、ヴェネズエラ、ギアナ、伯刺西爾、エクアドル、秘露、ボリヴア、パラグエ、ウルグエ、亞爾然丁、共和國、智利の十一國あり。

沿海 本洲は殆んど三角形をなし、北米に比すれば海岸の屈曲甚だ少し。北部加利比安海には小出入なきにあらざれども良



75 60 45

海 在 比 利 加
洋 西 太 北

ガラカニ

10

10

0

0

10

10

20

20

30

30

40

40

50

50

105

90

75

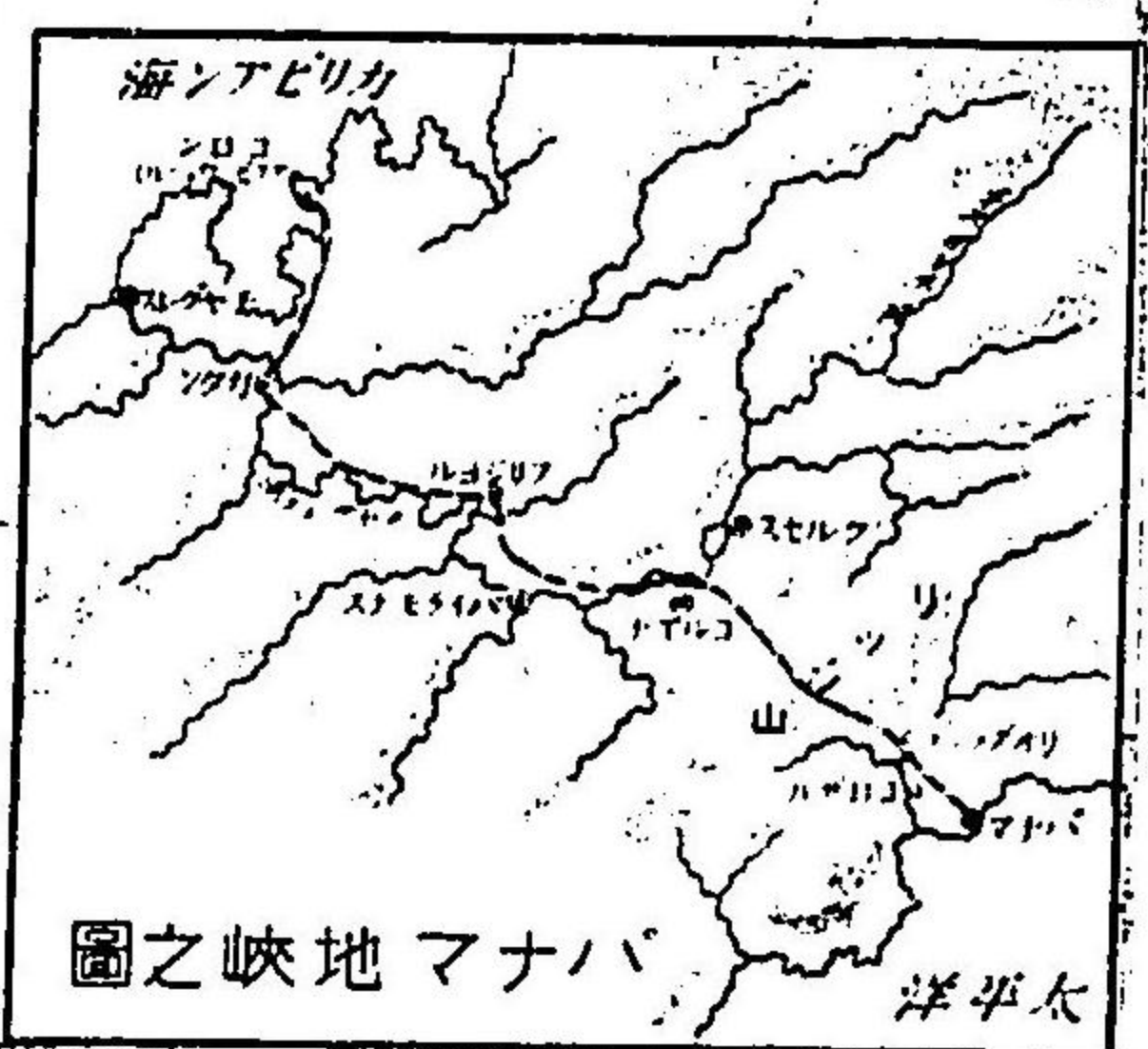
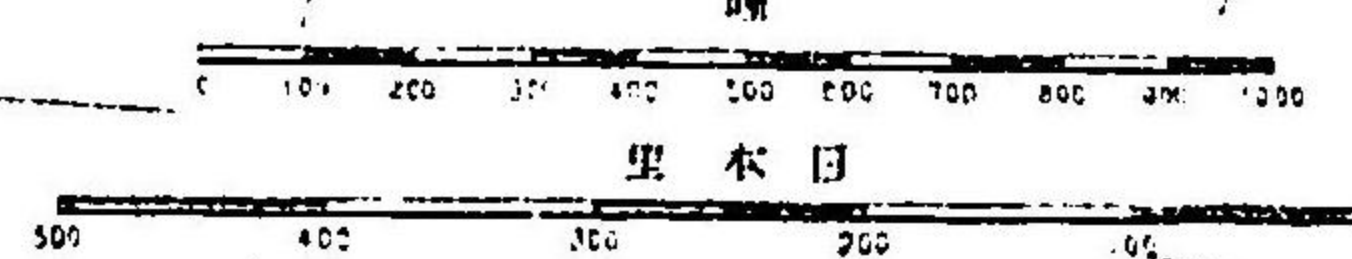
60

45

30

15

加利米亞南



海ノアメリカ
圖之峽地マナバ
洋 平 太

地勢

港なく、本洲の極東セントローク岬より、南端角岬ホックに至るまで大なる灣入なし。西岸一帯は大山脈の背後にして、斷崖削立し海

深けれども港灣乏し。

◎地勢 本洲は山脈の配置により分ちてアンデス高地、伯刺西爾高地、ギアナ高地、中央大平原とす。

アンデス山中運輸
アマゾン河
畔の夜景

り、西海岸と並趨して整齊なる連嶺を作れり、其の支脈と並行して中間に一帯の高原を包めり、此の山系の最高峯ソラタ山は殆



ど二万五千尺以上に聳えたり、此の山系は一帶の火山脈より成り著名なる活火山多し。

◎伯刺西爾高地 伯刺西爾の西南部は、山岳起伏したる高原にして、平均高度は二千尺あり。

◎中央大平原 アンデス高原と伯刺西爾高地との中間を占め南北に亘りて甚だ廣し、之を三部に分つ、北部オリノコ河灌域一に草原と云ふ茫々たる平原にして、雨季には青草萋々として、百千の牛羊群をなし、欣々として自然を樂めども、乾期に至れば滿野の青草悉く枯死し、一面の沙漠と變じ、牛馬は逃れて山谷に隠れ、虫蛇は地下に蟄伏して、次の雨季を待つ。中部なるアマゾン河灌域は一に林原と稱し、大なる綠林、茂樹鬱鬱として天を蔽ひ、千古の古木蔓草に纏はる、禽鳥歌ひ猿猴戯れ、其の他昆虫、蛇、蝸、林

河流

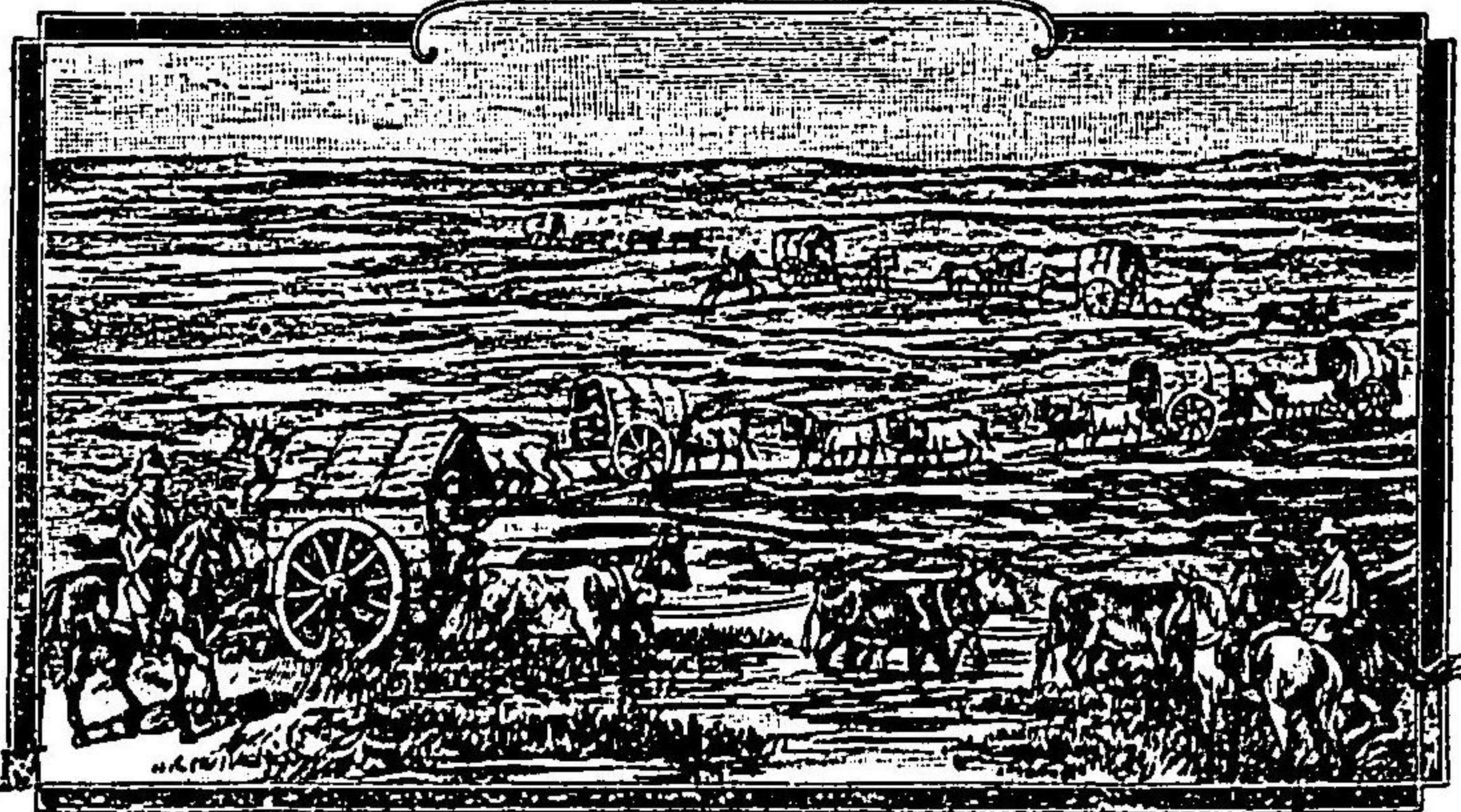
間に棲息して、行旅は唯、河岸に沿ひて行くのみなり。南部ラプラタ河灌域は一に「バムバス」と云ひオリノコ河灌域と同じく一帶の草原なり、此原野は南に偏し氣候稍佳なるを以て、乾季と雖ども、青草野に滿ち、數百万の牛羊群をなし、自然の大牧場なり。

◎ギアナ高地 オリノコ河領とアマ

ゾン河領との中間にある高原なり。

◎河流 世界第一の大河と稱せらるゝアマゾン河はアンデス山麓より發し、

中央平野の間を緩流し、灌域は森林鬱鬱たる林原なり、全長四千



湖沼

五百哩にして、二千哩間は尙大艦巨舶を上下せしむべし。河口は洋々として幅五十七哩に及べり、其の河領は所謂草原なり其の他ラプラタを始め大河少からず。

◎湖沼 は多からず、北部にマラカイボ湖及アンデス高原にチカ、湖等あるに過ぎず。

氣候

◎氣候 本洲の大部は熱帯に位するを以て、低地は炎熱多濕にして健康に適せざれども、アンデス高地は輕寒輕暖にして人體に佳なり、從ひて繁盛なる都邑あり。

○本洲は貿易風濕氣を齎らしてアンデス山脈以東に降下するを以て、雨量豊沛にして大河の水源をなせども、アンデス山脈以西の地は無濕の沙漠あり、又南部は南極寒流に洗はれ氣候沍寒なり。

◎産物 氣候は植物の生育に適し其の種類甚だ多く、幾那、護謨、棕櫚、椰樹、蘇木、マホカニ一等を特産とし、農産物には珈琲、藍草、綿、甘蔗等あり。動物には犀象の如きもの居らざれどもアンデス山の『ラマ』『アルバカ』(共に駱駝の一種にして其の體小なれども重荷を負はし坂をこへ毛美麗にしてアルバカ織を製す)等特有の産あり、猿、毒蛇、鷲、駝鳥、鱈魚等最も多く、鑛物はアンデス連山中に多し、殊に秘露の金銀、智利の銅等は有名なり。又伯刺西爾には金剛石を産す、然れども近時採掘盛ならず。

コロムビア(面積五十万方哩
人口三百八十万)

地勢

◎地勢 此の國は本洲の西北隅にあり、巴奈馬地峽により北米に
 連れり、アンデス山脈國內に連亘し、マグダレナ、コロカの二川其
 の峽間を流れ、後合して一流となり、運漕の便あり。
 ○氣候は沿海及び峽間の低地は炎熱、燒くが如しと雖ども高地は
 清涼なり。
 ○産物の重なるものは幾那、烟草、珈琲、砂糖、綿、護謨、椰子等なり。森
 林には材木多く、山中には鑛物を藏す。
 ◎都邑 首府ボゴタ府はアンデス山中八千尺の高所にあり、氣候

都邑

政治宗教

溫和全年春の如し、アスピンワール(一にコロン
とも云ふ)、巴奈馬の兩港は大
 平大西兩岸にあり、鐵道によりて兩港を連絡し、重要な港なり。
 此の鐵道に沿ひ運河開鑿の舉起りしかども、今は資金缺乏して
 工事を中止せり。

◎政治、宗教 人民は白人多く、印甸人又黑人あり。基督教を國
 教と定め、教育普及せり。此の國は元西班牙の殖民地なりしか
 ど八十餘年前(千八百十九年)獨立して、共和政治を組織せり。議會は上
 下兩院より成る、近年内亂屢起り、國債多く、國勢従ひて振はず。

ヴェネズエラ(面積六十三万二千方哩
人口二百七十三万)

地勢

◎地勢 コロムビアの東に隣り、北部及び南部は山岳、鬱結し、中央
 オリノコ河領は廣漠たる草原なり。氣候は平原地方に於ては
 炎熱にして、凌ぎ難し、又雨季には濕氣多く、乾季には全く乾燥し

首府

人民政治

て健康に適せざれども高地に至れば稍温和なり。
 ○産物はコロムビアに同じく草原には數万の牛馬群をなせり。
 ○鑛物にはオリノコ金鑛甚だ著名なり。
 ◎首府カラカス府は海岸に在り、人口七万二千、貿易盛なり。
 ◎人民政治 人質、宗教もコロムビアと同じく此の國も又西班牙に屬せしが、今は獨立して、共和國を組織せり。

ギアナ (面積二十万一千七百方哩、人口三十五万三千)

◎ギアナはウネズエラの東に隣り。地勢は平坦にして、往々海水浸入する所あるを以て、和蘭と同じく、堤防を築きて之を防げり。南部はギアナ高地に屬し、山岳連亘せり。氣候は炎熱なれども、海岸は海風の調和によりて、稍温和なり。産物はコロムビアに同じと雖ども珍奇なるは牛乳様の液を出す乳樹及び電氣鯪あり。

首府

◎域内英、蘭、佛の三國に分屬し、英領ギアナは西部にあり、最も廣くして、全ギアナ二分の一を占む、蘭領は其の東にあり、佛領は最東とす。此の二領其の大きさ略相同じ。
 ◎首府 英領ギアナの首府をジョージタウンと云ひ、蘭領ギアナの首府はパラマリボにして、佛領ギアナの首府はカイエンネと云ふ。

伯刺西爾 (面積三百二十五万方哩、人口一千四百方)

◎伯刺西爾は本洲の東部、大半を占めたる大國なり。其の面積は南米全洲の過半に當れり、地勢二様に分れ、東南部は即伯刺西爾高原に屬し、山岳蜿蜒たれども、西北部は中央大平原の北部を占

氣候産物

め、アマゾン河灌域の廣大なる平原にして、林原ヒルノハ是れなり、到る所巨木、大樹、鬱鬱として、地面は千歳日光を仰ぐことなし。

○アマゾン河は世界第一の大河にして、數多の支流と共に域内交通の便を與ふること、實に尠からず、支流を合して船舶の航行すべき水路は凡三万哩に上ると云ふ。

◎氣候産物 氣候、炎熱にして降雨甚だ多量なり、故に一方には世界第一の大河を養ひ他方には天然力の發達は實に壯大なり。即植物の種類は實に夥しく、凡地球上其比なく、發育甚だ宜し、殊に珈琲の耕作は盛にして、殆ど全世界産出の半を産す。棉花は合衆國と其の産を争ひ、甘蔗は西印度と競ふ、其の他烟草、米、護謨等を産し又甘藷の原産地なり此の外牛馬等の家畜、金、金剛石等の鑛物あり。

都邑

人民



府ロ子ヤヲオリ及園球珈

は未だ盛ならず。

◎都邑 首府リオリョジャチロは大西洋岸にありて、人口五十万を有する南米第二の都會にして、珈琲の大市場なり。バヒア港及ピルナムブゴ港は共に首府に次ぐ要港なり。

◎人民 住民は白人、印甸人、黑人等にして、白人は葡萄牙人の子孫なり。印甸人は全人口の過半を占む。宗教は基督舊教を國教となせども信仰の自由を許す。教育

◎政治 此國は元葡萄牙の殖民地なりしが後、葡萄牙の王族を戴き、獨立せしかども程なく、(一八八九年)其王を廢して、共和政體を組織せり。議院は上下兩院より成る。

エクアドル (面積十二万七千方哩、人口百二十七万)



山火(シキバトコ)

◎エクアドルは(赤道)伯刺西爾の西に隣し、其の地赤道に當るを以て名けらる。アンデス山國內に蜿蜒し、地勢一般に高峻にして、火山多く、チムボラゾー、コトパキシー等は最も著名なるものに

して、常に烟を吐けり。且此の山の近傍は地震多し。低地は氣候炎熱にして、多濕なれども高原は清涼にして、健康に適す。産物は幾那皮、綿、珈琲、椰子等にして、又植物象牙と稱し、一種の椰子殻を以て鈕を作り、外國に輸出する多し。

◎都會 首府クト(雲表の義)はアンデス高原九千五百尺の高地に在り、氣候は全年春の如く、其の四方は白雪を戴く高峯を繞らし景色甚だ佳なり。グヤキルは大平洋岸の要港なり。

◎政治 此の國は始めコロムビア、ヴェネズエラと共にコロムビア共和國を組織せしが、後分離して共和國を建てたり。

秘露

◎秘露はエクアドルの南に隣し、東部はアマゾン河源頭に屬し、平坦にして氣候炎熱なれども、西部はアンデス高原なるを以て氣候

概ね清涼なり。沿海地方は乾燥にして、不毛の地あり。

◎産物は低地に玉蜀黍、馬鈴薯を産し、高地に小麥、其の他の穀類を産す。殊に馬鈴薯は原産地にして、初め此の國より世界各國へ移殖せしめたるものなりと云ふ。幾那皮も亦夥しく、秘露皮と綽名せらるゝに至る、又無峰駝はアンデス山中に産し、運搬に使用せられ、綿羊は優等の羊毛を得べし。此の國は海島中に夥しく鳥糞を産し、歐洲及び北米合衆國に輸出す、又硝石、銀鑛に富めり。

都邑

◎都邑 首府リマは海岸を距る七里に在り、人口十万を有す。カラオは其の海港なり、ク羅斯コは古代の國都にして、遺蹟今尙存せり。

人民政治

◎人民政治 住民の五分の三は、印甸人にして、餘は白人及混合

秘露チ、カ、湖



アンデス山頂及無峰駝

織せり。然れども屢、内亂起り近年又智利と

種族とす。耶蘇舊教を國教と定め、公然他教を奉ずることを禁ず。教育は各種の學校ありと雖ども、未だ盛ならず、此の國は昔時隆盛なる一帝國なりしかど、西班牙のピザロの爲めに征服せられ、久しく西班牙に屢せしが、後其の羈絆を脱して獨立し共和政治を組

戦端を開き、戦敗れ地を割きて和をなし、國産なる烏糞、硝石等の富源地を失へり。此の國は南米に於ける唯一の我が條約國なり。

ボリヴィア (面積七十七万二千方哩、人口三百三十万)

◎ボリヴィアは伯刺西爾の西南部にあり、西部はアンデス山脈鬱結して壯大なる高原をなし、チ、カ、湖港え南米第一の高峯なるソラタ山聳え、東部はマデイララプラダ河上流の傾斜平原なり。○低地の氣候は炎熱にして、多濕なれども、高地は頗る寒冷なり、産物は品質優等の護謨を産し、鑛物は當國の富源にして、就中銀を第一とす。

◎都邑 首府をスクレと云ひ、南部高原上に在り、ラパズはチ、カ、湖畔にあり、人口六万を有し、國內第一の都會なり。

都邑

人民政治

◎人民政治 人民は印甸人最も多く、其の他は黑人なり、此の國は元、西班牙の屬國なりしが、後獨立して共和國を組織せり、ボリヴィアの國名は獨立戦争の勇將ボリバの名によりて稱せらる。

智利 (面積二十九万四千方哩、人口三百二十万)

◎智利は本洲の西岸太平洋に瀕したる狹長の國なり。地勢は海岸より内地に向ひて崛起し、東部にはアンデス山脈連亘せり、所々に高峻の火山あり、最も高きをアコンカク、(二万二千、四百尺)とす、從ひて地震多し。

◎氣候は處によりて同じからず、北部は炎熱にして降雨寡く、殆ど砂漠の狀をなし、中部は溫和にして雨量適度に、南部は雨量多きに過ぎ寒冷なり。極南の沿岸には氷山浮流し來ることあり。重要な産物は小麥、大麥、玉蜀黍等にして、牛、馬、羊の牧畜盛なり。

氣候

此の國第一の富源は鑛物にして、中にも銅を最も多しとす、銀硝石、鳥糞之れに亞ぐ。

◎都邑 首府はサンチアゴと云ひ、國の中央内地にあり、人口二十五万、鐵道によりて、太平洋岸ヴァルパライソ港と連絡す、此の港は西海岸に於ける南米唯一の要港なり。

◎人民 人民は概ね印甸人にして、餘は西班牙人及び雜種なり。人質頗る勤勉活潑にして、南米中最も國運隆盛の國なり。國教は耶蘇舊教なれども、信仰は自由なり。教育は政府大に獎勵して、小學校を始め中學大學其の他、各種の學校あり、近隣諸國に比して甚だ進歩せり。

◎政治 此の國は西班牙の屬國なりしが、今より八十九年前(一八一〇年)獨立の旗を擧げて其の羈絆を脱し、共和政府を建設せり、近年亞

都邑

人民

政治

屬島

爾然丁共和國及び秘露より新に土地を得て、本洲中頗る強大の國となれり。

◎屬島 西方絶海の一孤島なる、ジアン、フエ、ナンデスは蘇格蘭の航海者アレキサンダー、セルカーク四年間此の島に獨居し彼の有名なる小説ロビンソンクルソーの漂流奇談の基づく所なり、極南にテラデルフェゴ島(火地)あり火山多きを以て此の名あり、一半は亞爾然丁に屬す。

亞爾然丁共和國(面積百十二万五千方哩、人口四百方)

◎亞爾然丁共和國は南米の南部に位する本洲第二の大國なり。西部にはアンデス山脈障壁をなし、東部は中央大平原に屬す、此の平原の南部バタゴニア地方は概ね荒漠たる沙原なり。北部はバムバスと稱し、樹木なく唯、牧草生ずる平野にして、砂地を混

じ、牛馬こゝに蕃殖す。河流の大なるものは北にハラナ(下流ラブ)南にコロラド河あり。

◎氣候は南北によりて齊しからず、北部は温暖にして、健康に適すれども、南部は寒冷なり。人民の重なる生業は牧畜にして、馬、牛、羊の數實に夥しく、従ひて羊毛、牛皮、乾肉、獸脂等の輸出多く、羊毛は濠洲と競争せり。礦物は金、銀、銅等を産出す。

◎都邑 首府をプエノスアイレスと云ひ、ラブラダ河口にあり、十年前は人口

マゼラン海峡及
プエノスアイレス



人民

僅かに七万餘に過ぎざりしが、今や六十万を有し南米第一の大都會なり。此の府は港灣を前に控え後は鐵道によりて、國の要地及び西方智利に通じ、交通の便を占め、貿易盛大なり。

◎人民及政治 住民は印向人過半を占め、他は白人及び雜種なり。バタゴニア地方の草原には軀幹長大なる印向人住して牛馬の捕獲に従事し、其の術甚だ巧みなり。國教は耶蘇舊教なれども、信仰は自由なり。教育は資金を抛ちて大に獎勵するを以て、他の諸國よりも進歩す。國內鐵道を布設し、郵便、電信、電話の制も備はり、國勢漸く盛ならんとす。

◎此の國は元、西班牙に屬せしかども、其後獨立して、共和政府を組織せり、國の南端のテラデルフェゴ島は此の國及び智利に分屬し、暴風屢吹き、氣候沍寒にして、野蠻の土民あり、島と大陸との間

政治

はマゼラン海峡にして、汽船は角岬の風波を避けて此の海峡を通航す。

パラグエー(面積九万二千方哩 人口四十万)

○パラグエーはボリウア伯刺西爾、亞爾然丁三國の間に包まれたる無海の國なり。地勢概ね平坦にして、パラグエー河、國內を灌漑し、氣候は溫和にして、地味亦肥沃なり。重要な産物はパラグエー茶にして、南米諸國に供給する夥し。

人民

○人民は印甸人多く、少數の白人を混ず、基督舊教を國教と定むれども信仰は自由なり。首府アスンシオンは共和政府の在る所なり。

○此の國も嘗て西班牙より獨立して共和政府を組織せしが、往年伯刺西爾と交戦し、其の結果により現今の如く境土大に縮小せ

り。

ウルグエー(面積七万二千方哩 人口七十八万)

○ウルグエーは亞爾然丁共和國の東に隣れる、南米最小の國なり。

地勢は概ね高原にして、牧畜に適し、牛、馬、羊の飼養盛なり。

人民

○人民は白人及び雜種にして、國教は基督舊教なれども、信仰は自由なり。教育は放任主義を採れど能く普及せり。

首府

○首府モンテウデオはラプラダ河口に建てり。此の國往時は西班牙に屬せしが、次で伯刺西爾に屬し、今は獨立共和國なり、我が日本の對蹠地にして、四季晝夜とも我が國と反對なり。